

奥州市議会全員協議会

日時：令和7年8月20日（水）

午前10時

場所：奥州市役所7階 委員会室

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議

(1) 説明事項

- ① 奥州市污水处理施設条例等の一部改正について
- ② 公用車におけるNHK受信料について
- ③ 教育・保育施設の統廃合ロードマップの見直しについて
- ④ 奥州市文化財保存活用地域計画（素案）について
- ⑤ 奥州湖周辺エリアプロジェクトの進捗状況について
- ⑥ トーランス市及びロサンゼルス近郊における経済交流事業の実施について
- ⑦ 水沢金ヶ崎線の運行終了に伴う対応について
- ⑧ 新市建設計画の見直しについて
- ⑨ 次期総合計画策定方針（案）について
- ⑩ 戸籍総合システムリース契約の一部解約に係る補償について
- ⑪ 消防団員報酬における源泉徴収票の誤記載及び源泉所得税額の計算誤りについて
- ⑫ 奥州市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について
- ⑬ 高温・渇水による農畜産物への影響と対応について

(2) 協議事項

産業経済常任委員会における政策提言（案）について

(3) 報告事項

議会改革検討項目の検討結果について

4 そ の 他

5 閉 会

奥州市汚水処理施設条例等の一部改正について

議会全員協議会資料 令和7年8月20日 上下水道部

1 改正の趣旨

令和6年1月の能登半島地震では、個人が管理する排水設備及び給水装置（以下「給排水設備等」といいます。）の復旧が遅れ、家庭で水が使用できない状況が長期化しました。これは、次のようなことが要因とされています。

- ①給排水設備等の工事は、地元市町が指定する業者でなければ行うことができないこと。
- ②給排水設備等の工事を担う地元業者数が、被害の規模に比して少なかったこと。
- ③業者自身が被災したことに加え、様々な工事需要の集中により、給排水設備等の工事を担う業者の確保が困難な状況となったこと。

国は、この事案を教訓とし「災害その他非常の場合にあって、首長が指定する事業者等の確保が困難となると判断されるときは、他の市町村長が指定した事業者等においても当該工事を行わせることを可能とすること」をもって早期の復旧を図ることができるよう、自治体に対し技術的助言を発信しており、今般、当市の関係条例の一部を改正しようとするものです。

2 改正する関係条例

改正する関係条例は、次のとおりです。

- (1) 奥州市汚水処理施設条例（平成18年市条例第188号）
- (2) 奥州市営浄化槽条例（平成18年市条例第189号）
- (3) 奥州市下水道条例（平成18年市条例第283号）
- (4) 奥州市農業集落排水施設条例（平成18年市条例第284号）
- (5) 奥州市水道事業給水条例（平成18年市条例第300号）

なお、条例改正案は、上記5条例を一括し1つの条例改正案として提出いたします。

3 施行期日

有事の時期想定はできないことから、可及的速やかに改正条例を施行させるため「公布の日」を施行期日といたします。

4 県内自治体の状況

自治体名	対応方法	対応時期（予定）
盛岡市	改正予定	9月
一関市	改正予定	9月or12月
岩手中部水道企業団 （花巻市・北上市・紫波町）	改正予定	年度内
花巻市（下水道）	改正予定	年度内
北上市（下水道）	改正検討中	未定
金ヶ崎町	改正検討中	未定

5 条例改正に至る手続き等

令和7年7月25日 法規審査委員会による内部審査
8月4日 水道工事業協同組合への説明
20日 全員協議会での説明
29日 市議会定例会へ条例改正案の提出

公用車におけるNHK受信料について

令和7年8月20日 全員協議会説明資料 財務部財産運用課

1 要旨

NHK受信料支払いの対象となるテレビの設置状況について庁内で確認を行ったところ、リースにて導入している特別職専用車について、契約内容に受信料分が含まれていないことが判明した。

市としては、仕様どおりとするよう機器の変更が可能か、リース会社に確認を行っていた。

この度、システム上困難であることがメーカーを通じて正式に回答があった事から、納車時点に遡って市の契約台数を修正し受信料の支払いをすることとなったもの。

2 経過

R7.4.14 特別職専用車のカーナビテレビ機能に係る、NHK受信料の取り扱いについてリース会社に確認を連絡
※全国同様の取扱いのため回答に時間を要するとの連絡

R7.6.10 リース会社より、受信料は所有者ではなく使用者の負担とする旨の回答

R7.6.20 車両の仕様書にはテレビ受信を入れていないことから、仕様どおりに機器の変更が出来るかの確認を連絡

R7.8.6 リース会社より、統合システムであるため機器変更を行うことは、安全運転支援機能にまで影響がでる可能性があるため困難である旨の回答

R7.8.7 特別職専用車所管課（財産運用課、議会事務局、教育員委員会事務局）にて、今後の対応について協議

R7.8.8 市長・副市長へ報告

※下線部はリース会社からの回答

3 遡りとなる期間

市長車 令和2年4月分から令和7年3月（教育長車に変更）
令和7年4月から
副市長車 令和5年11月分から
議長車 令和元年11月分から
教育長車 令和7年4月分から

※受信料は納車月の翌月からの支払い

4 追加払いとなる金額

財産運用課所管分	61,220円
議会事務局所管分	46,491円
教育委員会事務局所管分	6,454円
合計	114,165円（令和7年度分含む）

5 今後の対応について

対応方針

既存の車両についてはリース契約終了までは受信契約を継続するが、新規契約を行う車両については、テレビ機能のないカーナビへ転換を図る。

対応スケジュール

R7.8.20 全員協議会にて議員説明

R7.9 市議会9月定例会にて補正予算提案

R7.9 NHK契約台数の修正手続き（補正予算議決後）

R7.10 請求書が送付され次第支払い

奥州市立教育・保育施設の統廃合ロードマップの見直しについて

令和7年8月20日 全員協議会資料 健康子ども部保育子ども園課

1 統廃合ロードマップの位置付け

奥州市立教育・保育施設再編計画（平成29年6月策定）
 <背景>

- ①待機児童の解消 ⇒ 定員割れとなった幼稚園を不足する保育に充てる。
- ②施設の老朽化 ⇒ 統廃合により最小限の建替え

上記再編計画の実施計画として位置付けられた「統廃合ロードマップ（令和3年策定）」は、施設の具体的な統廃合の時期やその方法を示したもの。

2 見直しの必要性

急激な児童数の減少による新たな課題の発生

- ①適正な集団規模の形成が困難な施設の発生（小山東幼稚園）
- ②整備量（定員）が余剰になっている地域の発生（前沢地域）

➔ **公立施設の統廃合ロードマップを見直し、公立施設の定員変更や統廃合を早急に進める必要がある。**

3 ロードマップの進捗状況と新たな課題

(1)ロードマップの進捗状況

令和7年4月1日現在 別添 資料1

(2)新たな課題

<予想を上回るスピードで進行する少子化>

当市の就学前児童数は、平成27年度の6,118人から令和6年度に3,940人に減少した。（表1）

地区別の減少率は、水沢32%、江刺34%、前沢39%、胆沢46%、衣川63%と急速に少子化が進行していることがわかる。

令和7年度以降の見込みは、各年度の出産可能年齢の女性人口（転出等の社会的な移動を見込まない。）に合計特殊出生率と補正係数を乗じて算出したもの。

就学前児童数の推移と今後の見込み（表1）

「人口統計」（各年度3月31日現在） 地区別は別添 資料2

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
水沢	3,174	3,163	3,117	3,000	2,891	2,771	2,680	2,571	2,381	2,161	1,962	1,814	1,693	1,602	1,528	1,515
江刺	1,343	1,276	1,209	1,171	1,135	1,072	1,025	983	928	891	808	747	697	659	629	623
前沢	687	647	612	600	584	573	561	516	467	422	383	353	330	312	298	295
胆沢	733	743	681	642	605	561	519	489	447	399	361	334	312	295	281	279
衣川	181	179	170	147	141	123	112	103	86	67	61	56	52	50	47	47
計	6,118	6,008	5,789	5,560	5,356	5,100	4,897	4,662	4,309	3,940	3,575	3,304	3,084	2,918	2,783	2,759

奥州市立教育・保育施設の統廃合ロードマップの見直しについて

①適正な集団規模の形成が困難な教育施設の発生

小山東幼稚園の園児数の推移（各年度4月1日現在）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
3歳児	14	4	6	2	1
4歳児	9	14	6	6	2
5歳児	10	9	14	8	6
合計	33	27	26	16	9

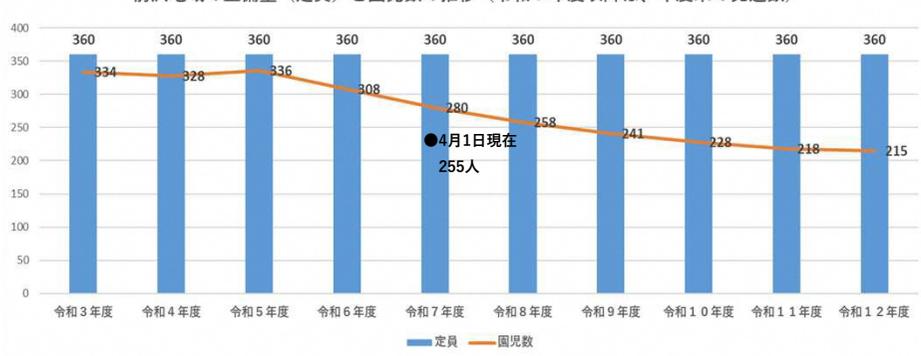
カッコは、複式学級

市の再編計画の中では、望ましい児童数の集団を、1学級あたり20人と設定しているが、児童の発達の度合い等によって違いがあり一律に決めることは難しい。幼稚園の指導の中心となる「遊び」の最小単位を3～4人とし、その集団が3以上形成されるような学級が望ましいと考え、1学級10人程度は必要である。

少人数教育のメリットは、一人ひとりの園児に目が届きやすく、発達段階や個性を把握しやすいことによりきめ細やかな関りができることだが、デメリットとして、人間関係が固定化しやすく、多様な関りを経験する機会が減る可能性や、集団での活動が制限されることが挙げられる。

②整備量（定員）が余剰になっている地域の発生

前沢地域の整備量（定員）と園児数の推移（令和7年度以降は、年度末の見込数）



公立施設の1号（幼稚園利用）の入所状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
認定こども園	稲瀬わかば園	9	8	9	6	4
	江刺ひがしこども園					2
	前沢北こども園	58	52	36	31	16
	あゆみ園	19	18	13	8	6
幼稚園	佐倉河幼稚園	24	20	9		
	羽田幼稚園	11	9	7		
	岩谷堂幼稚園	12	10	8		
	小山東幼稚園	33	27	26	16	9
	南都田幼稚園	25	26	24		
若柳幼稚園	11	6	6			
合計	202	176	138	61	37	

1号：満3歳以上で幼稚園等での教育を利用する就学前の子

2号：満3歳以上で保育が必要な理由に該当する就学前の子

3号：満3歳未満で保育が必要な理由に該当する就学前の子

※就学前児童数は減少しているものの、女性の就労や核家族の増加などにより、1号認定の子どもは減少し、2、3号認定の子ども割合は増加している。資料3

前沢地域には、公立2施設（前沢保育所、前沢北こども園）と私立1施設（前沢保育園）がある。

再編計画では、前沢保育所を認定こども園に移行する計画となっていたが、前沢地域の近年の出生数等から推計すると、園児数は減少する見通しとなっている。

一方で、令和7年4月1日現在の前沢地域の整備量（定員）は、園児数（需要）を100人程度上回っており、私立施設では大きな定員割れが発生している。

※前沢地域の教育・保育施設の設置状況 資料4

奥州市立教育・保育施設の統廃合ロードマップの見直しについて

<見直しの方針>

①健全な児童育成のため、適正規模による教育・保育を提供する

小学校教育につながる適正規模の集団を形成するよう、公立施設の統廃合を検討する。

②私立施設の経営の安定化を図るよう、整備量（定員）が余剰になる地域にある公立施設を見直す

私立施設と公立施設が競合しないよう、将来的に整備量が余剰になる地域の公立施設の定員や統廃合を検討する。

③「民ができることは民に」の考え方に立ち、公立施設は私立施設を補完する役割を果たす

公立施設は、私立施設のない「サービス空白地域」における教育・保育の提供を行うことや、障害児や医療的ケア児など特別な配慮が必要な子どもへの対応を担う。

<統廃合ロードマップの見直し案> 別添資料5 「【全地域】奥州市立教育・保育施設の統廃合ロードマップ 見直し（案）」参照

- ◆水沢地域は、整備量（定員）が充足しつつあり、私立施設で受入れが可能なため、いずみ保育園の3号（0歳～2歳児）の定員を10人減員し、増加傾向にある配慮が必要な子どもの受入体制整備に充てる。
- ◆江刺地域は、児童数は減少しているものの、区域の広さから「サービスの空白地域を作らないこと」を考慮する必要がある。また、今後、企業誘致等による人口増の可能性もあることから、3施設を維持しながらも、園児数が減少し、複式学級による保育が続く場合は見直しを検討する。
- ◆前沢地域は、需要（園児数）に対して整備量（定員）が余剰になっている。児童数の減少に伴い、公立施設は1施設で充足することから、老朽化している前沢保育所を現園児が卒園する令和12年度末をもって前沢北こども園に統合し、閉園する。（令和8年度から新園児の募集を停止する。ただし、現園児の兄弟児に限り閉園までの間、新規入所を認める。）
- ◆胆沢地域は、ここ2年複式学級となっている小山東幼稚園について、需要（園児数）が増加する見込みが少なく、適正な集団規模による教育の提供が十分とはいえない状況になるため、現園児のすべてが卒園する令和9年度末をもって閉園する。ただし、閉園までの間、新園児の募集を継続する。
なお、在園児の保護者の意向を確認したうえで、予定する閉園時期を早めることがある。
- ◆衣川地域は、「サービスの空白地域」を作らないよう、あゆみ園を存続させる。

奥州市立教育・保育施設の統廃合ロードマップの見直しについて

4 見直しの方法と今後のスケジュール

<見直しの方法>

- ①未就園児ニーズ調査（5月）、小山東幼稚園保護者へ施設利用に関するアンケート調査（6月）を実施。
- ②再編準備委員会（前沢地域・胆沢地域）の設置による検討。
委員は、地域の代表者、児童福祉関係者、教育・保育施設の関係者、教育・保育施設を利用している児童の保護者の代表者、子ども・子育て支援に関する事業に従事する者、教育関係者で構成。
8月4日（月）胆沢地域、8月7日（木）前沢地域で第1回の委員会を開催し、意見を聴取した。
- ③説明会の実施予定
 - (1) 保護者説明会 8月29日（金）小山東幼稚園
9月2日（火）前沢保育所
 - (2) 市民説明会 9月9日（火）前沢ふれあいセンター 研修室
9月10日（水）胆沢健康増進プラザ悠悠館 ふれあいホール

<今後のスケジュール>

令和7年8月末～9月	保護者説明会
9月	市民説明会
〃	第2回再編準備委員会（前沢地域、胆沢地域）
10月	子ども子育て会議
〃	全員協議会
〃	保護者通知
〃	令和8年度園児募集開始（前沢保育所は新園児の募集を停止）

統廃合ロードマップの進捗状況（令和7年4月1日現在）

地域	施設名 ●存続対象施設	建設年	定員 (人)	在園 (人)	進捗状況 【完了年次】
水 沢	佐倉河幼稚園	S51			廃止【令和5年度】
	羽田幼稚園	S54			廃止【令和5年度】
	●いずみ保育園	H22	60	56	
	みなみ保育園	S53			廃止【令和5年度】
江 刺	岩谷堂幼稚園	H16			廃止【令和5年度】
	●田原保育所	H20	65	27	
	江刺南保育所	H20			廃止【令和5年度】
	梁川保育所	S54			玉里保育所へ統合【令和3年度】
	広瀬保育所	H3			玉里保育所へ統合【令和3年度】
	玉里保育所	S57			廃止【令和6年度】⇒認可変更
	江刺ひがしこども園	R6	50	32	新設【令和6年度】⇒認可変更
前 沢	●前沢保育所	H4	140	96	
	●前沢北こども園	R2	150	100	新設【令和2年度】
胆 沢	小山東幼稚園	S62	160	9	
	南都田幼稚園	S55			廃止【令和5年度】
	若柳幼稚園	S58			廃止【令和5年度】
衣 川	●あゆみ園	H19	120	41	
合計			875	418	令和3年度17施設 → 8施設

就学前児童数の推移と今後の見込み（表 1）

人口統計（各年度 3 月 31 日現在、令和 7 年度以降は推計値）

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
水沢	3,174	3,163	3,117	3,000	2,891	2,771	2,680	2,571	2,381	2,161	1,962	1,814	1,693	1,602	1,528	1,515
江刺	1,343	1,276	1,209	1,171	1,135	1,072	1,025	983	928	891	808	747	697	659	629	623
前沢	687	647	612	600	584	573	561	516	467	422	383	353	330	312	298	295
胆沢	733	743	681	642	605	561	519	489	447	399	361	334	312	295	281	279
衣川	181	179	170	147	141	123	112	103	86	67	61	56	52	50	47	47
計	6,118	6,008	5,789	5,560	5,356	5,100	4,897	4,662	4,309	3,940	3,575	3,304	3,084	2,918	2,783	2,759

就学前児童（各年度 3 月 31 日時点の 00 歳児～5 歳児）については、この 10 年間で 2,178 人（36%）が減少しています。地区別の減少率は、水沢 32%、江刺 34%、前沢 39%、胆沢 46%、衣川 63% と急速に少子化が進行していることがわかります。

令和 7 年度以降の児童数の見込みは、各年度の出産可能年齢の女性人口（転出等の社会的な移動を見込まない。）に合計特殊出生率と補正係数を乗じて算出しています。

● 歳児の注釈（例）

00 歳児：当該年度に生まれた子ども（年度内は 0 歳のまま）

0 歳児：前年度に生まれた子ども（年度内に 1 歳になる）

1 歳児：前々年度に生まれた子ども（年度内に 2 歳になる）

水沢地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00 歳児	440	415	441	358	344	350	337	319	248	229	168	188	216	235	245	234
0 歳児	434	450	415	450	371	345	350	344	318	247	229	168	188	216	235	245
1 歳児	487	434	440	405	451	377	347	351	332	319	247	229	168	188	216	235
2 歳児	458	481	432	441	402	453	364	340	338	326	319	247	229	168	188	216
3 歳児	482	461	471	431	435	401	446	372	339	337	326	319	247	229	168	188
4 歳児	443	483	449	471	419	434	399	443	371	336	337	326	319	247	229	168
5 歳児	430	439	469	444	469	411	437	402	435	367	336	337	326	319	247	229
計	3,174	3,163	3,117	3,000	2,891	2,771	2,680	2,571	2,381	2,161	1,962	1,814	1,693	1,602	1,528	1,515

江刺地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00 歳児	176	150	143	144	135	128	112	111	101	107	76	91	86	81	87	95
0 歳児	163	165	157	153	146	143	135	116	116	101	107	76	91	86	81	87
1 歳児	195	164	164	159	156	143	145	139	115	117	101	107	76	91	86	81
2 歳児	180	198	160	171	162	155	149	147	137	119	117	101	107	76	91	86
3 歳児	210	177	200	156	171	163	154	151	146	136	119	117	101	107	76	91
4 歳児	208	211	180	203	162	176	162	159	154	152	136	119	117	101	107	76
5 歳児	211	211	205	185	203	164	168	160	159	159	152	136	119	117	101	107
計	1,343	1,276	1,209	1,171	1,135	1,072	1,025	983	928	891	808	747	697	659	629	623

前沢地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00歳児	78	77	78	71	60	66	66	56	33	48	42	42	50	40	40	33
0歳児	80	83	82	80	76	63	69	59	56	36	48	42	42	50	40	40
1歳児	90	82	86	80	85	79	66	71	57	54	36	48	42	42	50	40
2歳児	94	90	82	93	80	91	79	68	70	58	54	36	48	42	42	50
3歳児	95	93	95	83	96	79	94	83	70	73	58	54	36	48	42	42
4歳児	127	93	94	96	87	102	81	95	82	72	73	58	54	36	48	42
5歳児	123	129	95	97	100	93	106	84	99	81	72	73	58	54	36	48
計	687	647	612	600	584	573	561	516	467	422	383	353	330	312	298	295

胆沢地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00歳児	79	95	78	73	67	61	61	49	37	39	35	47	40	43	39	36
0歳児	91	82	94	78	71	71	60	60	53	38	39	35	47	40	43	39
1歳児	111	93	84	94	79	68	70	57	60	53	38	39	35	47	40	43
2歳児	98	120	93	83	93	88	69	73	64	60	53	38	39	35	47	40
3歳児	103	100	119	96	82	93	83	71	73	62	60	53	38	39	35	47
4歳児	140	108	98	118	98	83	93	83	73	74	62	60	53	38	39	35
5歳児	111	145	115	100	115	97	83	96	87	73	74	62	60	53	38	39
計	733	743	681	642	605	561	519	489	447	399	361	334	312	295	281	279

衣川地域

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
00歳児	22	21	24	13	17	5	6	9	9	4	12	10	2	6	3	10
0歳児	24	22	20	26	14	17	4	8	7	10	4	12	10	2	6	3
1歳児	24	23	23	20	26	15	16	4	8	6	10	4	12	10	2	6
2歳児	27	27	19	23	20	25	16	17	5	8	6	10	4	12	10	2
3歳児	31	28	26	15	24	22	25	16	14	6	8	6	10	4	12	10
4歳児	25	32	27	25	15	24	22	27	17	15	6	8	6	10	4	12
5歳児	28	26	31	25	25	15	23	22	26	18	15	6	8	6	10	4
計	181	179	170	147	141	123	112	103	86	67	61	56	52	50	47	47

保育施設の利用推移 (表 2)

	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
就学前児童数 A	5,789	5,560	5,356	5,100	4,897	4,662	4,309	3,940
要保育児童数 B (入所希望者)	3,190	3,277	3,307	3,281	3,242	3,133	3,091	2,879
要保育児童の割合 C(B/A) %	55.1	58.9	61.7	64.3	66.2	67.2	71.7	73.0
入所児童数 D	3,070	3,098	3,142	3,157	3,124	3,018	2,983	2,826
待機児童数 B-D (うち法定待機数)	120 (31)	179 (79)	165 (56)	124 (42)	118 (64)	115 (89)	108 (82)	53 (13)

(注)・要保育児童数B及び入所児童数Dについては、幼稚園及び認定こども園の幼稚園分(1号)を除く。

- ・法定待機は、施設の空きがあっても、特定の園への入所希望により入所しない者等を除外した数。
- ・Aは各年度3月31日現在、Bは各年度3月1日現在の数字。

表2は、市内の保育施設(2・3号)の利用推移です。就学前児童数は、平成29年度から32%(1,849人)減少していますが、女性の就労や核家族の増加などの要因により、保育を必要とする要保育児童の割合(表:C)は17.9%上昇しており、今後も労働力不足等が進むことにより、保育の利用を希望する割合は高いまま推移すると予測しています。

●認定区分

- 1号：満3歳以上で幼稚園や認定こども園での教育を利用する就学前の子
- 2号：満3歳以上で保育が必要な理由に該当する就学前の子
- 3号：満3歳未満で保育が必要な理由に該当する就学前の子

前沢地域の教育・保育施設の設置状況

	建築年	築年数	定員	公私
前沢保育所	平成4年	33年	2・3号 140名	公立
前沢北こども園	令和2年	5年	1号 60名、2・3号 90名 【計150名】	公立
前沢保育園	昭和56年	44年	2・3号 130名	私立
合 計			1号 60名、 2・3号 360名	

前沢地域の就学前児童数は、令和6年度末で422人となり、過去10年間で約40%減少しています。これまでは、3施設の合計定員（2・3号のみ）360人に対し、90%以上の定員充足率でしたが、急速な少子化により、令和6年度は86%、令和7年度当初は71%（255人）にまで低下しています。これは、前沢地域の定員が余剰になりつつあることを示しており、児童数の減少が続く場合、私立施設の経営への影響が懸念されます。

前沢地域の公立施設は、どちらも規模が大きく、特に3つの幼稚園が統合して新設された前沢北こども園は、3歳以上児で2クラスを編成できるよう整備されています。今後は、1号（幼稚園）定員を減らし、2・3号（保育）定員を増やすことで、増加する保育の需要に対応することが可能です。

【全地域】 奥州市立教育・保育施設の統廃合ロードマップ 見直し(案)

(令和7年4月時点の入所状況)

所在地域	施設区分・名称		定員	利用人数の推移	0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳					存廃	再編理由	R8	R9	R10	R11	R12	内容	
					0歳	1歳	2歳	3歳	4歳									5歳
水沢	保育所	いずみ保育園	60人 ↓ 50人	令和3年度 55人 ↓ 令和7年度 <u>56人</u>	3	8	9	12	12	12	存続	配慮が必要な子の受入体制の充実	定員減 △10人					0～2歳児の定員を10人減員し、増加している障害児・医ケア児など配慮が必要な子どもの受入体制整備に充てる。
江刺	保育所	田原保育所	65人	令和3年度 41人 ↓ 令和7年度 <u>27人</u>	0	2	5	6	8	6	存続							今後、園児数が減少し、複式学級による保育が続く場合は、見直しを検討する。
	認定こども園	稲瀬わかば園	130人	令和3年度 84人 ↓ 令和7年度 <u>57人</u>	1	5	11	9	12	19	存続							
	認定こども園	江刺ひがしこども園	50人	令和3年度 30人 ↓ 令和7年度 <u>32人</u>	0	4	3	7	9	9	存続							
前沢	保育所	前沢保育所	140人	令和3年度 128人 ↓ 令和7年度 <u>96人</u>	5	15	17	19	21	19	前沢北こども園に統合	整備量の充足	新規募集停止 ※	※	※	※	閉園	令和12年度末に閉園
	認定こども園	前沢北こども園	150人	令和3年度 130人 ↓ 令和7年度 <u>100人</u>	2	8	13	17	31	29	存続							
胆沢	幼稚園	小山東幼稚園	160人	令和3年度 31人 ↓ 令和7年度 <u>9人</u>	-	-	-	1	2	6	廃止	適正な集団規模の維持が困難		閉園				令和9年度末に閉園
衣川	認定こども園	あゆみ園	120人	令和3年度 91人 ↓ 令和7年度 <u>41人</u>	1	8	5	7	5	15	存続							

※令和7年度入所児童の兄弟児に限り、受入可とする。

奥州市文化財保存活用地域計画（素案）について

全員協議会資料 令和7年8月20日 教育委員会事務局歴史遺産課

1 計画作成の目的

平成30年の文化財保護法の改正により、市町村による文化財保存活用地域計画の作成が制度化されました。地域計画の作成により、行政や文化財所有者のみならず、「地域総がかり」で文化財を保存・活用する体制が構築されることが期待されます。

2 計画の概要

別添資料のとおり。

3 今後のスケジュール

令和7年9月	パブリックコメントの実施
令和7年10月	パブリックコメント結果の公表
令和8年1月	奥州市文化財保存活用地域計画作成協議会での素案確定
令和8年3月	奥州市文化財保護審議会への素案の諮問
令和8年4月	文化庁への素案提出
令和8年7月	文化庁認定



4 パブリックコメントの実施について

- (1) 実施期間
令和7年9月1日（月）から9月30日（火）まで
- (2) 意見を提出できる方
奥州市民又は市内に通勤、通学している方
- (3) 計画（素案）の閲覧方法
 - ① 市ホームページへの掲載
 - ② 歴史遺産課窓口及び各総合支所窓口への地域計画素案の配置
- (4) 意見提出方法
別途公開・配置する「奥州市文化財保存活用地域計画（素案）への意見」に必要事項を記入し、以下の方法で提出
 - ① 郵送の場合
〒023-1192岩手県奥州市江刺大通り1番8号
奥州市役所江刺総合支所4階
奥州市教育委員会事務局歴史遺産課企画管理係
 - ② 電子メールの場合
rekishi@city.oshu.iwate.jp
 - ③ ファックスの場合
0197-35-7551
 - ④ 窓口持参の場合
奥州市教育委員会事務局歴史遺産課窓口、水沢総合支所窓口及び前沢・胆沢・衣川総合支所地域支援グループ窓口
- (5) 備考
 - ① 電子メールの場合、必要事項が記載されていれば受け付けます。
 - ② 口頭・電話での意見は受け付けません。

奥州市文化財保存活用地域計画（素案）の構成 令和7年8月

奥州市の歴史文化を特徴づける文化財を後世に伝えるため、行政のみではなく、市民や市外の研究機関などの多様な主体との協働によって文化財の保存・活用を進めるべく、「奥州市文化財保存活用地域計画」を作成し、様々な取り組みを実施していきます。

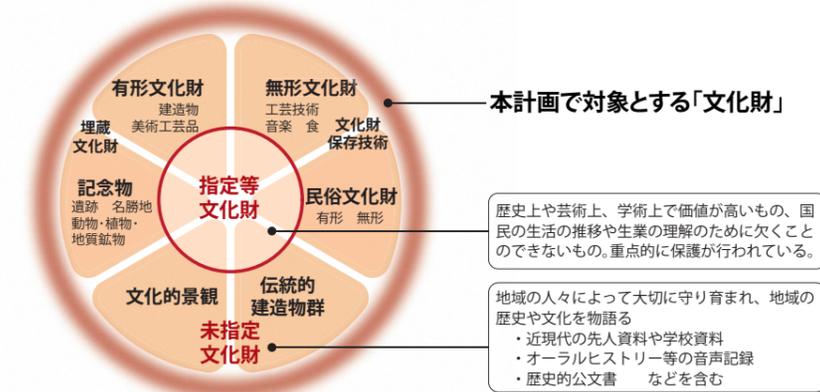
計画期間

本計画の期間は、次期「奥州市総合計画」（令和9年度～）及び次期「奥州市教育振興基本計画」（令和9年度～）の改定時期との整合性を勘案し、令和9年（2026）度～令和18年（2036）度の10年間とします。期間は、前期・後期に分けて計画します。



計画の対象

市内には、指定等文化財が313件あり、重点的に保護が行われています。一方で、市内には、地域の人々によって大切に守り伝えられてきた未指定文化財が数多く所在しています。本計画では、文化財保護法で規定されている「文化財」に加え、近現代の先人資料や学校資料、オーラルヒストリー等の音声記録、歴史的公文書などの比較的新しい時代の文化財を含め、指定の有無に関わらず「文化財」として対象とします。



目指すべき将来像と保存・活用の方向性

「奥州市民憲章」で示されている、奥州市の「歴史・伝統・自然」は市民の誇りとなるものです。これらを着実に後世に伝えるため、「産学官民が一体となって奥州市の文化財を社会に開き、次世代に伝える」ことを目指すべき将来像とします。

この将来像に向けて文化財の保存と活用に関する取り組みを一層活性化させるため、4つの方向性を定め、事業を推進します。

方向性	課題	方針	措置
1 文化財の調査・研究 奥州市の特色を伝える	未指定文化財の調査が不十分	未指定文化財調査の実施	1 未指定文化財の把握調査 2 文化的景観の調査（把握・詳細） 3 美術工芸品（彫刻）の調査（把握・詳細） 4 先人資料の調査（把握・詳細） 5 平泉及び平泉前史の遺跡の調査（把握・詳細） 6 無形民俗文化財の記録調査 7 埋蔵文化財の調査（記録・詳細） 8 歴史的建造物の調査（記録・詳細） 9 美術工芸品（古文書・歴史資料）の詳細調査 10 未指定無形民俗文化財の詳細調査
	収蔵文化財の整理が不十分	収蔵文化財の整理	11 収蔵文化財等の詳細調査 12 市内各施設管理資料の現況調査 13 考古資料管理台帳の整備
	評価が不十分な文化財がある	文化財指定等の推進	14 市指定文化財指定基準の明文化 15 未指定文化財の指定等検討 16 県指定文化財候補案件の情報提供 17 市指定文化財候補案件の情報集約
2 奥州市のアイデンティティ となる文化財の保存	文化財管理状況の把握	文化財保存体制の強化	18 文化財の保存に関する窓口の周知 19 文化財保護調査員の委嘱 20 文化財パトロールの実施 21 指定無形民俗文化財の後継者育成支援 22 文化財関係職員の知識・技術向上
	文化財の劣化	文化財の修繕等実施	23 旧高橋家住宅修理事業 24 旧安倍家住宅修理事業 25 正法寺本堂等修理事業 26 後藤伯記念公民館修理事業 27 齋藤子爵水沢文庫修理事業 28 歴史的建造物の計画的修繕 29 指定文化財保護事業への支援 30 黒石の十三塚の修理及び環境整備
	防災・防犯対策が不十分	防災・防犯体制の充実	31 文化財被災リスクの把握 32 文化財防火デー関連事業の実施 33 文化財レスキューに関する体制の整備 34 旧後藤家住宅消防設備の修理事業 35 文化財防犯体制の整備
3 多様な担い手による 文化財の活用	文化財に関わる担い手の不足	文化財保存の担い手育成	36 学校教育との連携 37 牛の博物館ボランティアの育成・活動支援 38 学校向けの文化財施設情報等の充実 39 冬の3館ウォークの開催 40 先人顕彰に関する市民活動の支援 41 古文書解読事業の実施 42 おうしゅう伝統文化親子教室等の開催
	文化財を目にする機会が少ない	文化財の公開促進	43 文化財施設の運営 44 市所有歴史的建造物の公開 45 旧臨時緯度観測所関係施設の公開 46 国登録有形文化財等の保存活用計画策定 47 国指定文化財等の公開促進 48 地区における文化財の活用 49 奥州市郷土芸能祭の実施 50 無形民俗文化財演舞動画のインターネット公開 51 歴史公園の周知・公開 52 歴史公園再編等の検討
	史跡等が十分に活かされていない	史跡等の保護・管理と活用	53 史跡等の環境整備 54 胆沢城跡保存活用計画の改定 55 長者ヶ原廃寺跡の整備 56 白鳥館遺跡の整備 57 接待館遺跡の整備 58 大清水上遺跡の整備 59 角塚古墳の整備
4 文化財の情報資源化と ネットワークの構築	観光への文化財の活用が不十分	観光分野での文化財活用の促進	60 いわて平泉歴史文化観光地域計画の推進 61 ガイドボランティアとの連携 62 胆沢城跡での事業実施 63 日高火祭の開催 64 市内の祭り行事への民俗芸能団体出演 65 えさし藤原の郷での定期公演 66 前沢牛まつり・奥州前沢商工まつりへの協力
	文化財の情報発信が不十分	調査成果の情報発信強化	67 地域史研究講座の開催 68 埋蔵文化財調査報告会の開催 69 奥州市文化財調査速報展の開催 70 文化財デジタルアーカイブの充実 71 ホームページ・SNSでの情報発信 72 画像利用基準の見直し
	多様な担い手が参加する文化財の保存・活用体制の構築が必要	広域連携による保存・活用体制の強化	73 市内無形民俗文化財保持団体の連携促進 74 産学官三者連携事業の推進 75 研究機関との共同研究等の実施 76 動物の標本づくり自主練習の開催 77 ひらいずみ遺産の普及啓発 78 定住自立圏域内の小中学生の博物館・記念館の無料化 79 定住自立圏域内の民俗芸能振興事業の実施 80 文化財保存活用支援団体指定の検討
4 文化財の情報資源化と ネットワークの構築	中核となる施設の整備	文化財施設の整備	81 文化財施設再編等検討委員会の開催 82 文化財に関するニーズ調査 83 文化財施設再編

令和7年8月

奥州市文化財保存活用地域計画
(素案)

奥州市

奥州市文化財保存活用地域計画（素案） 目次

序 章 背景と目的

1 計画作成の背景と目的	1
2 計画期間及び進捗管理	2
3 計画の位置付け	3
4 計画の対象	3

第1章 奥州市の概要

1 自然・地理的環境	5
2 社会的状況	7
3 歴史的背景	15

第2章 文化財の概要と特徴

1 指定等文化財	21
2 未指定文化財	26
3 関連する制度	27
4 文化財類型ごとの概要	29

第3章 歴史文化の特性

1 奥州市の歴史文化の特性	34
2 奥州市のまちづくりと歴史文化の関係	37

第4章 文化財の保存・活用に関する目標

1 目指すべき将来像	39
2 保存・活用の方向性	39
方向性1 奥州市の特色を伝える文化財の調査・研究	
方向性2 奥州市のアイデンティティとなる文化財の保存	
方向性3 多様な担い手による文化財の活用	
方向性4 文化財の情報資源化とネットワークの構築	

第5章 文化財に関する既往の把握調査

1 既往調査の概要	41
2 文化財パトロール	41
3 把握調査の課題	41

第6章 文化財の保存・活用に関する課題・方針

- 1 課題と方針の考え方 43
- 2 課題と方針 44

第7章 文化財の保存・活用に関する措置

- 1 措置の考え方 48
- 2 措置 49

第8章 文化財の保存・活用の体制

- 1 推進体制 61
- 2 奥州市の体制 63
- 3 文化財の防災・防犯 66
- 4 文化財保存活用支援団体制度の活用 67

別添資料 文化財リスト（指定等文化財）
調査報告書等リスト

序 章 背景と目的

1 計画作成の背景と目的

(1) 計画作成の背景

岩手県奥州市は、平成 18 年（2006）に水沢市、江刺市、前沢町、胆沢町、衣川村の 5 市町村が合併し誕生しました。市の総面積は 993.30 km²、人口は約 108,000 人です（令和 8 年（2026）3 月 31 日現在）。市の中央には北上川が流れており、川を境に西部は奥羽山脈とそれに連なる胆沢扇状地、東部は北上高地、中央部は北上川の沖積平野です。これらの自然環境を基盤に、原始から現代まで多様な歴史文化が育まれてきました。そして、歴史文化を表す多くの文化財が市内で保存伝承されており、文化財保護法（以下、「法」という。）及び岩手県文化財保護条例・奥州市文化財保護条例で指定されている文化財の総数は、国指定文化財 18 件、県指定文化財 51 件、市指定文化財 226 件、国登録有形文化財 18 件、埋蔵文化財包蔵地 1,121 箇所となっています。

市内を代表する文化財として、国史跡では「大清水上遺跡」・「角塚古墳」・「胆沢城跡」・「柳之御所・平泉遺跡群（白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡・接待館遺跡）」・「高野長英旧宅」が存在します。有形文化財は、建造物の「正法寺（本堂・庫裏ほか）」・「旧後藤家住宅」・「旧高橋家住宅」が重要文化財に指定されています。また、美術工芸品は、彫刻として黒石寺所蔵の「木造薬師如来坐像」や浅井智福愛宕神社所蔵の「木造兜跋毘沙門天立像」、古文書として「留守家文書」、歴史資料として「高野長英関係資料」が重要文化財に指定されています。重要無形民俗文化財の「鬼剣舞（朴ノ木沢念仏剣舞・川西大念仏剣舞）」は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

これらの文化財をはじめとした様々な文化財を取り巻く環境は、近年の人口減少などの社会変動による後継者の不足によって、大きく変化しています。特に、無形民俗文化財は後継者不足に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって多大な影響を受け、継承に困難をきたしています。有形文化財は、未指定文化財を中心に保管場所の空き家化や取り壊し、あるいは後継者の不在によって滅失の危機が迫っており、これらの社会変動への対応が必要です。

指定文化財も含め、様々な困難に直面している文化財を保存する拠点は、博物館・記念館などの文化財施設となります。しかし、これらの施設には、開館から 50 年以上が経過している施設もあり、文化財を安定的に保存する環境を整える必要があります。合わせて、施設を中核にした文化財に関する諸課題へ長期的に対処できる体制の構築が求められています。

(2) 計画作成の目的

平成 30 年（2018）に法が改正され、第 183 条の 3 において「文化財保存活用地域計画」の作成が制度化されました。この計画では、地域の歴史や文化に沿って多様な文化財を俯瞰し、

総合的・一体的に保存・活用することにより、地域の特性を生かした地域振興を図るとともに、確実な文化財の継承に繋がります。計画は、文化財保護行政の中・長期的な基本方針を定めるマスタープランと、短期的に実施する具体的な事業を記載するアクションプランを担います。また、計画の作成により、行政・関係機関・研究機関・地域・所有者が、地域総がかりで文化財等を保存・活用するための体制構築を図ることが期待されます。

今後、奥州市の歴史文化を特徴づける文化財を後世に伝えるためには、従来の文化財保護行政と文化財所有者が文化財の保存・活用を進めるという体制のみならず、様々な担い手が文化財の保存活用に参加する体制の構築が必要不可欠になります。そのため、中長期的な方向性を定め、地域住民や研究機関などの多様な担い手との協働によって文化財の保存・活用を進めるべく、「奥州市文化財保存活用地域計画」（以下、「本計画」という。）を作成し、様々な取り組みを実施していくこととしました。

2 計画期間及び進捗管理

(1) 計画期間

本計画の期間は、次期「奥州市総合計画」（令和9年度～）及び次期「奥州市教育振興基本計画」（令和9年度～）の改定時期との整合性を勘案し、令和9年(2026)度～令和18年(2036)度の10年間とします。期間は、前期（1年目～5年目）・後期（6年目～10年目）に分けて実施します。



本計画の計画期間

(2) 進捗管理

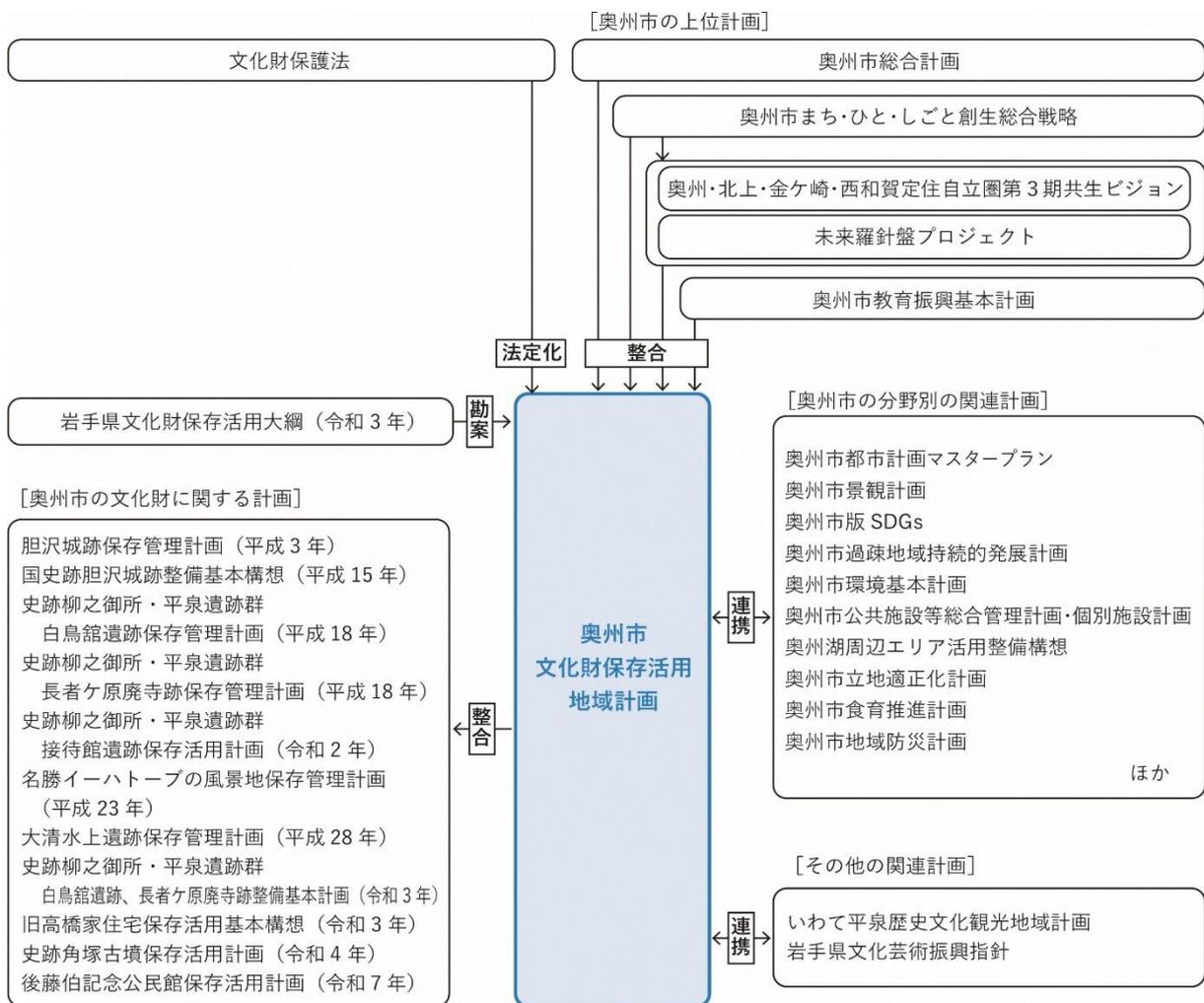
本計画に記載した取り組みの進捗管理及び点検・評価は、奥州市文化財保護審議会において行います。審議会での点検・評価及び事業進展等による状況変化が生じた場合には、適宜計画内容の見直しを行います。

なお、見直しの結果、「計画期間の変更」、「市内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更」、「本計画の実施に支障が生じるおそれのある変更」を行う場合には、法第183条の4に基づき、文化庁長官に本計画の変更認定を受けるものとします。これ以外の軽微な

変更を行った場合は、変更の内容について岩手県及び文化庁へ情報提供します。

3 計画の位置付け

本計画は、法第 183 条の 3 に基づき、奥州市における文化財保護行政の総合的な計画として作成するものです。計画の作成にあたっては、「岩手県文化財保存活用大綱」の内容を勘案した上で、市の最上位計画である「奥州市総合計画」及び教育行政の上位計画である「奥州市教育振興基本計画」などと整合を図りました。また、個別の文化財に関する保存活用計画等についても、本計画と整合を図っています。合わせて、県・市の関連計画との連携・整合についても、留意しました。



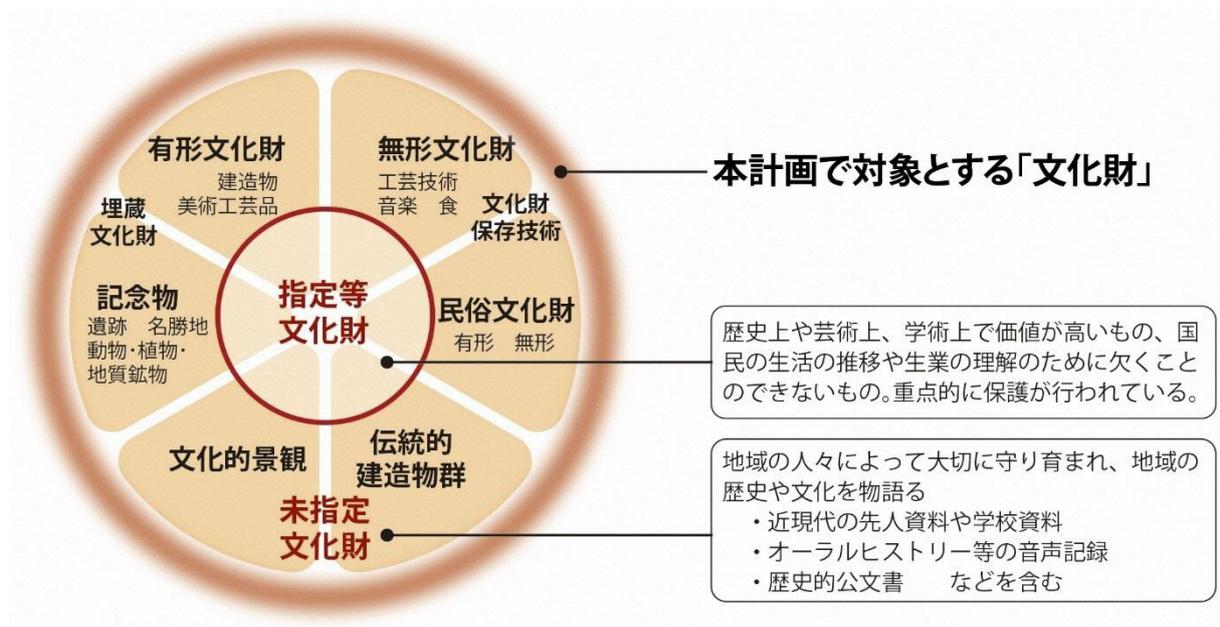
本計画の位置付け

4 計画の対象

本計画で対象とする「文化財」の定義は、以下のとおりとします。

「文化財」とは、法第2条に規定されている有形文化財・無形文化財・民俗文化財・記念物・文化的景観・伝統的建造物群の6類型に加え、法で保護対象となっている埋蔵文化財や文化財の保存技術を指します。

これら「文化財」のうち、歴史上や芸術上、学術上で価値が高いもの、国民の生活の推移や生業の理解のため欠くことのできないものは指定等文化財として重点的に保護が行われています。一方で、市内には指定等文化財だけでなく、地域の人々によって大切に守り育まれ、地域の歴史や文化を物語る未指定の文化財が数多く所在しています。本計画では、近現代の先人資料や学校資料、オーラルヒストリー等の音声記録、歴史的公文書などの比較的新しい時代の文化財も法で規定されている6類型のいずれかに位置付け、指定の有無に関わらず「文化財」として対象とします。



文化財の定義

先人資料

現在の奥州市域出身あるいは奥州市域で暮らしていた、政治・芸術・学術・地域振興などに功績のあった人物に関する日記や書簡、揮毫などの文化財で、特に19世紀以降の資料を指します。生存している人物の資料は含まれません。

第1章 奥州市の概要

1 自然・地理的環境

(1) 位置・面積

奥州市は、岩手県の内陸南部に位置し、東は遠野市・住田町、西は秋田県東成瀬村、北は花巻市・北上市・金ケ崎町、南は一関市・平泉町に接しています。総面積は、993.30 km²で、南北約37 km、東西に57 kmあります。



奥州市の位置図

(2) 地域区分及び地区区分

本計画では、令和8年(2026)3月時点での市の地域・地区区分を準用します。

地域区分としては、「水沢地域」・「江刺地域」・「前沢地域」・「胆沢地域」・「衣川地域」の5地域があります。この5地域は、平成18年(2006)に奥州市に合併した2市2町1村の旧自治体の区域を範囲としています。

5地域の区分の下位には、地区区分が存在します。地区区分には、30地区が存在し、一部を除いて戦後に行われた昭和の合併前の町・村を範囲としています。



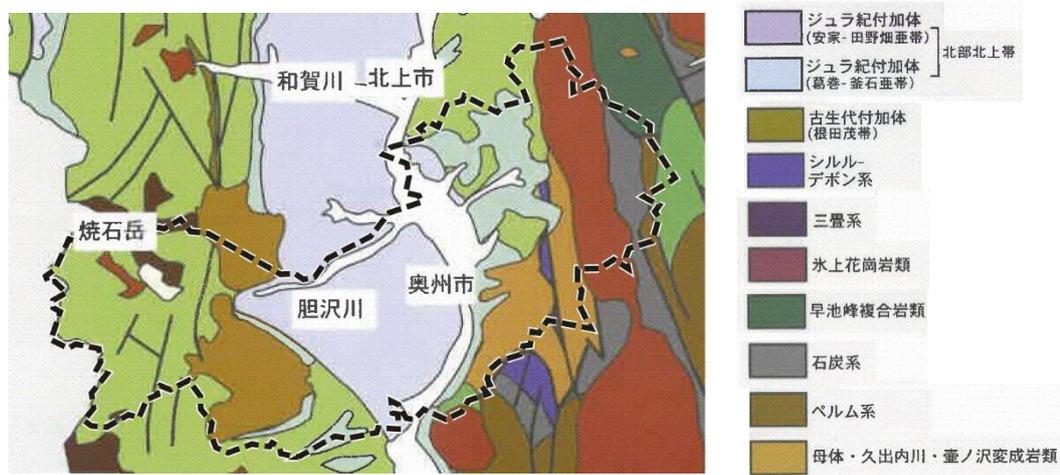
市内の地域・地区

(3) 地質・地形

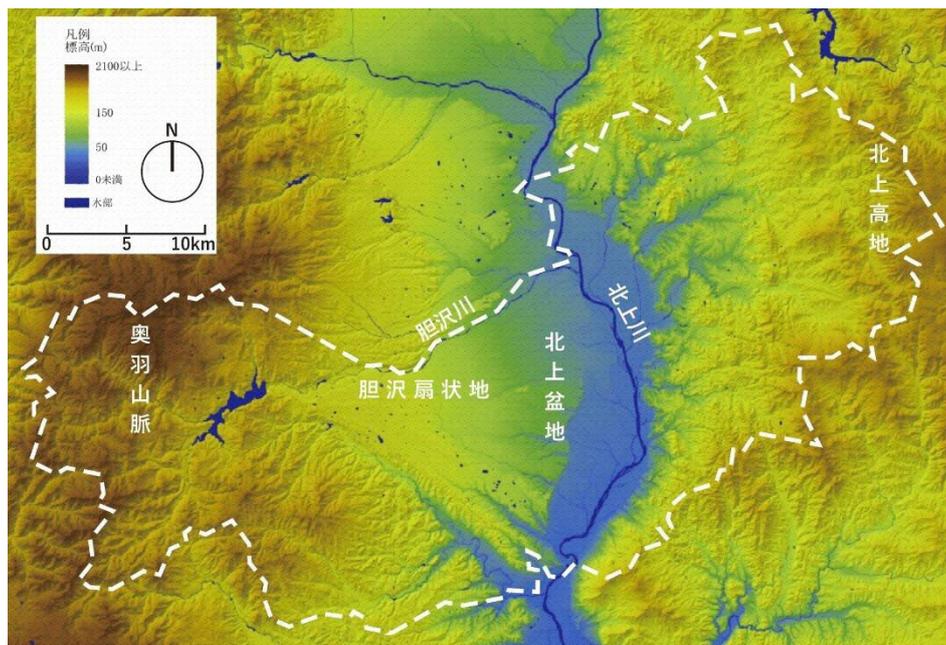
奥州市は、東に北上高地、西に奥羽山脈が位置しています。北上高地・奥羽山脈の間には北上盆地が広がり、南北に北上川が流れています。奥羽山脈からは、北上川に向かって胆沢川が流れ、流域には胆沢扇状地が広がっています。

北上高地は、1億2500万年前～1億2000万年前の地殻変動によって地殻が隆起し、原型が形成されました。この地殻変動により、古生代から中生代の地層が押し上げられ、そこに花崗岩質のマグマが入り込み、様々な鉱床や変成岩が形成されました。

奥羽山脈は、新生代の第四期更新世の地殻変動で大きく隆起しました。この地殻変動により、北上高地との間に北上盆地が形成されます。また、奥羽山脈は凝灰岩や安山岩などの脆い岩石で成り立っており、それらの岩石が胆沢川によって運ばれて堆積し、胆沢扇状地を形成しました。



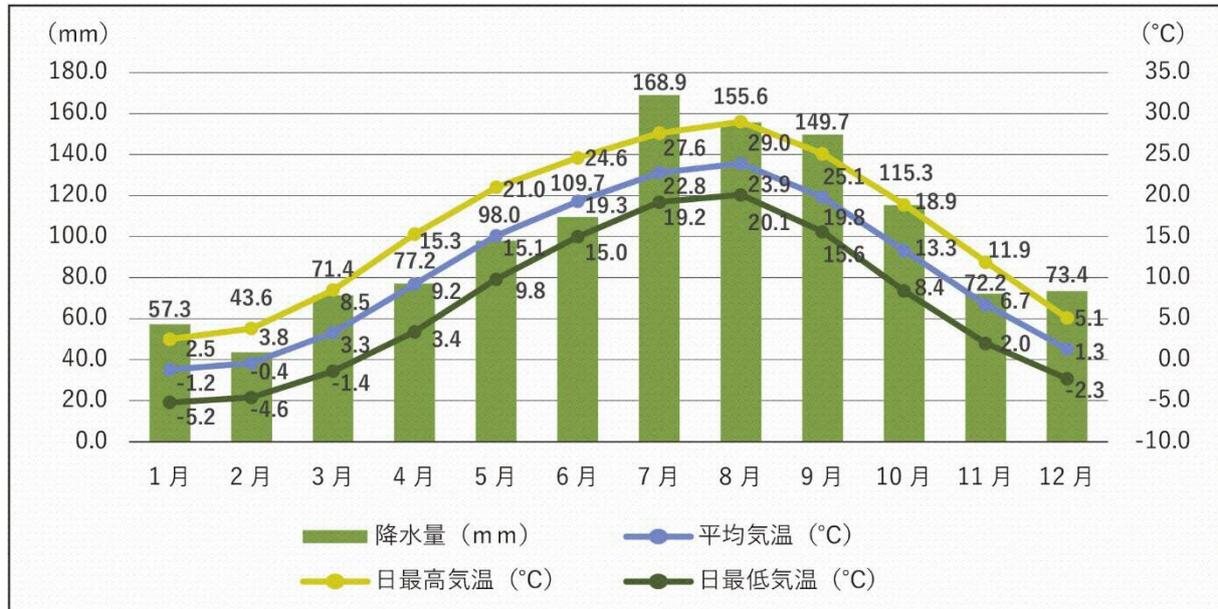
奥州市の地質(岩手県立博物館「岩手県地質図」より)



奥州市の地形(国土地理院電子地図国土 Web より)

(4) 気候

奥州市は、東西が広いいため、気温や降水量は東西で差があります。市の西部は、日本海側の影響を受け、降水量・積雪量が多くなっています。市中央部から北上高地にかけては、内陸性気候、盆地性気候に属し、年間の気温差が大きいです。



年間の降水量・気温

(1991-2020年平均値、観測点:江刺、気象庁データより)

2 社会的状況

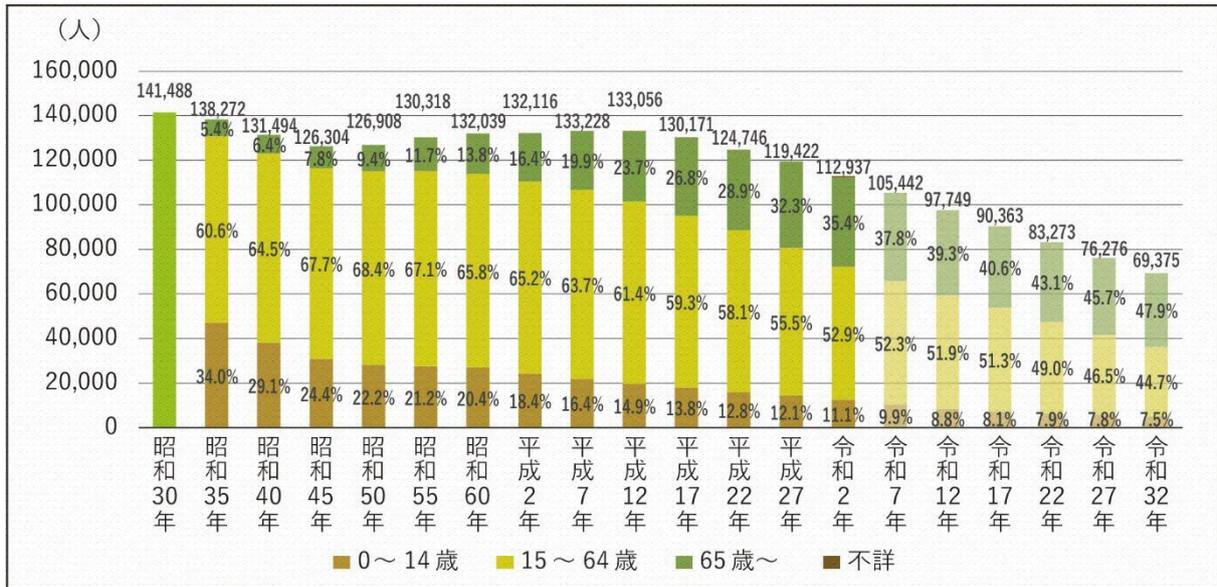
(1) 人口の推移

奥州市の人口は、令和8年(2026)3月31日現在、約108,000人です。

人口推移をみると、奥州市(合併前は旧自治体人口の合算)の人口は、昭和30年(1955)の141,488人が最大でした。その後は減少傾向となり、昭和50年(1975)に微増へ転じました。しかし、平成12年(2000)には再び減少に転じ、合併直前の平成17年(2005)には130,171人、令和2年には112,937人と急激な人口減少が続いています。

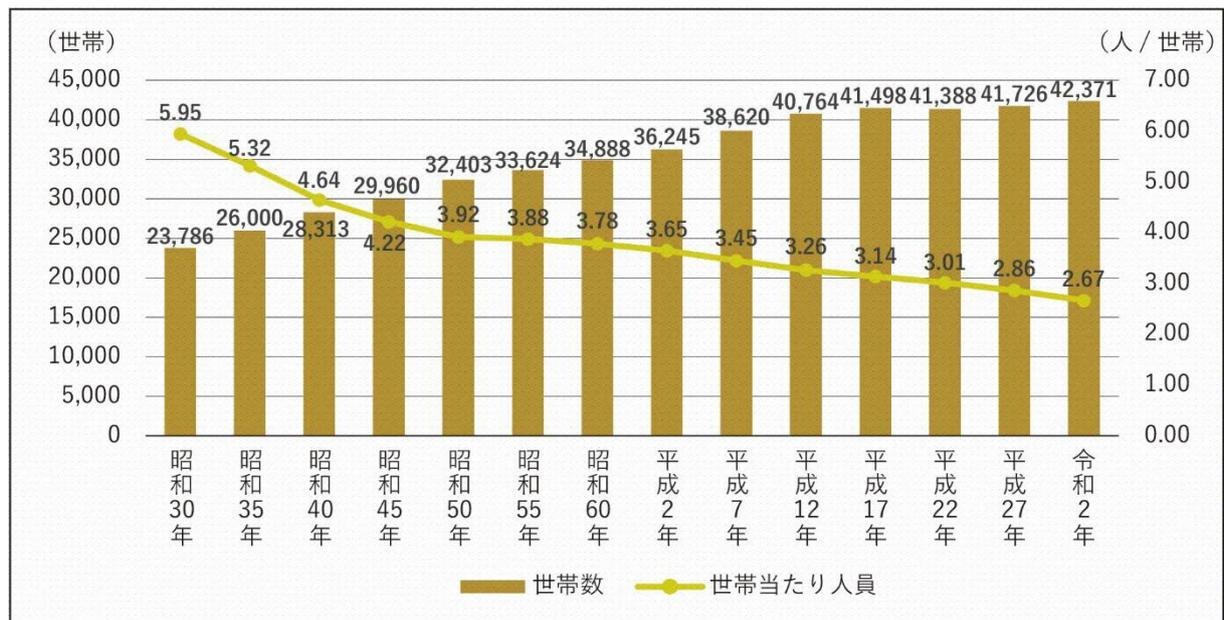
世帯数は、昭和30年(1955)に23,786世帯でしたが、微増傾向が続き、令和2年(2020)に42,371世帯です。また、人口の3区分別構成割合は令和2年(2020)時点で15~64歳が53.2%、65歳以上が35.6%、15歳未満が11.1%となっており、人口に占める65歳以上の割合が多くなってきています。

国立社会保障・人口問題研究所による令和5年(2023)の人口推計では、奥州市は令和12年(2030)に人口が97,749人となって10万人を割り込み、令和22年(2040)には83,273人、令和32年(2050)には69,375人になると予測されています。



人口の推移と将来推計

(～令和2年:国勢調査、令和7年～:国立社会保障・人口問題研究所、令和5年推計)



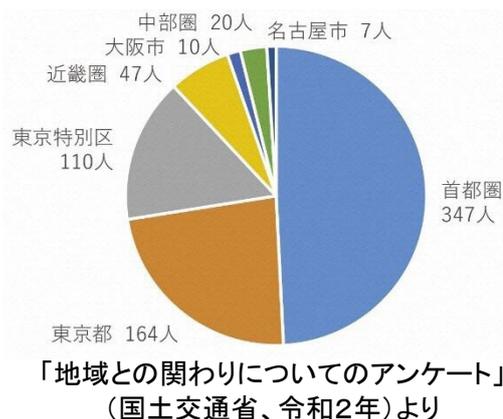
世帯数の推移(国勢調査より)

(2) 関係人口

関係人口とは、特定地域と継続的かつ多様に関わり、地域課題の解決に資する人などの人口を指します。国土交通省「ライフスタイルの多様化と関係人口に関する懇談会」が令和2年(2020)に公表した実態把握調査の資料では、三大都市圏居住者において、約861万人(18.4%)が関係人口として、日常生活圏、通勤圏等以外の特定の地域を訪問しているというデータが公表されています。岩手県の関係人口について三大都市圏別にみると、首都圏が

347人、中部圏が20人、近畿圏が47人となっており、首都圏の関係人口が多くなっています。

奥州市では、奥州市まち・ひと・しごと創生総合戦略において交流人口・関係人口の拡大が挙げられています。



(3) 空き家件数の推移

令和6年度(2024)の調査による市内の空き家件数は3,715件で、令和3年度(2021)から715件、123.8%増加しています。空き家になった原因は、居住者の死亡または施設入所によるものが圧倒的に多い状況です。

地域	H27	H30	R3	R6	増減 (R6/R3)
水沢	979	1,092	1,236	1,458	118.0%
江刺	774	968	1,116	1,384	124.0%
前沢	222	269	316	421	133.2%
胆沢	172	204	251	327	130.3%
衣川	45	70	81	125	154.3%
合計	2,192	2,603	3,000	3,715	123.8%

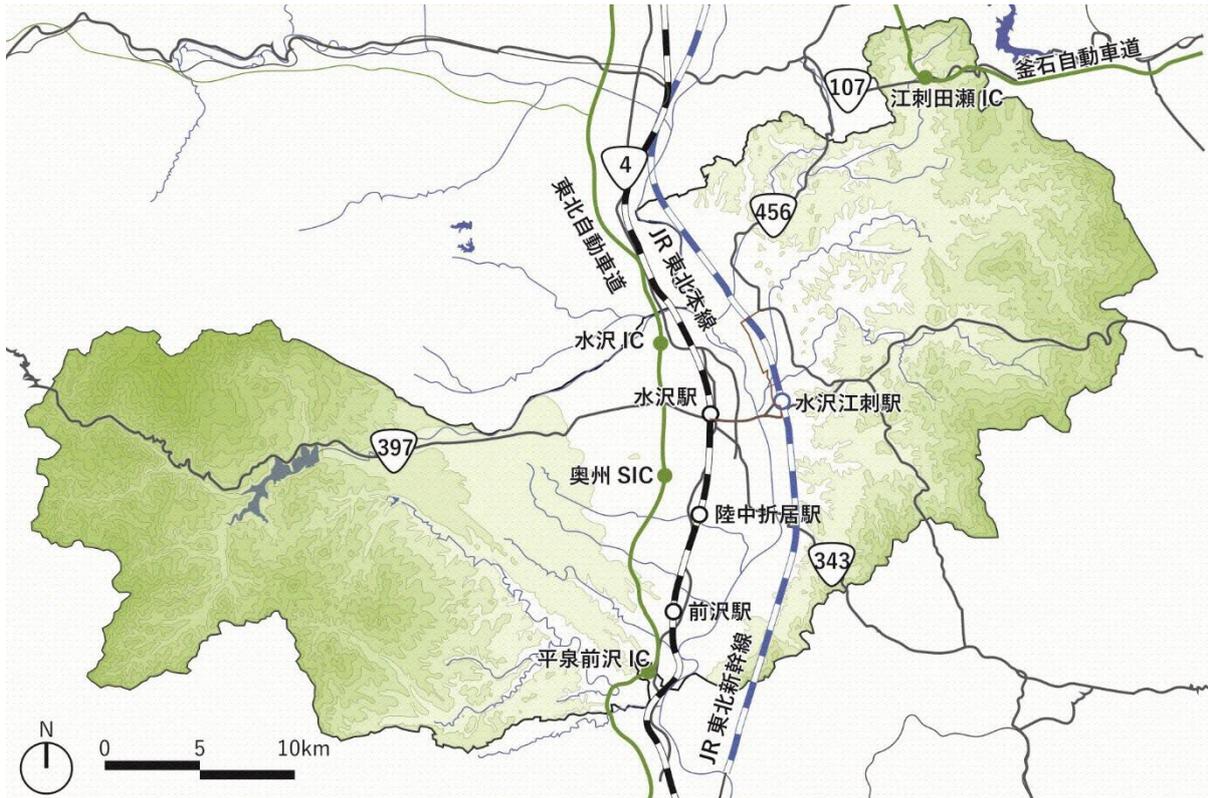
空き家の件数(「空き家実態調査(奥州市)」より)

(4) 交通

市内には国道4号が南北に通る、国道397号が岩手県大船渡市から江刺・水沢・胆沢を東西に横断して秋田県に、国道343号が水沢から陸前高田市に通じています。このほか、国道456号が江刺・水沢地域を南北に貫き、国道107号が江刺梁川地域を通っています。

また、東北自動車道が南北に通る、市内には北から水沢インターチェンジ・奥州スマートインターチェンジ・平泉前沢インターチェンジがあります。江刺梁川地域を釜石自動車道が通り、江刺田瀬インターチェンジがあります。

交通機関としては、JR東北新幹線・東北本線のほか、市内で運行するバス(路線・市営等)・地区内交通・一般タクシーがあります。



市内の交通ネットワーク

(5) 観光

奥州市の観光客数は、令和元年（2019）に160万人を超えましたが、令和2年（2020）から新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により減少しています。徐々に回復し、令和5年（2023）には約127万人となっています。

特に、歴史公園えさし藤原の郷は、年間数十万人の観光客が訪れる観光拠点となっています。

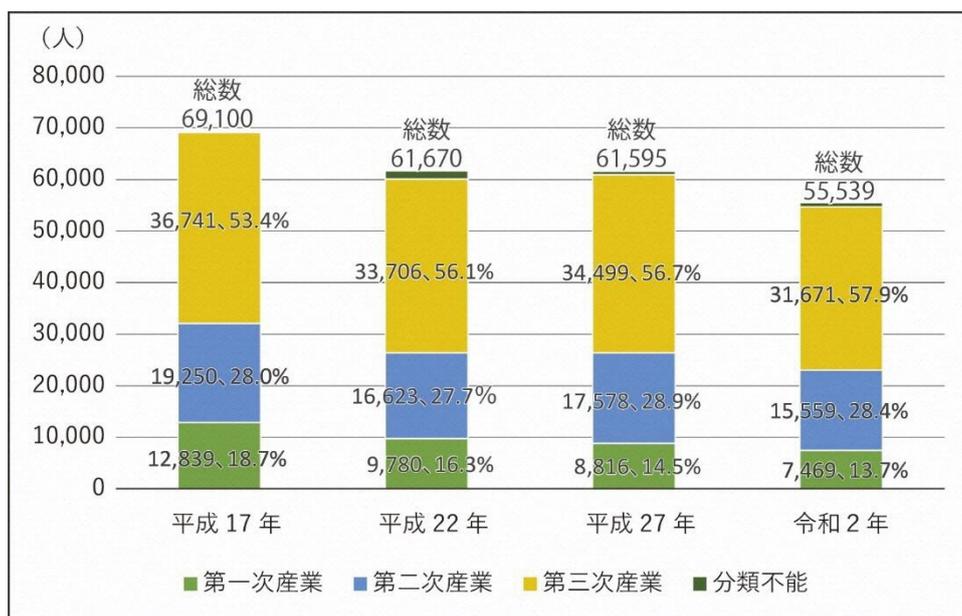


観光客数の推移(岩手県観光統計より)

(6) 産業構造

奥州市は、稲作を中心とした複合型農業により、県内屈指の農業地帯となっています。また、交通の利便性の良さを背景に商業集積が進み、工業団地等が整備されています。

令和2年(2020)の産業別就業者割合は、第三次産業が最も多く57.9%、次いで第二次産業が28.4%、第一次産業が13.7%です。近年の推移をみると、人口減少に伴い就労者人口も減少し、第三次産業の割合が増加、第一次産業が減少傾向にあります。また、第一次産業では農業の就業者数が減少しています。第三次産業では、各産業の従事者数は横ばいか減少ですが、医療福祉の従事者数は増加しています。



産業別 15 歳以上就業者数(国勢調査より)

(7) 文化財関係施設

文化財関係施設は、文化財や歴史文化の展示を行う博物館等の文化財展示施設、展示機能はないものの文化財を収蔵している文化財収蔵施設のほか、歴史的建造物、歴史公園、史跡附属施設があります。また、地区センターや学校施設などでも文化財を収蔵している施設があります。

文化財展示施設としては、旧自治体時代に建築された施設や先人などを個別に紹介する施設がありますが、奥州市全体の文化財や歴史文化を展示する施設はありません。また、文化財展示施設に収蔵しきれない文化財は、地区センターや廃止した公共施設などを転用した文化財収蔵場所等に分散して収蔵されています。

市が管理する歴史的建造物は、水沢地域に集中するほか、江刺地域の岩谷堂地区や前沢地域の生母地区にも所在しています。歴史公園は、遺跡や歴史文化に関する場所に設置しています。ガイド施設などの史跡附属施設は、市で管理している史跡のうち、胆沢城跡や白鳥

館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、角塚古墳に設置されています。

文化財展示施設

施設名	開館	概要
木村榮記念館	昭和41年 (1966)	旧臨時緯度観測所本館(国登録有形文化財)を利用し、緯度観測所初代所長である木村榮の業績を顕彰する記念館。所長室を再現し、使用していた眼視天頂儀や歴代の観測装置等を展示している。
消防記念館	昭和45年 (1970)	江戸時代末期から明治・大正時代の消防に関する資料を収集、展示している。
高野長英記念館	昭和46年 (1971)	郷土の先覚者高野長英を顕彰する記念館であり、訳書、著書、手紙および遺品などを収蔵している。
斎藤實記念館	昭和50年 (1975)	斎藤實の旧宅敷地に建つ記念館。業績を示す勲章や礼装品などを展示している。記念館の一部として、国登録有形文化財斎藤子爵水沢文庫図書館・図書閲覧所も公開している。
後藤新平記念館	昭和53年 (1978)	奥州市水沢に生まれた後藤新平の記念館。幼少時代から晩年に至るまでの資料を数多く展示している。
奥州市伝統産業会館	昭和61年 (1986)	南部鉄器発祥の地の歴史を伝える資料が展示されているほか、鉄器づくりの工程を紹介している。
水沢図書館	平成元年 (1989)	古文書書庫に留守家文書(国指定重要文化財)等を保管しているほか、木村榮関係の資料を展示している。
胆沢郷土資料館	平成3年 (1991)	胆沢地域の歴史や民俗などを紹介する施設。約3万年前の旧石器や弥生時代の石包丁、角塚古墳出土埴輪、民具などを展示している。
奥州市武家住宅資料館	平成5年 (1993)	「探訪・城下町水沢」をテーマに、江戸時代の水沢の町並みを概観できる地図や武具などの資料を展示している。
奥州市埋蔵文化財調査センター	平成5年 (1993)	埋蔵文化財を調査研究し、その資料を展示している。胆沢城跡歴史公園を含む国指定史跡「胆沢城跡」のガイダンス施設としての役割を担う。
三好京三記念室	平成6年 (1994)	奥州市前沢出身の直木賞作家である三好京三の資料を展示する記念室。衣川ふるさと自然塾内の旧衣川小学校大森分校職員室を使用している。
奥州市牛の博物館	平成7年 (1995)	「牛と人との共存を探り、生命・自然・人間を知る」をテーマに掲げた牛専門の登録博物館である。
衣川歴史ふれあい館	平成7年 (1995)	前九年合戦と安倍一族をテーマとし、安倍貞任と源義家、前九年合戦の名場面を再現している。
えさし郷土文化館	平成12年 (2000)	江刺地方の歴史や文化と地域産業、連綿と培われてきた祈りの伝統を、豊富な実物資料や復元資料を通じて楽しみながら学ぶことができる。
めんこい美術館	平成13年 (2001)	奥州市水沢出身の佐々木精治郎の絵画作品と、世界のアゲハチョウ標本を展示する常設展がある。
菊田一夫記念館	平成15年 (2003)	展示棟として利用している中善蔵は、市指定文化財。ラジオドラマ「鐘の鳴る丘」で有名な劇作家菊田一夫の生涯と作品資料を展示している。
奥州宇宙遊学館	平成20年 (2008)	旧緯度観測所本館(国登録有形文化財)として使用されていた建物で、子どもから高齢者まで天文や宇宙について楽しく学べる科学館。

文化財収蔵場所

益沢院収蔵庫、前沢文化財収蔵庫、前沢文化財整理室、おだき文化財整理室、胆沢図書館、衣川セミナーハウス、梁川地区センター資料室、稲瀬地区センター郷土資料室、米里地区センター、南都田地区センター、北股地区センター郷土資料室、水沢小学校郷土資料室、旧前沢小学校郷土資料室、旧上野原小学校、旧胆沢愛宕小学校郷土資料室、旧江刺東中学校、胆沢総合支所、旧衣川給食センター

市が管理する歴史的建造物

建物名称	建築年代
旧後藤家住宅	元禄年間(1699~1703年)
旧高橋家住宅(主屋・土蔵ほか)	明治21年(1888)ほか
高野長英旧宅	江戸時代
後藤新平旧宅	18世紀前半頃
旧岩谷堂共立病院	明治8年(1875)
旧後藤正治郎家住宅	19世紀初頭

建物名称	建築年代
旧内田家住宅(主屋・門)	19世紀初め頃
旧安倍家住宅(主屋・板倉ほか)	明治時代、大正後期
齋藤子爵水沢文庫(図書庫・図書閲覧所)	昭和7年(1932)
旧高野家住宅(古稀庵・新座敷ほか)	昭和6年(1931)ほか
後藤伯記念公民館	昭和16(1941)年
旧緯度観測所本館	明治・大正時代

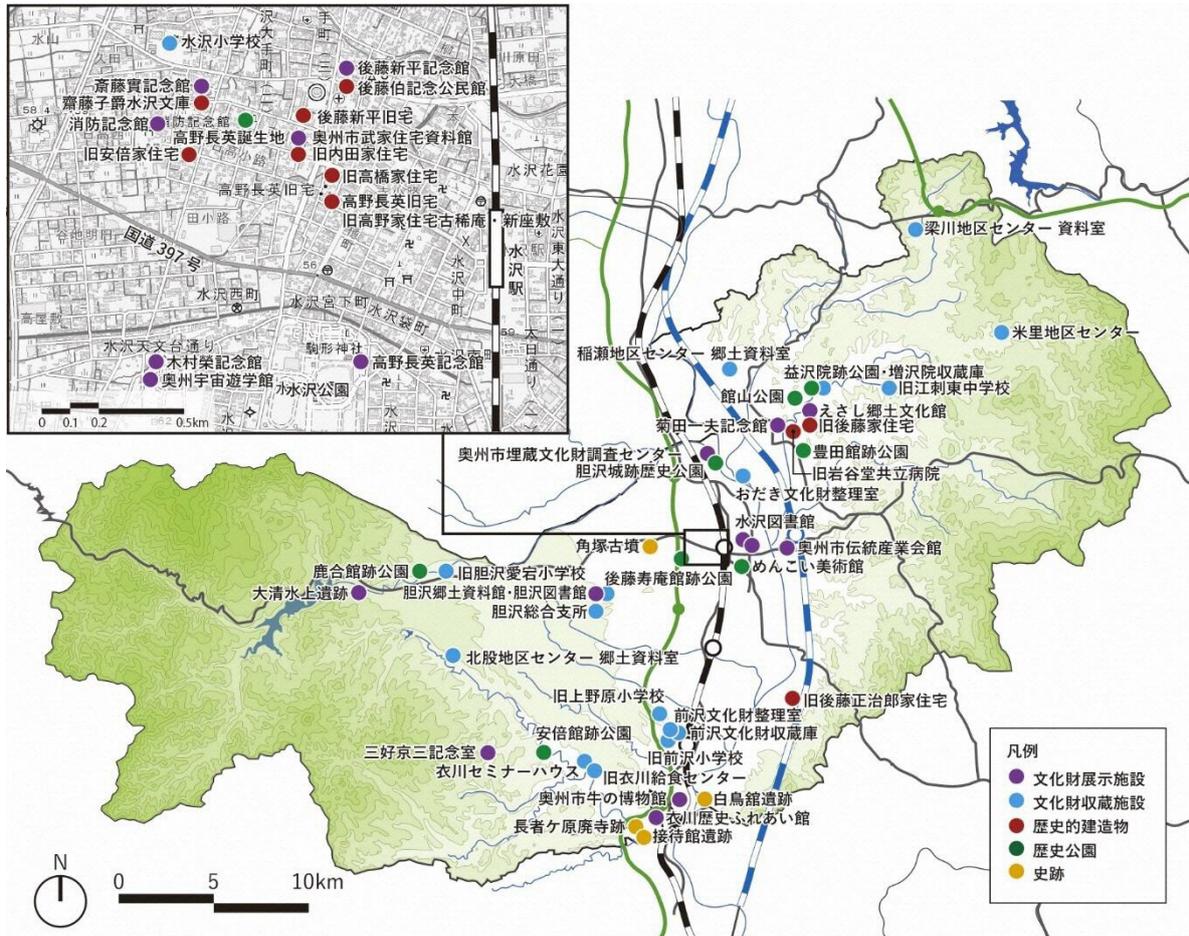
歴史公園

後藤寿庵館跡公園、高野長英誕生地、胆沢城跡歴史公園、豊田館跡公園、益沢院跡公園、館山公園、鹿合館跡公園、安倍館跡公園

市が管理する史跡

史跡名称	年代
大清水上遺跡	縄文時代前期後葉
角塚古墳	古墳時代中期
胆沢城跡	平安時代前期
長者ヶ原廃寺跡	平安時代末期

史跡名称	年代
白鳥館遺跡	平安~室町時代
接待館遺跡	平安時代末期
高野長英旧宅	江戸時代末期
豊田城跡碑	江戸時代



文化財関係施設の分布図

3 歴史的背景

(1) 原始

市内最古の遺跡は上萩森遺跡で、後期旧石器時代の石器が出土しています。このほかにも、胆沢川沿いの高位面や北上高地には、旧石器時代から縄文時代草創期の遺跡があります。

縄文時代早期には土地に定住するようになりますが、完全には定住しておらず、季節によって遊動する生活を送っていました。縄文時代前期になると、人々が定住して大規模なムラを作るようになり、市内でも遺跡が増えます。なかでも胆沢扇状地扇頂部付近に所在する大清水上遺跡は、大型竪穴住居群で構成される環状集落で、縄文時代前期後葉の拠点的な大集落です。縄文時代中期後葉から気候が冷涼になり、縄文時代後期・晩期には、集落が各地に分散し、遺跡数が増加します。また、晩期には北上川沿いなどに大規模な集落が営まれました。

弥生時代の遺跡は、胆沢川下流域から北上盆地に多く見つかります。市内でも稲作が始まったことを示すものとして、清水下遺跡出土の石包丁があります。

古墳時代中期の角塚古墳は、日本最北の前方後円墳です。沢田遺跡の円墳群や拠点と考えられる中半入遺跡、石田Ⅰ・Ⅱ遺跡では、古墳文化と続縄文文化の遺物が共伴しており、列島の南北と接点があったことを示しています。

(2) 古代

平安時代には、東北地方に住む人々は大和朝廷から蝦夷と呼ばれ、たびたび征夷の対象となっていました。延暦5年(774)に朝廷による蝦夷征討が始まり、延暦21年(802)には坂上田村麻呂が胆沢城を造営しました。同年、胆沢地方の蝦夷族長であった大墓公阿弓流為、盤具公母礼らが降伏します。まもなく胆沢城は鎮守府となり、10世紀後半まで陸奥国北部を支配する拠点となります。この頃、市内には仏教文化が広まり、黒石寺の木造薬師如来坐像や浅井智福愛宕神社の木造兜跋毘沙門天立像が造立されました。

11世紀に奥六郡(胆沢・江刺・和賀・稗貫・斯波・岩手郡)を治めていた安倍氏が境界である衣川を越えて朝廷と衝突し、前九年合戦が起こります。前九年合戦は、安倍氏の敗北となりますが、この後、朝廷方として参戦していた出羽仙北三郡の清原氏で内紛が起こり、後三年合戦が勃発します。後三年合戦では清原一族の多くが死亡しますが、安倍氏の血を引き、かつ当時清原氏の養子となっていた平泉藤原氏初代の藤原清衡は、朝廷側につき、生き延びます。10世紀末に衣川に建立された寺院跡の長者ヶ原廃寺跡は、安倍氏や清原氏が奥六郡で台頭してきていたことを示します。

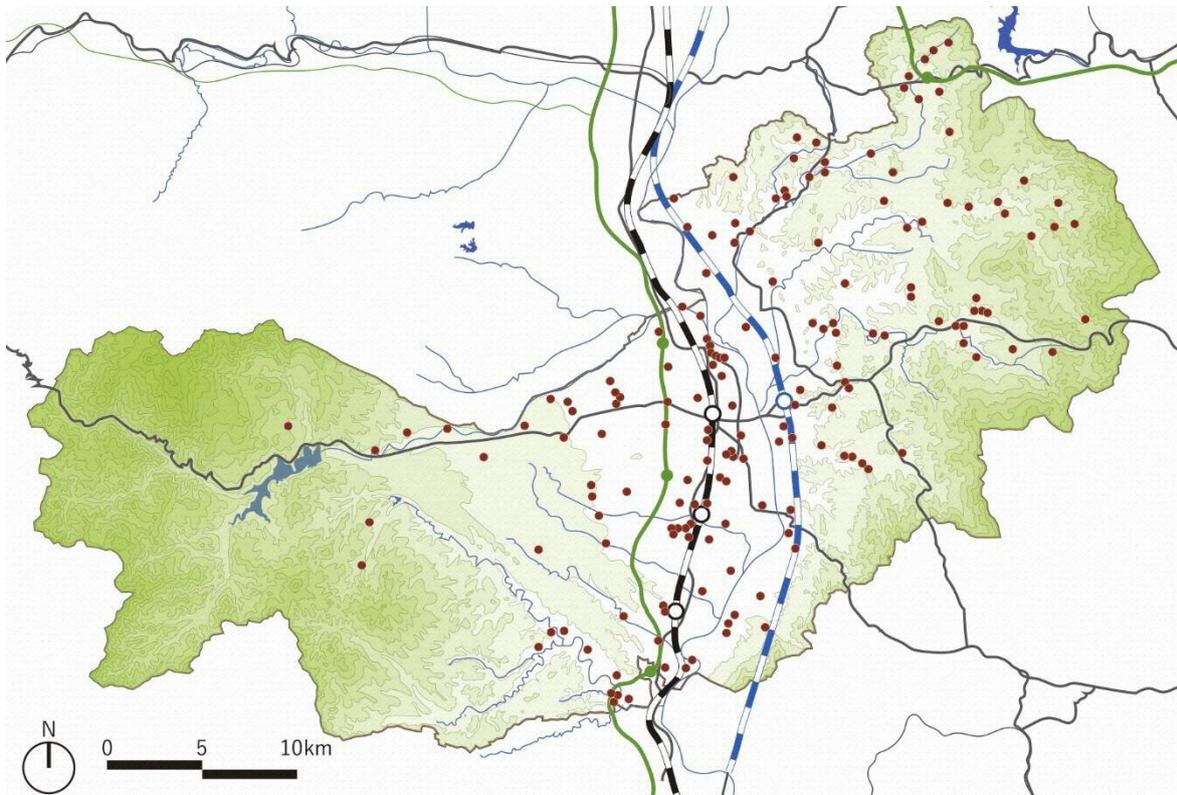
11世紀末から12世紀初頭に、藤原清衡は江刺郡の豊田館から平泉に進出し、朝廷と結びつきを持ちつつ、東北地方全域を支配下に治め繁栄しました。12世紀に川湊として使用が始まった白鳥館遺跡や大量のかわらけを伴う儀礼が行われた痕跡がある衣川の接待館遺跡は、都市平泉の一部をなしていました。

(3) 中世

文治5年(1189)の奥州合戦により平泉藤原氏が滅亡し、胆沢・江刺郡と磐井郡の一部は、源頼朝の御家人で、奥州総奉行に任じられた葛西清重に与えられました。清重には、頼朝から「葛西五郡二保」(胆沢・江刺・磐井・気仙・牡鹿郡、黄海・興田保)と呼ばれる広大な所領が与えられました。

鎌倉時代には、胆沢・江刺・磐井郡に所領を有していた平泉の中尊寺と現地支配を進める葛西氏との間で対立が起こります。南北朝時代に入ると、葛西領北部の胆沢・江刺郡で葛西一族やその被官の自立が進みました。貞和4年(1348)に開山した正法寺は、このような自立した領主に支持され、発展していきました。室町時代には、領主間の連携による地域秩序の安定が図られ、胆沢郡の柏山氏と江刺郡の江刺氏が地域を代表する領主となります。戦国時代には、柏山氏や江刺氏などの領主は抗争を繰り返しており、その影響によって岩谷堂城や水沢城などの城館が構えられました。

天正18年(1590)の豊臣秀吉による奥羽仕置により、葛西氏やその一族・家臣は所領を失います。この仕置に反発した人々は、葛西・大崎一揆を引き起こします。しかし、翌年には豊臣政権に鎮圧され、葛西旧領は伊達政宗に与えられることとなりました。



市内の中世城館位置図

(4) 近世

胆沢・江刺郡は伊達政宗に与えられた葛西旧領の北端で、南部氏と境を接しました。その境界をめぐる伊達・南部氏の間で争論となり、幕藩体制成立後の寛永18年(1641)の幕府による裁定により決着しました。

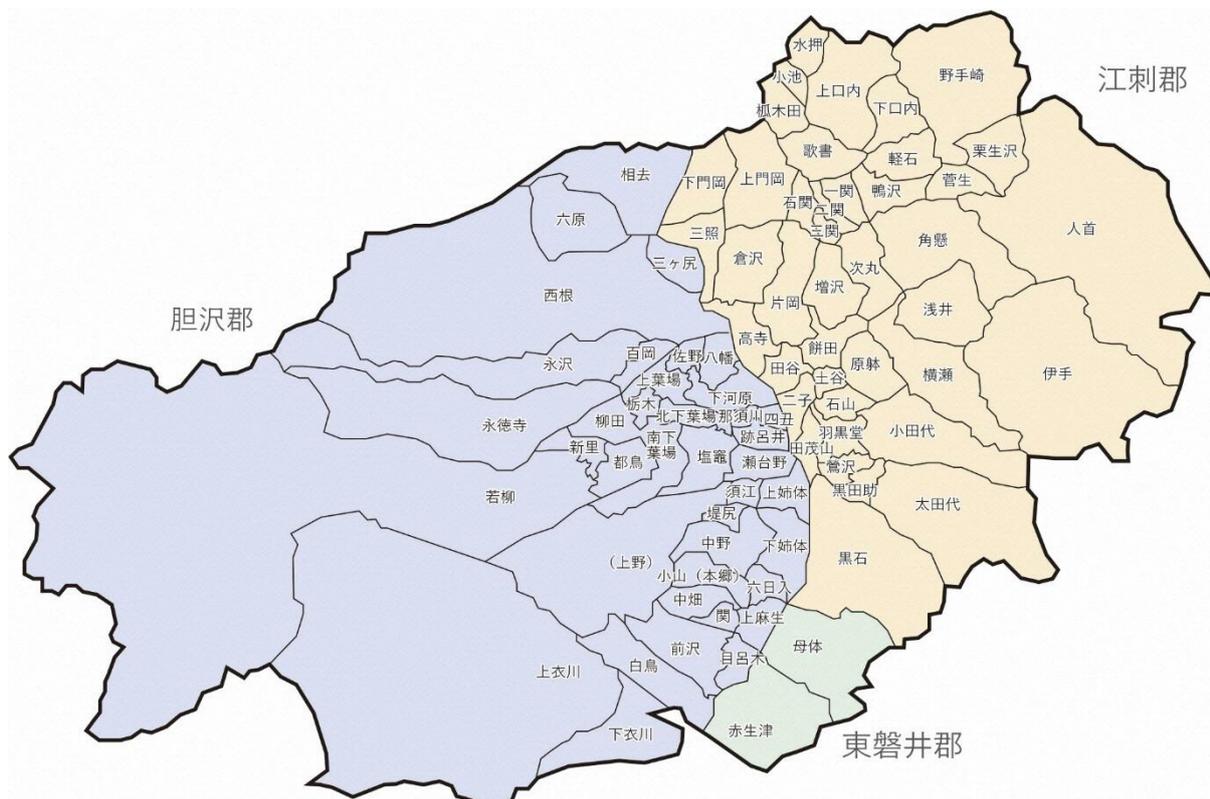
幕藩体制の成立後、仙台藩は、藩士が藩主から与えられた知行地を直接支配する地方知行制を採用しました。胆沢・江刺郡に知行地を与えられた藩士は、胆沢郡側の茂井羅堰・寿安堰や江刺郡側の樋茂井堰・鹿股堰などの堰の開削や新田開発を進め、藩内有数の穀倉地帯を築きました。また、盛岡藩(南部氏)との境界地帯という事情により、藩境に隣接する場所や街道沿いの要衝となる胆沢・江刺郡の拠点には、伊達一族などの有力藩士が配置されました。これらの拠点は、要害制が確立した後、要害(岩谷堂・水沢・人首)と所(前沢・野手崎)に位置付けられました。水沢要害の町場に残る後藤新平旧宅や旧内田家住宅は、武士の暮らしを伝えています。

仙台藩政下での地域支配は、仙台藩士のみが担っていた訳ではありません。江戸時代の村落支配は、各村の有力者から任じられる肝入が担当しました。肝入のとりまとめ役として、数村から十数村に一人大肝入が任じられ、広域行政を担っていました。また、地域で収穫された米を石巻港まで送る北上川舟運の管理は、肝入の中から上川御艦肝入が選任されました。行政を地域の人々が担ったことにより、上伊沢大肝入の「新里の中屋敷千田家文書」などの地方文書が藩中央ではなく、地域に残されることとなります。

近世後期には、水沢要害の町場で日高火防祭が始まりました。また、農村では神楽や鹿踊、剣舞などの民俗芸能が成立しました。現在まで伝わる無形民俗文化財の原型は、この頃の暮らしと関わって成立しています。



仙台藩の要害・所



江戸時代における胆沢・江刺郡(東磐井郡の母体・赤生津村含む)の村
(今野健氏作成資料をもとに作成)

(5) 近代

明治維新後、藩が解体され新たに県が設置されました。現在の奥州市域は、明治9年(1876)に岩手県に属することとなります。また、江戸時代の村も再編され、近代の行政区画である町や村となります。また、町や村の上部には郡が置かれました。

郡内では、元々武士や商人が集住していた旧要害・所の町場に商工業者が集中し、商業を中心とした都市部となります。特に、水沢・岩谷堂・前沢の発展は目覚ましく、旧高橋家住宅を建築した高橋家のように、近代の地域政治・経済に大きな影響を持つ家が誕生しました。

一方、都市部以外の地域は農業を主たる産業とする農村部となりました。明治時代後半からは、江刺郡東部の北上高地で鉱山開発が進められ、鉱山周辺の村で人口が増加します。また、明治23年(1890)に東北本線水沢駅が開業し、人の往来も盛んとなりました。

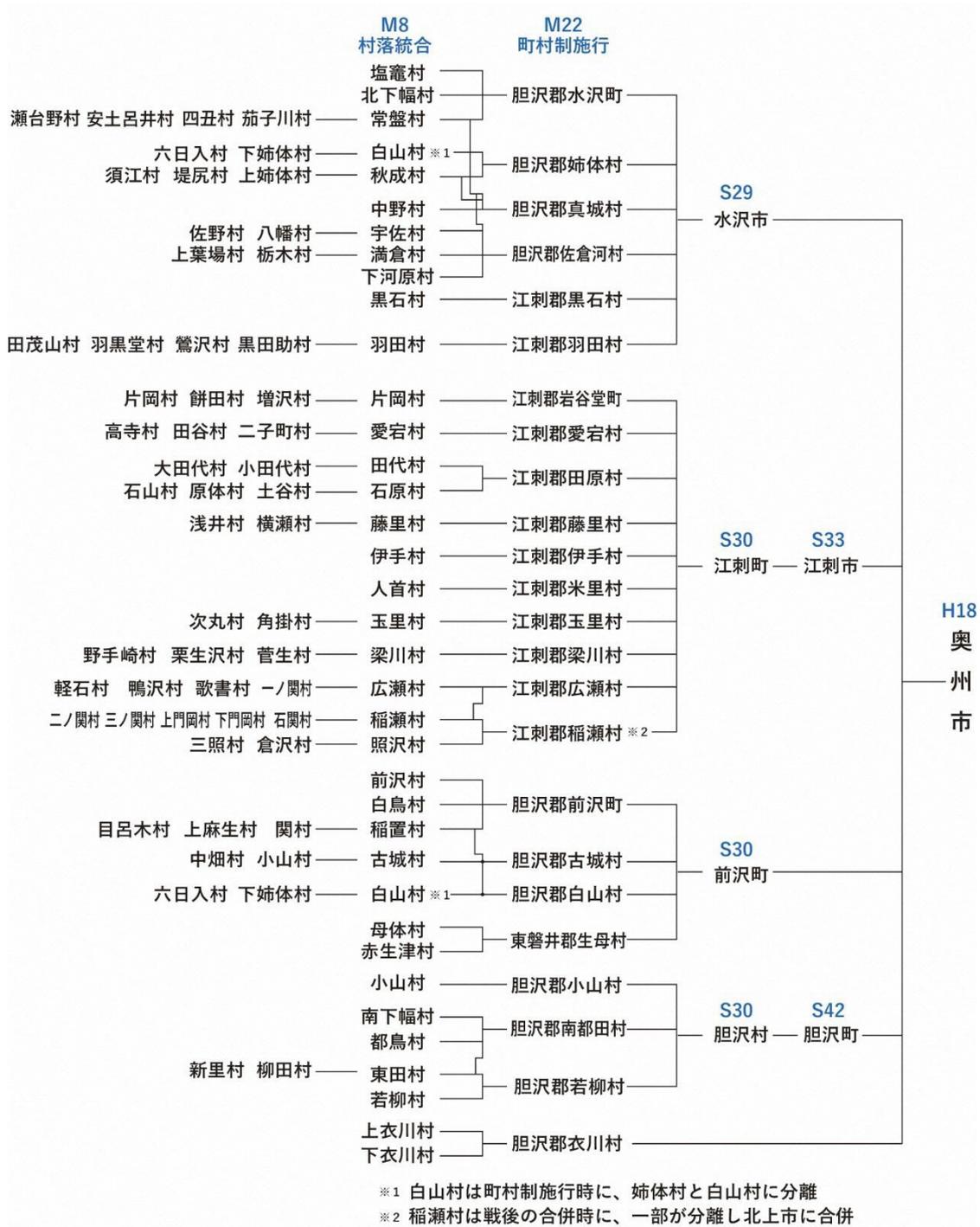
明治時代以降には職業選択が自由となり、市内出身者から国内外で功績を挙げた多くの先人が誕生します。先人たちは死後に彼らを慕う人々に顕彰され、それに伴って多くの歴史資料が残されることとなります。また、市内には先人の名を冠する文化財があります。内閣総理大臣などを歴任した斎藤實は、故郷の子弟教育のため齋藤子爵水沢文庫を開設しています。内務大臣などを歴任した後藤新平の死後、かつての部下、正力松太郎がその恩義に報いるため、新平の故郷である水沢に後藤伯記念公民館を建設しました。

(6) 現代

太平洋戦争の終戦後、自治体の合併が大規模に行われました。昭和の合併の結果、水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町が誕生します。この合併時に、東磐井郡に属していた生母村（現在の生母地区）は前沢町に合併します。また、江刺郡稲瀬村は分離し、現在は奥州市江刺稲瀬地区と北上市稲瀬地区になりました。衣川村は合併せず、明治22年（1889）に成立した際の村域を維持しました。この時の旧市町村が、現在の水沢・江刺・前沢・胆沢・衣川地域の範囲となっています。

近代に人口が集中していた水沢地区や岩谷堂地区、前沢地区は、戦後も都市部として商業の中心地となります。これらの地域を核として、水沢南地区や常盤地区、江刺愛宕地区などで宅地開発が進みます。また、東北自動車道や東北新幹線の開通など、交通網の整備も進みます。一方で、平成時代から人口減少の傾向が顕在化し始め、特に農村部や山間部でその傾向が顕著となっています。

平成18年（2006）、人口減少や少子高齢化による社会情勢変化への対応や将来にわたって持続可能な行政サービスを構築していくため、水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川村が合併し、奥州市が誕生しました。



明治時代以降の市町村合併経過

第2章 文化財の概要と特徴

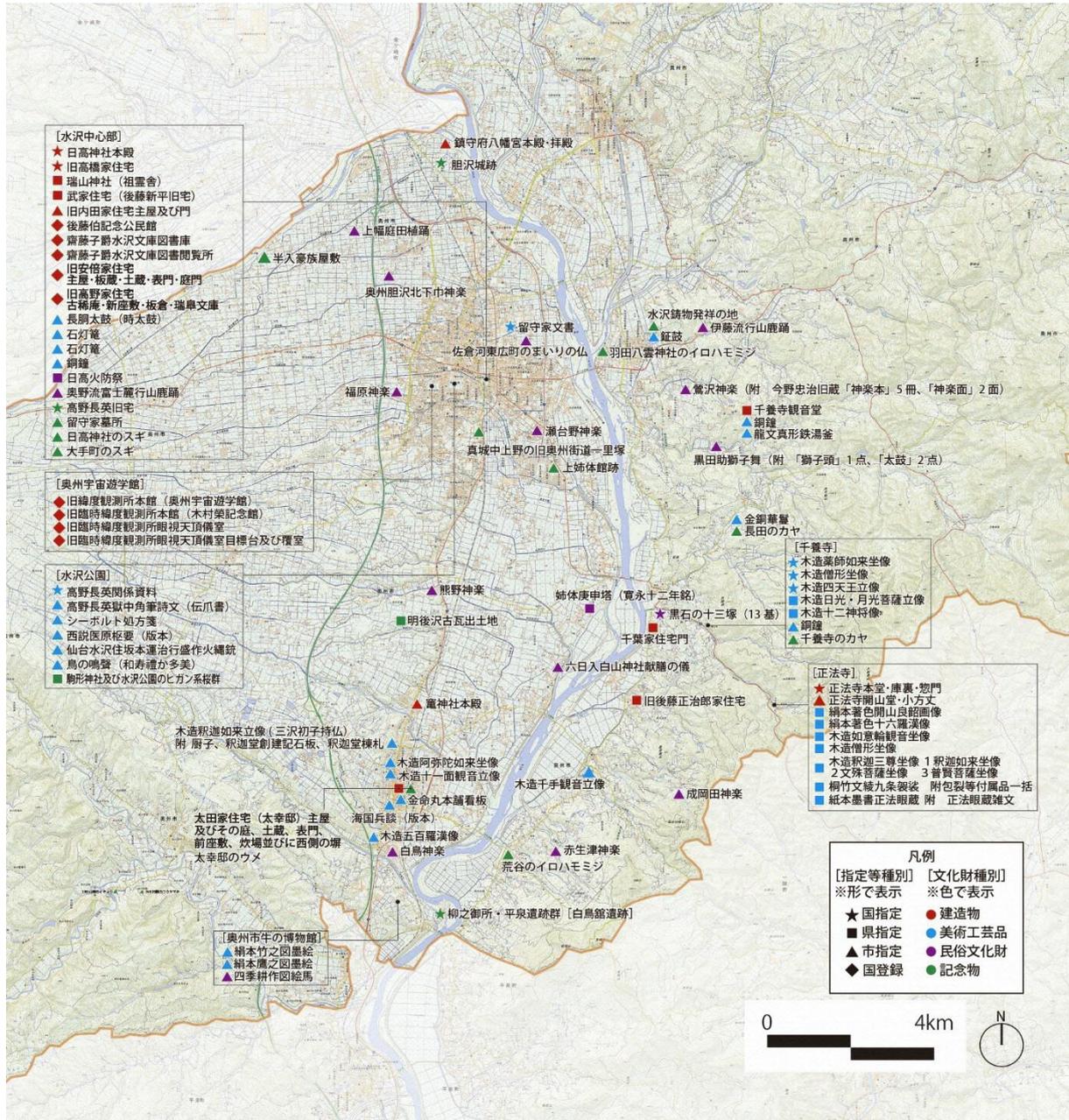
1 指定等文化財

令和8年（2026）3月31日時点で奥州市に所在する国指定・登録文化財、岩手県指定文化財、奥州市指定文化財の件数は合計313件です。文化財の保存技術に選定されているものはありません。このほか、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として3件が選択されています。

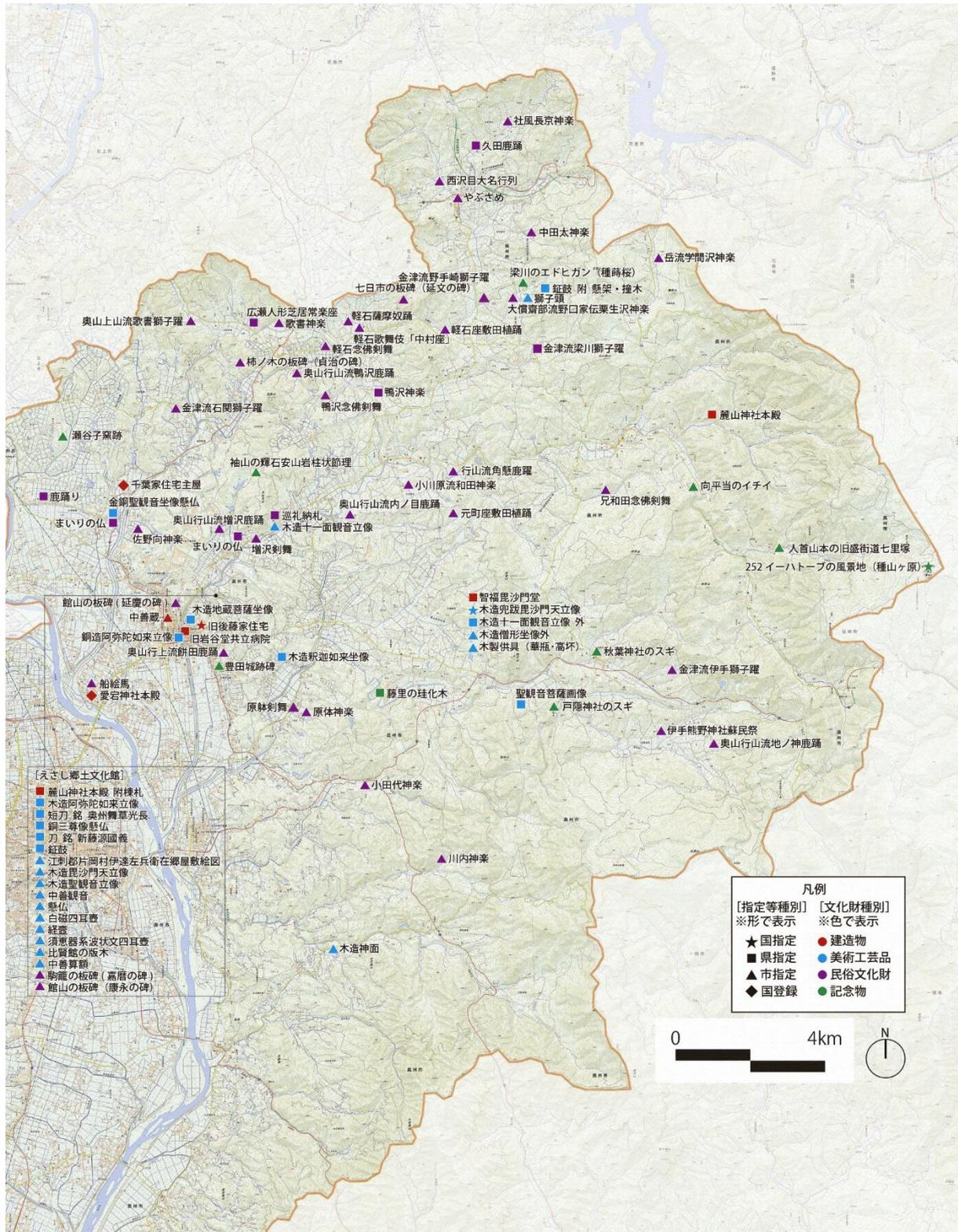
指定等文化財の件数一覧（令和8年3月31日現在）

		国指定	国選択	県指定	市指定	国登録	合計	
有形文化財	建造物	4	—	11	5	18	38	
	美術 工芸 品	絵画	0	—	3	2	0	5
		彫刻	4	—	11	19	0	34
		工芸品	0	—	8	13	0	21
		書跡・典籍	0	—	1	0	0	1
		古文書	1	—	0	6	0	7
		考古資料	0	—	2	5	0	7
		歴史資料	1	—	0	11	0	12
無形文化財		0	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	1	—	4	43	0	48	
	無形の民俗文化財	1	(3)	6	73	0	80	
記念物	遺跡	5	—	1	9	0	15	
	名勝地	1	—	0	0	0	1	
	動物・植物・地質鉱物	0	—	4	40	0	44	
文化的景観		0	—	—	—	—	0	
伝統的建造物群		0	—	—	—	—	0	
指定・登録合計		18	(3)	51	226	18	313	

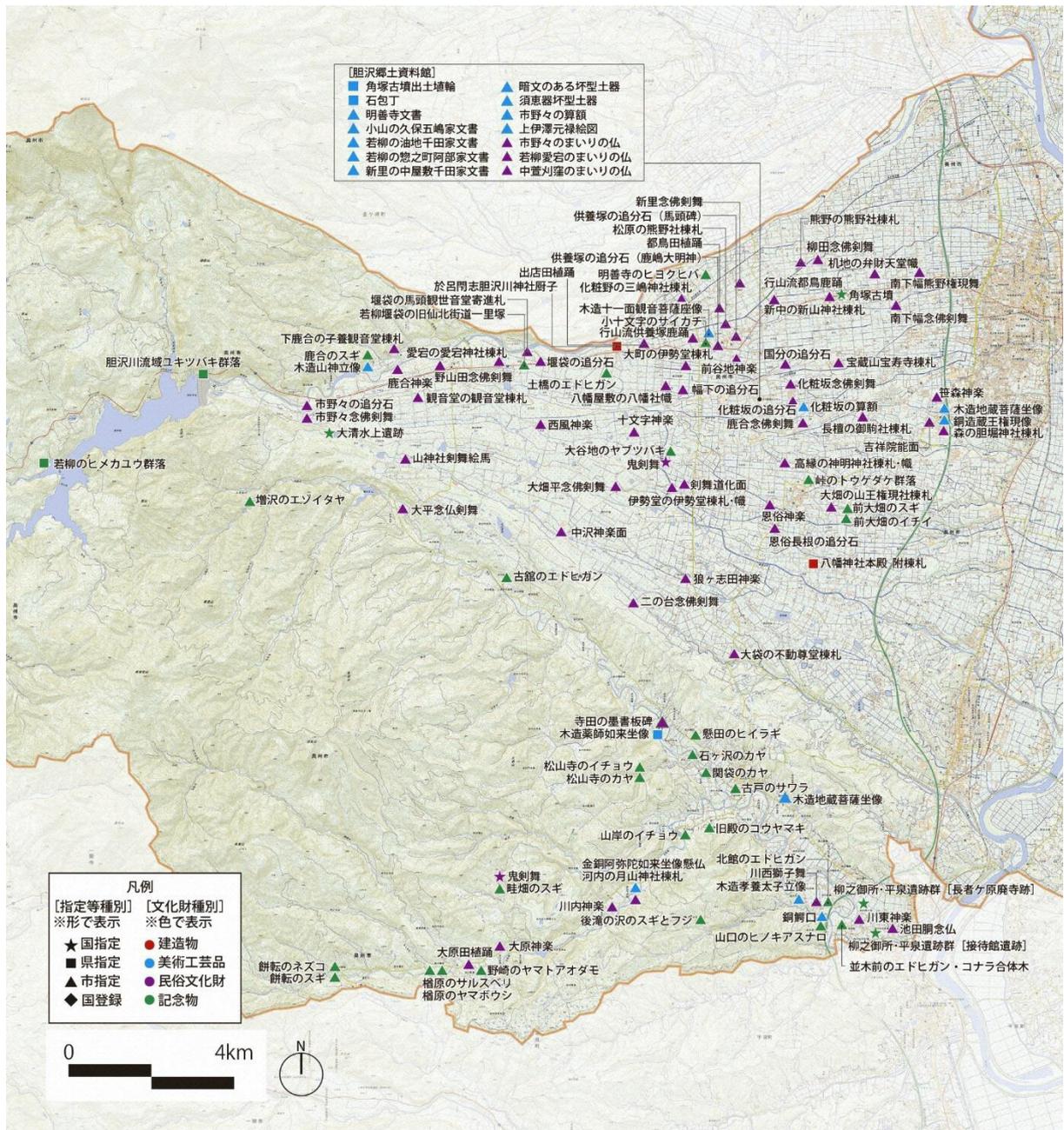
※記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財の3件は、指定・登録文化財の合計に含まれない。



指定等文化財の分布図(水沢、前沢)



指定等文化財の分布図(江刺)



指定等文化財の分布図(胆沢、衣川)

（1）指定文化財

市内の指定文化財は、国指定 18 件、県指定 51 件、市指定 226 件となっています。地域ごとでは、江刺地域と胆沢地域に指定文化財が多く分布しています。指定レベル別では、地域ごとに国・県・市指定の割合が異なっており、国指定は水沢地域、県指定は水沢地域・江刺地域、市指定は江刺地域・胆沢地域での分布が多くなっています。

有形文化財は、建造物 20 件、美術工芸品 87 件が指定されています。建造物では、社寺建築が多く指定されています。美術工芸品は、絵画・彫刻・工芸品などに細分化されます。仏神像などの彫刻や優れた工芸技術を伝える工芸品が多く指定されています。

指定民俗文化財のうち、「無形の民俗文化財」が 80 件指定されています。指定されているのは、祭礼等の風俗慣習、神楽・田植踊・風流（剣舞・鹿踊等）などの民俗芸能です。「有形の民俗文化財」は、48 件指定されています。中世の板碑や近世の道標などの石碑、近世の棟札が指定となっています。

記念物は遺跡、名勝地、動物・植物・地質鉱物に細分化され、60 件が指定されています。遺跡のうち、原始から近世までの重要なものが史跡として指定されています。名勝地は 1 件が名勝として指定、動物・植物・地質鉱物のうち、植物では樹木や植物の群生地、地質鉱物では特徴的な鉱物やその産地が天然記念物に指定されています。

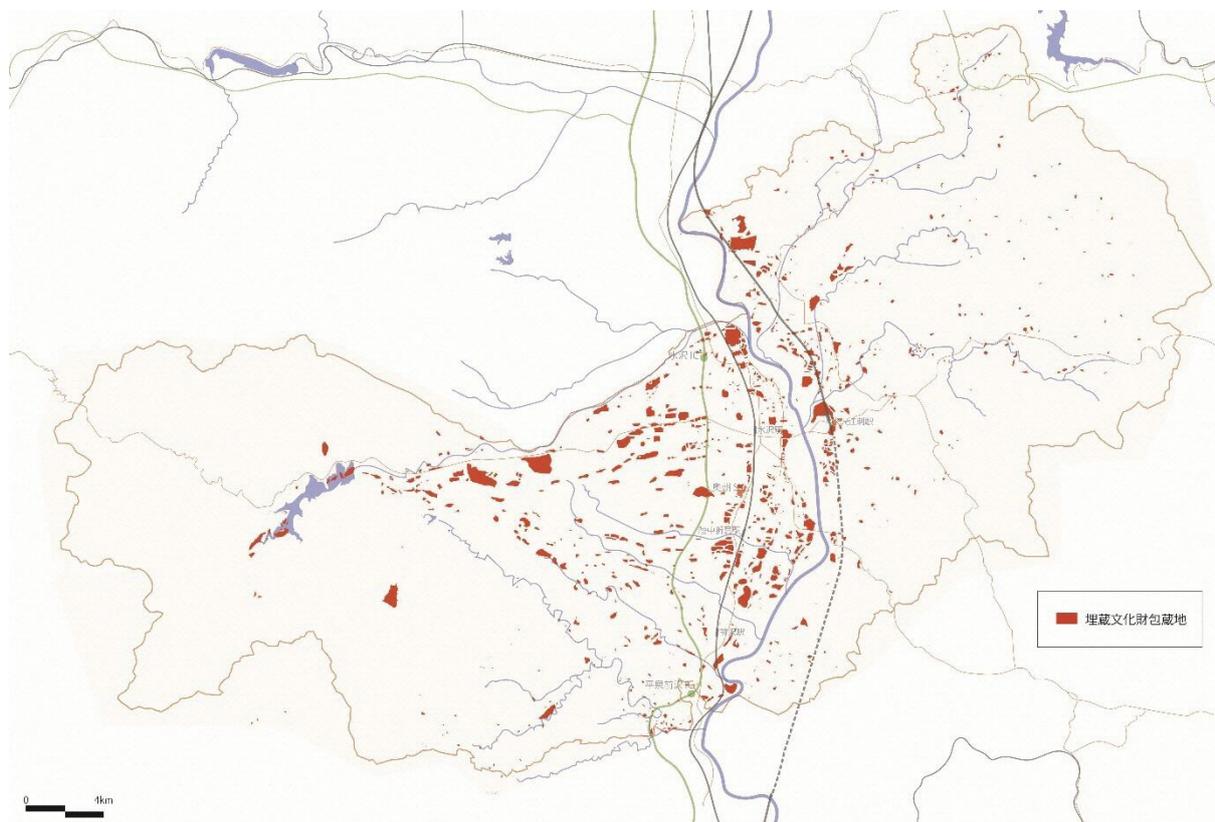
文化財の 6 類型のうち、無形文化財・文化的景観・伝統的建造物群は市内での指定はありません。

（2）登録文化財

市内の国登録文化財は 18 件で、すべて有形文化財の建造物です。水沢地域では、旧臨時緯度観測所（本館・眼視天頂儀室など）・齋藤子爵水沢文庫（図書庫・図書閲覧所）・後藤伯記念公民館などの官公庁舎・文化施設や旧安倍家住宅（主屋・板倉など）や旧高野家住宅（古稀庵・新座敷など）などの住居建築が登録となっています。江刺地域では、神社建築の愛宕神社本殿と住居建築の千葉家住宅が登録されています。

（3）周知の埋蔵文化財包蔵地

市内の周知の埋蔵文化財包蔵地は、1,121 箇所です。分布は胆沢扇状地や北上川沿いの平野部が多く、北上高地山間部にも分布が見られます。年代は、旧石器時代から江戸時代まで途切れることなく登録されており、岩手県内では数少ない弥生時代や古墳時代の包蔵地も存在しています。



周知の埋蔵文化財包蔵地の分布

(4) 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

個別の無形民俗文化財では、「川西の念仏剣舞」と「鳴沢神楽」が選定されています。また、「岩手の蘇民祭」の構成文化財に、黒石寺蘇民祭・伊手熊野神社蘇民祭・八幡宮加勢蘇民祭が含まれています。

2 未指定文化財

奥州市では、指定等文化財以外の未指定文化財について 8,044 件把握しています。把握しているのは、旧自治体等が把握調査を行った未指定文化財のほか、奥州市合併後に把握・追跡調査を行った市所蔵の未指定文化財になります。未指定文化財の古文書・歴史資料には、書跡・典籍や考古資料、有形の民俗文化財などが混在している場合がありますが、細分化せず資料群として一括で把握しています。

未指定文化財の件数一覧

類 型		把握件数	市内の主な事例	
有形文化財	建造物	320	近世社寺建築物、近代和風建築物	
	美術 工芸 品	絵画	5	絵画作品
		彫刻	396	仏神像
		工芸品	79	金属・石・木等の加工品
		書跡・典籍	0	書道作品・書籍
		古文書	119	文書主体の資料群
		考古資料	3	出土遺物・表採遺物
		歴史資料	201	様々な類型が含まれる資料群
無形文化財		2	道具の制作技術	
民俗文化財	有形の民俗文化財	5,622	石碑・棟札	
	無形の民俗文化財	121	民俗芸能・祭礼	
記念物	遺跡	1,121	埋蔵文化財包蔵地	
	名勝地	0	—	
	動物・植物・地質鉱物	54	標本	
文化的景観		1	散居集落	
伝統的建造物群		0	—	
合 計		8,044	—	

※古文書・歴史資料の資料群に含まれる文化財については、個別には把握件数に計上せず、資料群として一括して古文書・歴史資料に計上した。

3 関連する制度

(1) ユネスコ無形文化遺産

令和4年(2022)にユネスコ無形文化遺産の代表一覧表に記載された「風流踊(Furyu-odori, ritual dances imbued with people's hopes and prayers)」は、様々な装束で着飾り、亡魂供養や五穀豊穰の祈りを込め、囃子に合わせて踊る民俗芸能です。全国の41件の民俗芸能が構成資産となっており、奥州市では重要無形民俗文化財「鬼剣舞」が該当します。「鬼剣舞」保持団体の「鬼剣舞連合保存会」4団体のうち、朴ノ木沢念仏剣舞保存会と川西大念仏剣舞保存会の2団体が市内で伝承活動を行っています。

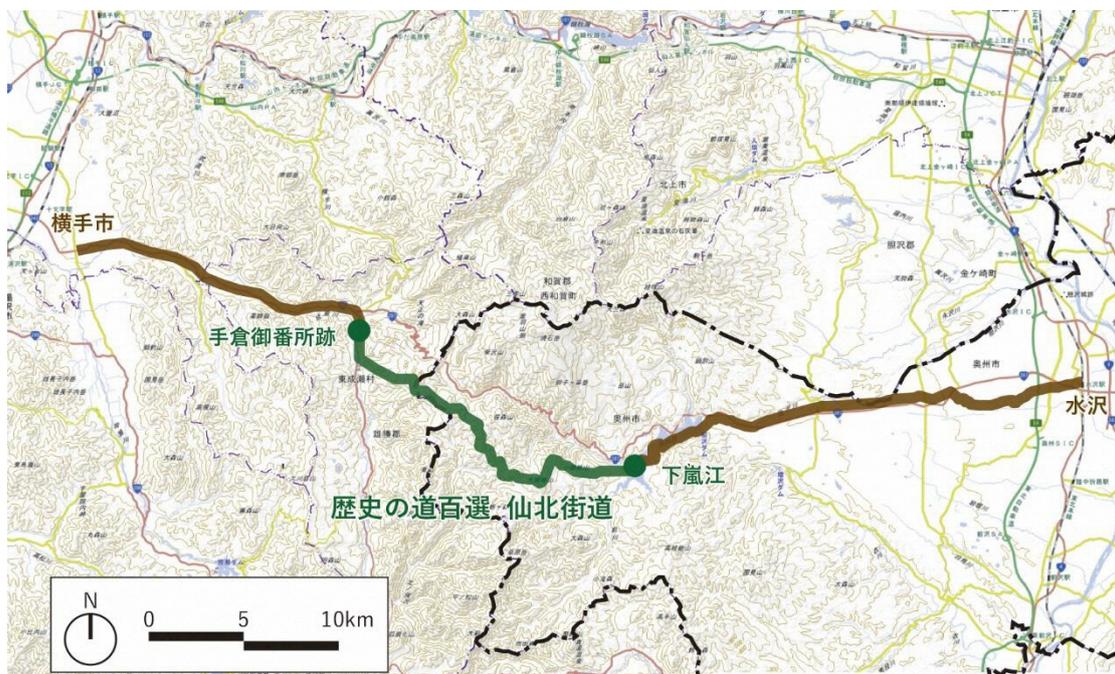
(2) 世界文化遺産

市の南に隣接する平泉町に、世界文化遺産「平泉—仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群—(Hiraizumi-Temples, Gardens and Archaeological Sites Representing the

Buddhist Pure Land)」の構成資産（中尊寺、毛越寺、無量光院跡、観自在王院跡、金鶏山）が所在しています。市内の白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡と、その周辺地域が緩衝地帯に設定され、法令に基づいて開発等に制限がかけられています。

（3）歴史の道百選

文化庁は、歴史的・文化的に重要な由緒を有する古道・交通関係遺跡を「歴史の道」として、その保存と活用を広く国民に呼びかけるため、特に優れた「歴史の道」を「歴史の道百選」として選定しています。奥州市では、水沢市街地と横手市街地を結ぶ「仙北街道」が令和元年（2019）に選定されました。（選定箇所：下嵐江（岩手県奥州市）～手倉御番所跡（秋田県東成瀬村））



仙北街道の位置

（4）ひらいずみ遺産

岩手県では、令和5年（2023）に世界文化遺産「平泉—仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」の構成資産と、「平泉」をより深く理解するために欠かせない資産（柳之御所遺跡、達谷窟、骨寺村荘園遺跡、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡）を「ひらいずみ遺産」と定め、一体的な保存管理や調査研究、活用・発信など価値を高める取り組みを進め、将来的な世界遺産の拡張登録に資する活動を行っています。市内には「ひらいずみ遺産」のうち白鳥館遺跡と長者ヶ原廃寺跡が所在しています。

（5）日本農業遺産

日本農業遺産とは、日本において重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業シ

ステム)を、日本農業遺産の認定基準に基づき、農林水産大臣が認定を行う制度です。市内では、東稲山麓の西側地域(一関市舞川地区・平泉町長島地区・奥州市前沢生母地区)が「東稲山麓地域」として令和5年(2023)に認定されています。

(6) 日本天文遺産

日本天文学会は、日本における天文学(暦学を含む)的視点で歴史的意義のある史跡・事物を日本天文遺産として認定しています。市内では、令和2年(2020)に臨時緯度観測所眼視天頂儀及び眼視天頂儀室・眼視天頂儀目標台・覆屋が、令和7年(2025)に臨時緯度観測所本館が認定されています。

4 文化財類型ごとの概要

(1) 有形文化財

① 建造物

有形文化財に指定されている建造物は、国指定4件、県指定11件、市指定5件、合計20件となっています。また、国登録有形文化財の建造物として18件が登録されています。

国指定の建造物は、近世社寺建築の正法寺本堂・庫裏・惣門等と日高神社本殿、仙台藩の民家建築を代表する旧後藤家住宅、文人趣味を伝える近代和風建築の旧高橋家住宅です。

県指定は、仙台藩の民家建築を伝える武家住宅(後藤新平旧宅)と旧後藤正治郎家住宅、瑞山神社(祖霊舎)や麓山神社本殿などの神社・寺院建築があります。また、近代初期に西洋建築の意匠や中国風の要素を取り入れた擬洋風建築である旧岩谷堂共立病院も指定されています。

市指定は、鎮守府八幡宮などの神社・寺院建築と旧内田家住宅及び門などの民家建築があります。

国登録には、旧高野家住宅や旧安倍家住宅などの近世・近代の民家・住居建築や齋藤子爵水沢文庫や後藤伯記念公民館、旧臨時緯度観測所本館などの近代の官公庁舎や文化施設、神社建築の愛宕神社本殿があります。

未指定文化財では、近世の神社・寺院・民家建築の建造物のほか、近代和風住宅が把握されています。

② 美術工芸品

【絵画】

指定の絵画作品は合計5件で、県指定が3件、市指定が2件です。

県指定は、正法寺所蔵の絹本著色開山良韶画像・絹本著色十六羅漢像と、江刺伊手地域に伝わる聖観音菩薩画像で、ともに仏教に関する作品です。

市指定は、水沢伊達家当主自筆作品の絹本竹之図墨絵と絹本鷹之図墨絵です。

未指定文化財として、寺社仏閣で所蔵されている宗教に関する作品や佐藤耕雲や及川豪

鳳など近代の郷土絵師の手による障壁画などの作品、佐々木精治郎のパステル画作品などがあります。

【彫刻】

指定の彫刻作品は合計 34 件で、国指定 4 件、県指定 11 件、市指定 19 件です。

国指定としては、黒石寺所蔵の国内最古の紀年銘を持つ木造薬師如来坐像や浅井智福愛宕神社所蔵の木造兜跋毘沙門天立像などの、平安期の優れた仏教美術作品があります。

県指定は、衣川に所在する平泉期の木造阿弥陀如来坐像や、正法寺などの曹洞宗の寺院に伝わる仏像、中世胆沢郡での阿弥陀信仰の様相を伝える木造阿弥陀如来立像などです。

市指定は、仏教に関係する作品として、三沢初子持仏の木造釈迦如来立像や地藏信仰を伝える木造地藏菩薩坐像などのほか、多様な信仰の様相を伝える彫刻作品として、地域の祭礼で使用された獅子頭や山神信仰を伝える木造山神立像なども指定されています。また、優れた彫刻作品として金命丸本舗看板があります。

未指定文化財では、中世から現代までの信仰に関わる作品が把握されています。

【工芸品】

金属・木材・石材などの、様々な素材の工芸技術を伝える作品があり、県指定 8 件、市指定 13 件、合計 21 件が指定されています。

県指定には、時衆の踊念仏で使用される鉦鼓や優れた技術を示す刀剣などがあります。

市指定は、神社の社殿に吊るされていた銅鰐口や水沢要害で時刻を知らせていた長胴太鼓（時太鼓）など施設に設置されていた作品や、田茂山鋳物師の技術を伝える龍文真形鉄湯釜、金属製の懸仏や木製供具といった宗教に関係する作品があります。

未指定文化財としては、懸仏や石造仏などの作品が把握されています。

【書跡・典籍】

指定されているのは、県指定の正法寺所蔵の紙本墨書正法眼蔵附正法眼蔵雑文の 1 件です。

未指定文化財では、書跡として近世・近代の文化人や近代の政治家の書道作品、典籍としては正法寺に所蔵されている曹洞宗関係の典籍群や水沢要害の郷学立生館の書籍群などが古文書や歴史資料の資料群に含まれています。

【古文書】

指定の古文書は合計 7 件で、国指定 1 件、市指定 6 件です。

国指定は、中世から近世初期の文書から構成される水沢伊達家（留守家）伝来の留守家文書です。

市指定としては、上胆沢大肝入を務めた千田家に伝わった若柳の中屋敷千田家文書や胆沢郡若柳村肝入を務めた阿部家に伝わった若柳の惣之町阿部家文書などの文書群のほか、一点

のみの指定として、近世前期の仙台藩在郷屋敷の姿を伝える江刺郡片岡村伊達左兵衛在郷屋敷絵図などがあります。

未指定文化財としては、水沢伊達家文書や梁川伊達家文書などの仙台藩武家文書群や、大室屋敷鈴木家文書や真城鈴木家文書、下柳千葉家文書などの各村肝入の家に伝わった文書群、正法寺文書などの寺社に伝わる文書群などがあります。

【考古資料】

考古資料として、県指定2件、市指定5件、合計7件が指定となっています。

県指定には、弥生時代中期に稲作が伝わっていたことを示す清水下遺跡出土の石包丁と角塚古墳出土埴輪が指定となっています。

市指定としては、経塚に埋納された渥美壺や豊田館跡出土と伝わる白磁四耳壺などがあります。

未指定文化財は、前沢寺ノ上経塚の出土資料や個人が収集した考古資料のコレクションが把握されています。

【歴史資料】

指定の歴史資料は合計12件で、国指定1件、市指定11件です。

国指定には、幕末の蘭学者高野長英に関する高野長英関係資料があります。

市指定としては、高野長英獄中角筆詩文などの高野長英に関する資料のほか、岩谷堂要害の郷学比賢館で使用された版木や仙台藩上胆沢全域の絵図である上伊澤元禄絵図、寺社に奉納された算額があります。

未指定文化財では、後藤新平文書や斎藤實・春子関係文書、椎名家資料などの先人資料や学校資料、政治家などの肉声が録音された歴史的音源、歴史的公文書などの資料群などが挙げられます。

（2）無形文化財

現在、無形文化財として指定・登録されている文化財はありませんが、羽田地区の南部鉄器（田茂山鋳物）の制作技術と北股地区の増沢で制作されていた増沢塗の制作技術があります。

（3）民俗文化財

①有形の民俗文化財

有形の民俗文化財には、国指定1件、県指定4件、市指定43件、合計48件の文化財が指定されています。

国指定としては、十三仏信仰を伝える黒石の十三塚があります。

県指定は、巡礼納札やまいりの仏、姉体庚申塔があり、地域の信仰の姿を伝えています。

市指定は、中世の板碑や近世の信仰碑・道標などの石碑、神社に奉納された絵馬などの地域における信仰に関する文化財のほか、堂社の建築時に作成された棟札などがあります。また、民俗芸能に関する文化財として、神楽で使用された仮面や剣舞に関する仮面なども指定されています。

未指定文化財としては、石碑や棟札、まいりの仏のほか、各地区で使用されていた民具などを把握しています。

②無形の民俗文化財

無形の民俗文化財として、国指定1件、県指定6件、市指定73件、合計80件が指定され、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に3件が選択されています。

国指定として、民俗芸能「鬼剣舞」が重要無形民俗文化財に指定されています。保持団体の鬼剣舞連合保存会は剣舞を伝承する4団体で構成され、奥州市では朴ノ木沢念仏剣舞保存会と川西大念仏剣舞保存会が該当します。

県指定は、風俗慣習として日高火防祭、民俗芸能として、神楽の鴨沢神楽、風流芸能の鹿踊、人形芝居である広瀬人形芝居常楽座があります。

市指定は、風俗慣習の六日入白山神社献膳の儀や伊手熊野神社の蘇民祭などの祭礼、神楽や田植踊、風流芸能（剣舞・鹿踊・薩摩奴踊）など地域に伝わる民俗芸能が幅広く指定されています。

選択となっているのは、「岩手の蘇民祭」・「鴨沢神楽」・「川西の念仏剣舞」です。鴨沢神楽は県指定、川西の念仏剣舞は川西大念仏剣舞として「鬼剣舞」の保持団体の一つになっています。「岩手の蘇民祭」には、市指定の伊手熊野神社の蘇民祭のほか、黒石寺蘇民祭、八幡宮加勢蘇民祭が構成文化財に含まれています。

未指定文化財としては、風俗慣習に属する神社祭礼などの行事や、神楽や鹿踊、剣舞などの民俗芸能があります。

（4）記念物

①遺跡

遺跡のうち、史跡として文化財指定されているのは、国指定5件、県指定1件、市指定9件、合計15件となります。

国指定には、縄文時代の大規模環状集落である大清水上遺跡、日本最北の前方後円墳の角塚古墳、平安時代の城柵である胆沢城跡、平泉に関連する「柳之御所・平泉遺跡群」の白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡・接待館遺跡があります。

県指定は、平安時代の瓦が出土した明後沢古瓦出土地です。

市指定は、地域の拠点となった上姉体館跡や、近世の街道に関する真城中上野の旧奥州街

道一里塚、生業に係る瀬谷子窯跡・水沢鋳物発祥の地などの遺跡です。

このほか、豊田館や衣川館をはじめとした遺構・遺物が埋蔵されている場所が周知の埋蔵文化財包蔵地として1,121件登録されています。

②名勝地

宮沢賢治の作品に登場する理想の大地「イーハトーブ」の風景を伝える場所として、花巻市・雫石町・滝沢市・奥州市・住田町にまたがってイーハトーブの風景地が国の名勝に指定されています。奥州市では、江刺地域東部の種山ヶ原が構成場所に含まれています。

未指定の名勝地については、把握していません。

③動物・植物・地質鉱物

【動物】

動物は、国の特別天然記念物に地域を定めず指定されているニホンカモシカが市内の山間部に生息しています。また、同じく地域を定めず指定されている国の天然記念物のイヌワシ・ヤマネ・クマゲラが生息しています。

未指定文化財としては、動物標本（骨格・剥製等）を把握しています。

【植物】

県指定3件、市指定39件、合計42件が指定されています。

県指定には、駒形神社及び水沢公園のヒガン系桜群と胆沢川流域のユキツバキ群落、若柳のヒメカユウ群落となっており、植物の群落が指定となっています。

市指定は、地域の農耕と関わる種まき桜や神社の神木など、地域のシンボルとなる樹木が指定されているほか、群落として峠のトウゲダケ群落が指定となっています。

未指定文化財として、植物標本のコレクションを把握しています。また、衣川地域と江刺地域において植生調査が行われています。

【地質鉱物】

地質鉱物は、県指定として藤里の珪化木、市指定として袖山の輝石安山岩柱状節理が指定されています。

未指定文化財は、市内で収集された化石や鉱物標本を把握しています。

（4）文化的景観

現在、文化的景観として指定されている文化財はありませんが、胆沢扇状地の散居集落を把握しています。

第3章 歴史文化の特性

1 奥州市の歴史文化の特性

文化財保存活用地域計画における歴史文化とは、「地域に固有の風土の下、先人によって生み育まれ、時には変容しながら現代まで伝えられてきた知恵・経験・活動などの成果及びそれらが存在する環境を総体として把握する概念」と定義されています。そして、その特性はその地域の地域性を表しています。ここでは、第1章と第2章を踏まえ、奥州市の歴史文化の特性をまとめます。

(1) 列島の境界と接点

市域には、政治的・文化的要因により日本列島における様々な境界が生まれてきました。弥生時代には太平洋側における水田耕作、古墳時代には前方後円墳築造の北限、奈良・平安時代には蝦夷社会と律令国家、平安時代末期には奥六郡の衣川安倍氏と陸奥国府、といった境界です。中世には広大な葛西領の北端地域となり、近世には仙台藩と盛岡藩の藩境が構築されます。市域は境界地帯であると同時に境界内外の人々が交流する接点ともなり、様々な文化が列島各地からもたらされました。

(2) 県下随一の農業地帯

市東西の山間部には、豊かな自然環境が残っています。山間部では冬に豊富な積雪があり、春には雪解け水となって農業の基盤となっています。近世にこの地を治めた仙台藩は、水沢伊達家や岩谷堂伊達家をはじめとした藩士に命じ、胆沢扇状地や北上川流域、山間部の河川流域で新田開発を進め、藩内でも有数の農業地帯を形作りました。生産された米は、北上川舟運を通じて太平洋海運に接続し江戸まで流通していました。そして、近世に形作られた農業地帯の基盤は現代まで引き継がれ、豊かな自然環境とともに歩む、県下随一の農業地帯となっています。

(3) 近世の要害と商工業

近世、仙台藩の要害制に位置付けられる水沢要害・岩谷堂要害・人首要害・前沢所・野手崎所が設置されます。要害・所には、仙台藩士や商工業を営む町人などが集住して町場となり、北上盆地を南北に横断する奥州街道や奥羽山脈を越えて横手盆地に通じる仙北街道、北上高地を通過して三陸地方に接続する盛街道、あるいは北上川舟運などを通じて、藩内外から様々な文化が流入しました。近代以降にも要害・所の町場だった場所に資本が集中し、近代

和風建築の建造物も多くみられるようになります。現代でも、水沢・岩谷堂・前沢が商業・人口が集中する都市部として存続し、人の往来や商工業が盛んです。

（４）地域の豊かさを示す信仰

市内には、様々な祈りが込められた文化財が数多く残されています。市内各地の寺社仏閣に祀られている仏神像、あるいは堂社の建築に関わる棟札、神社の神木、キリスト教に関わる道具などの文化財は、神仏への信仰を伝えています。農村部や山間部に伝わる神楽や鹿踊、田植踊、剣舞などの民俗芸能は、五穀豊穰や先祖供養、あるいは神仏への祈りを込めて奉納されてきました。また、火防祭や蘇民祭などの祭礼には、神仏の加護によって疫病や災害を防ぐという祈りが込められています。これらの祈りは境界を越えて共有されるものであり、市内外の様々な文化から影響を受け、現在の形となっています。

（５）国内外で活躍する先人

奥州市からは、近世末期以降に数多くの人材が生まれました。江戸時代後期の蘭学者・医師の高野長英、内務大臣や台湾総督府民政長官などの政府要職を歴任した後藤新平、内閣総理大臣などを歴任した斎藤實など、日本史上で重要な業績を上げた政治家・研究者・文化人が近代以降に数多く誕生しています。先人たちの業績は死後に顕彰され、先人の活躍を伝える数多くの歴史資料が市内に残されたほか、先人の名前を冠した建造物が建築されるなど、市の歴史と先人の活躍は不可分の関係にあります。

歴史文化の特性と主な文化財

		①列島の境界と接点	②県下随一の農業地帯	③近世の要害と商工業	④地域の豊かさを示す信仰	⑤国内外で活躍する先人		
有形文化財	建造物		旧後藤家住宅 旧後藤正治郎家住宅	旧高橋家住宅 後藤新平旧宅 旧岩谷堂共立病院	日高神社本殿 正法寺本堂 麓山神社本殿	後藤伯記念公民館 齋藤子爵水沢文庫		
	美術工芸品	絵画			絹本竹之図墨絵 絹本鷹之図墨絵	絹本著色十六羅漢像 聖観音菩薩画像	市内出身画家の作品	
		彫刻				黒石寺の仏神像 浅井智福愛宕神社の 仏神像 正法寺の仏神像		
		工芸品			時太鼓 龍文真形鉄湯釜	鉦鼓		
		書跡・典籍			立生館蔵書	正法寺所蔵典籍群	先人の書	
		古文書		中屋敷千田家文書 若柳惣之町阿部家文書 下柳千葉家文書	留守家文書 岩谷堂伊達家文書 梁川伊達家文書	正法寺文書		
		考古資料	石包丁 角塚古墳出土埴輪 伝豊田館出土の白磁 四耳壺				福原のメダイ	
		歴史資料		上伊澤元禄絵図	比賢館の版木	日高神社千葉家資料	高野長英関係資料 後藤新平文書 斎藤實関係文書	
無形文化財				田茂山鋳物 増沢塗				
民俗文化財	有形の民俗文化財		舟絵馬 農業に関する民具		黒石の十三塚 マイリノホトケ 石碑 棟札			
	無形の民俗文化財		田植踊	日高火防祭	祭礼 民俗芸能			
記念物	遺跡	角塚古墳 胆沢城跡 長者ヶ原廃寺 白鳥館遺跡 接待館遺跡 中世の城館跡 仙台・盛岡藩の藩境	近世開削の堰	水沢・岩谷堂・人首要害 前沢・野手崎所 奥州街道・仙北街道・ 盛街道 旧街道沿いの一里塚		高野長英旧宅		
	名勝地		イーハトーブの風景地					
	動物・植物・地質鉱物		胆沢川流域のユキツバキ群落 種まき桜		神社の神木			
文化的景観			胆沢平野の散居集落					
伝統的建造物群								

2 奥州市のまちづくりと歴史文化の関係

奥州市におけるまちづくりの普遍的な指針として「奥州市民憲章」が制定されています。その冒頭で、「わたしたちは、歴史・伝統・自然に恵まれたこのまちの市民であることを誇りとし、さらに良いまちをめざして市民憲章を定めます。」と記述されています。

ここでは、市民憲章の精神に則り、奥州市民の誇り（アイデンティティ）となる「歴史・伝統・自然」について、奥州市の歴史文化の特性からキーワードを示します。

奥州市民憲章

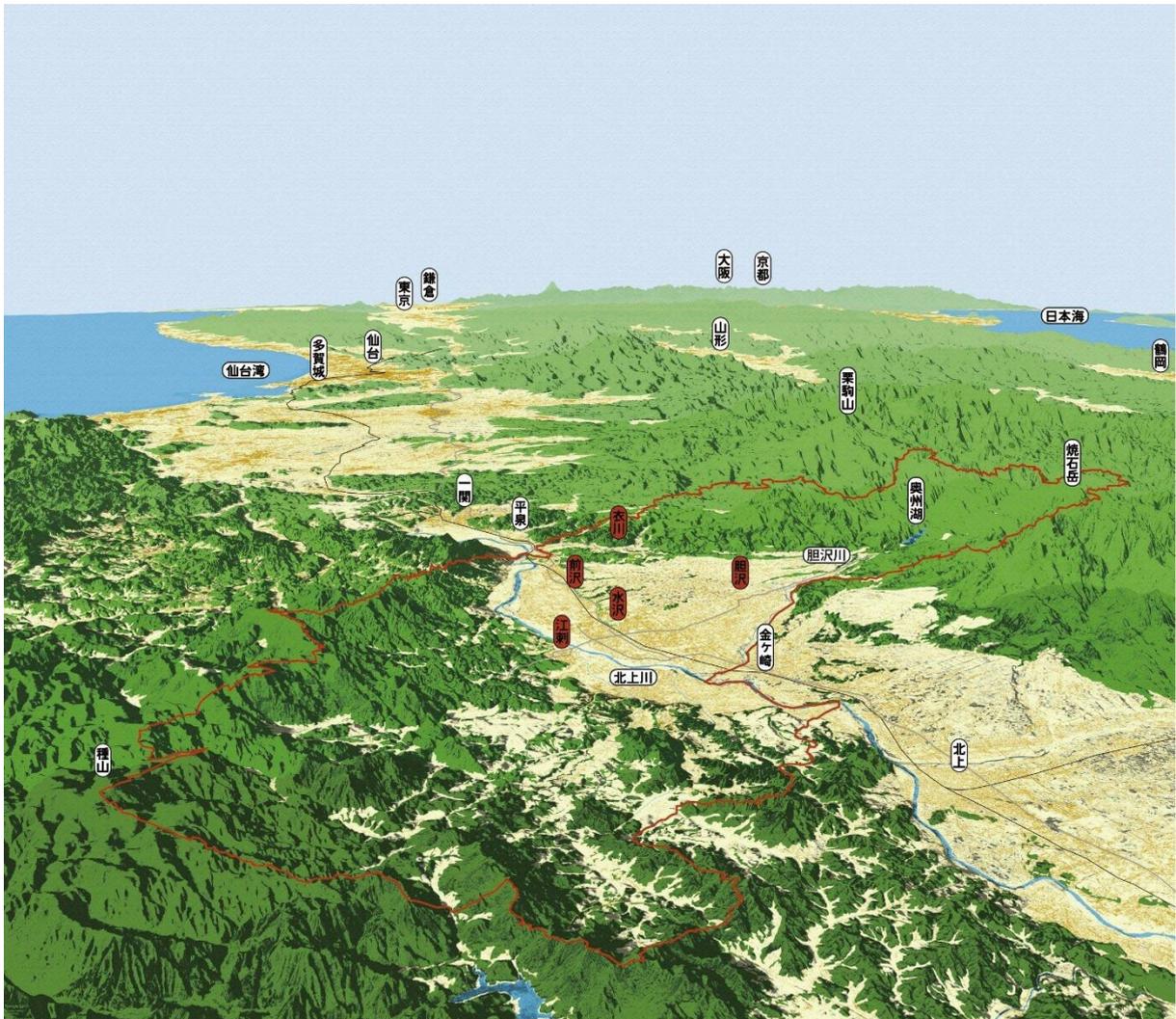
わたしたちは、歴史・伝統・自然に恵まれたこのまちの市民であることを誇りとし、さらに良いまちをめざして市民憲章を定めます。

- 一 ふるさとを愛し いきいきと働くことができるまちをつくります
- 一 すすんで学び 文化のかおり高いまちをつくります
- 一 みんなが手をつなぎ 健康で明るいまちをつくります

平成19年2月20日制定

【奥州市の歴史・伝統・自然のキーワード】

歴史	境界地帯で生まれた歴史
伝統	交流の中で育まれた伝統
自然	暮らしとともにある自然



奥州市の歴史文化の特性のイメージ

奥州市の北東方向から東京・京都・仙台を望む。市域は、東西が奥羽山脈と北上高地で区切られ、中央部が北上川・胆沢川によって盆地となっている。奥州市の歴史文化は、このような自然環境のもと、東京（江戸）や京都、仙台といった政治的な中心地域のほか、平泉や北方地域との交流の中で形作られた。

第4章 文化財の保存・活用に関する目標

1 目指すべき将来像

将来像

産学官民が一体となって奥州市の文化財を社会に開き、次世代に伝える

「奥州市民憲章」で示されている、奥州市の「歴史・伝統・自然」は市民の誇りとなるものです。これらを着実に後世に伝えるため、「産学官民が一体となって奥州市の文化財を社会に開き、次世代に伝える」ことを目指すべき将来像とします。

2 保存・活用の方向性

現在、奥州市教育委員会事務局歴史遺産課（以下、「歴史遺産課」という。）を中心に、文化財の保存・活用に関する取り組みを進めています。今後、文化財の保存・活用を確実に進めるためには、産学官民が一体となって事業を推進することが必要です。この目的を達成するため、4つの方向性を定め、事業を推進します。

方向性1 奥州市の特色を伝える文化財の調査・研究

文化財は、奥州市の特色を示すものです。しかし、把握調査の実施状況が地域・分野によって異なっており、特色が明らかでない文化財があります。また、記録・詳細調査によって更なる活用が見込まれる文化財も残されています。これらを適切に保存・活用するため、産学官民が連携して文化財の調査・研究を進めます。

方向性2 奥州市のアイデンティティとなる文化財の保存

文化財は、奥州市のアイデンティティを表すものです。しかし、人口減少が今後更に深刻化することが予測され、その影響は文化財の保存にも及ぶことが懸念されます。この影響を最小限に留め、奥州市のアイデンティティを確実に未来に伝えるため、定期的な文化財の現況調査を行いつつ、文化財所有者や文化財の伝承を支える地域との連携を密にし、保存体制の構築を進めます。

方向性3 多様な担い手による文化財の活用

文化財は奥州市民のアイデンティティであると同時に、コミュニティ活性化や観光の資源でもあります。また、個人所有の文化財や無形民俗文化財の伝承に、市民の支援は欠かすことができません。そのため、市民による文化財の活用を図る取り組みへの支援を行います。また、市民に向けて産学官で行った調査成果の教育普及活動を進め、文化財愛護の意識醸成を図ります。

方向性4 文化財の情報資源化とネットワークの構築

文化財を調査・研究し、保存・活用する取り組みを活性化させるため、文化財の情報資源化や産学官民のネットワーク構築などの新たな手法を取り入れる必要があります。これらの取り組みを通じ、文化財の保存・活用を促進していきます。また、奥州市の資源である文化財を確実に保存し、かつ文化財の活用拠点となる文化財施設の将来的なあり方を検討し、施設の再編等を行います。

調査名称の定義

名称	内容
把握調査	未指定文化財の所在を確認する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・未指定文化財の把握を目的とする悉皆調査 ・歴史資料・古文書等の内容確認に伴う概要調査 ・遺跡の分布を調べる分布調査 等
記録調査	文化財の現在の状態を記録するために行う調査 <ul style="list-style-type: none"> ・建造物の実測調査 ・無形の民俗文化財の記録撮影 ・遺跡開発に伴う記録保存調査 ・動物・植物の標本作成 等
詳細調査	未指定文化財の価値を明らかにするために行う学術的な調査 <ul style="list-style-type: none"> ・彫刻作品の学術調査 ・古文書・歴史資料等の目録作成・デジタル化 ・遺跡の発掘調査 等
現況調査	指定等文化財や把握調査済みの未指定文化財の現況を確認する調査 <ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財に関する文化財パトロール ・把握済み未指定文化財の追跡調査 ・災害発生後の文化財被害状況調査 等

第5章 文化財に関する既往の把握調査

1 既往調査の概要

市内では、別添資料に示した文化財調査が行われてきました。調査の実施主体は、国・県・市（旧市町村）のほか、関係機関などとなっています。調査は、特定類型の把握調査のほか、埋蔵文化財の記録・詳細調査なども行われています。

2 文化財パトロール

歴史遺産課では、市指定の有形文化財・有形民俗文化財・記念物と国・県・市指定の無形民俗文化財の現況調査を隔年で実施しています。調査は、市が委嘱する文化財保護調査員が行い、歴史遺産課で結果を取りまとめています。また、国・県の指定文化財・登録有形文化財については、県が委嘱する文化財保護指導員が毎年現況調査を行っています。

3 把握調査の課題

把握調査の実施状況は、地域・地区あるいは文化財類型によって異なります。記念物の名勝地、伝統的建造物群については、全域で把握調査が行われていません。

把握調査の実施状況

類 型		水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域	
有形文化財	建造物	○	○	○	○	○	
	美術	絵画	△	×	×	×	×
		彫刻	△	○	△	○	△
	工芸品	工芸品	×	△	×	△	△
		書跡・典籍	△	△	△	△	△
		古文書	△	○	△	△	△
		考古資料	△	△	△	△	△
	歴史資料	△	△	△	△	△	
無形文化財		△	×	×	△	×	
民俗文化財	有形の民俗文化財	△	△	×	○	○	
	無形の民俗文化財	△	△	△	△	△	

類 型		水沢地域	江刺地域	前沢地域	胆沢地域	衣川地域
記念物	遺跡	○	○	○	○	○
	名勝地	×	×	×	×	×
	動物・植物・地質鉱物	△	△	×	△	△
文化的景観		△	×	×	△	×
伝統的建造物群		×	×	×	×	×

○：調査済 △：調査不足 ×：調査未実施

【水沢地域】

建造物、遺跡の把握調査が実施されています。工芸品を除く美術工芸品、無形文化財、有形・無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物は調査不足です。工芸品は把握調査が行われていません。

【江刺地域】

建造物、彫刻、古文書、遺跡の把握調査が実施されています。工芸品、書跡・典籍、考古資料、歴史資料、有形・無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物は調査不足です。絵画、無形文化財、文化的景観は把握調査が行われていません。

【前沢地域】

建造物、遺跡の把握調査が実施されています。彫刻、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料、無形の民俗文化財は調査不足です。そのほかの類型の文化財は把握調査が行われていません。

【胆沢地域】

建造物、彫刻、有形の民俗文化財、遺跡の把握調査が実施されています。工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料、無形文化財、無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物は調査不足です。絵画は把握調査が行われていません。

【衣川地域】

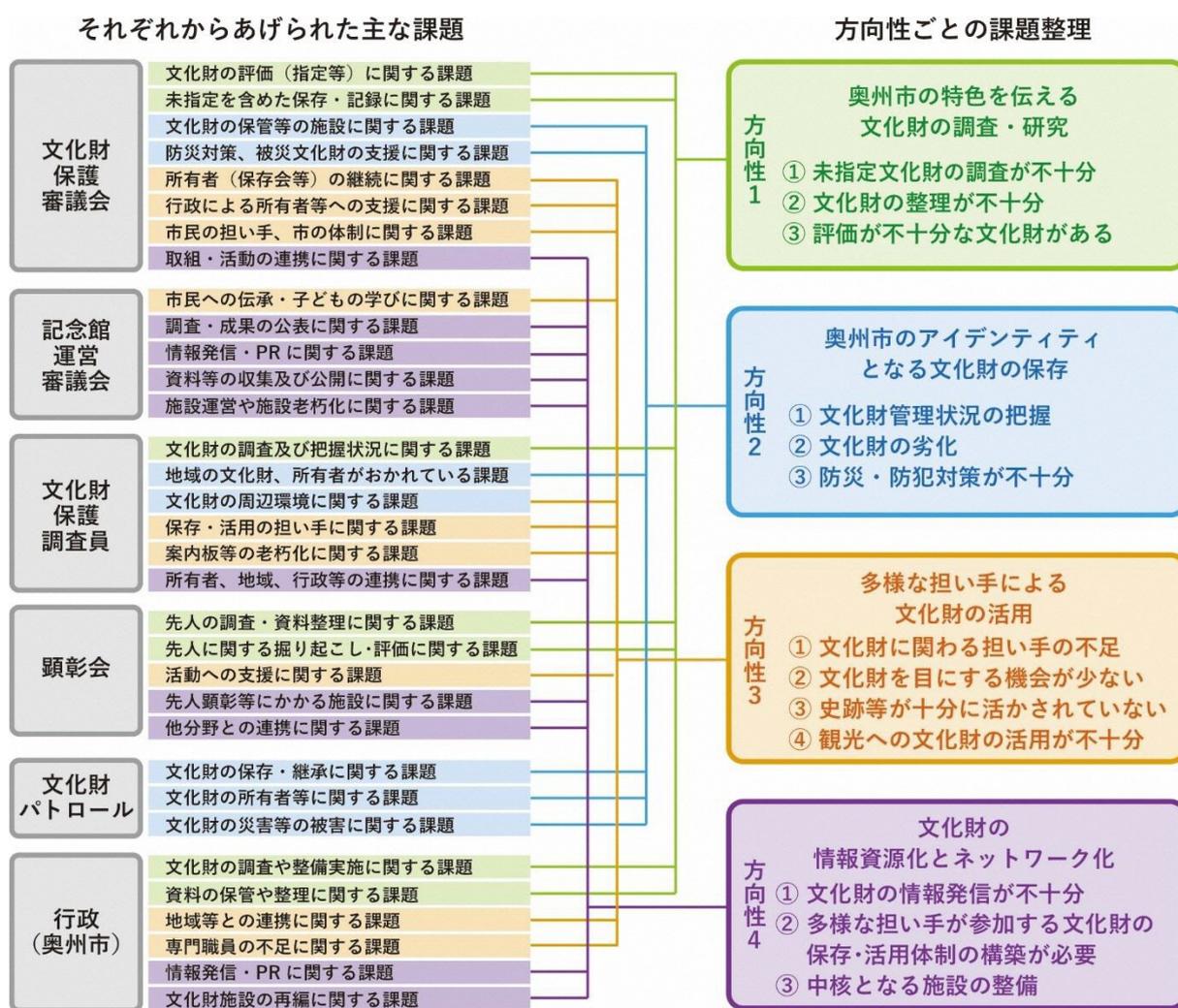
建造物、有形の民俗文化財、遺跡の把握調査が実施されています。絵画を除く美術工芸品、無形の民俗文化財、動物・植物・地質鉱物は調査不足です。絵画、無形文化財、文化的景観は把握調査が行われていません。

第6章 文化財の保存・活用に関する課題・方針

1 課題と方針の考え方

第4章で整理した方向性に沿って、課題と方針を整理します。

課題は、これまでの文化財保護審議会や記念館運営審議会等で専門家や協議会委員から挙げられた事項、本計画作成にあたり開催した顕彰会との意見交換の内容、文化財パトロール等で把握した課題等から抽出しました。



課題の抽出と方向性ごとの整理

2 課題と方針

以下には、これまでに把握されていた課題をまとめ、それに対する方針を記述します。なお、各々の方針には第7章に対応措置を示します。

方向性1 奥州市の特色を伝える文化財の調査・研究

課題と方針

課題① 未指定文化財の調査が不十分

市内に残る未指定文化財について、把握調査が行われていない地域や文化財類型があり、把握調査が必要です。また、既に把握している文化財についても、詳細調査が実施されておらず、価値が明らかでない文化財も多くあります。

方針① 未指定文化財調査の実施

未指定文化財の把握調査を進めます。歴史的建造物や埋蔵文化財、活動が難しくなった無形民俗文化財については、記録調査を実施します。また、必要に応じて詳細調査を行います。調査にあたっては、専門家や市民から協力を得ながら進めます。

課題② 収蔵文化財の整理が不十分

市では、これまで多くの歴史資料等を収集してきましたが、整理が不十分なものがあります。また、文化財は施設ごとに管理されていますが、統一的な管理ができていません。

方針② 収蔵文化財の整理

市で所蔵する歴史資料・考古資料等について、必要に応じて研究機関等と連携し、整理作業を実施します。また、市内の各施設に保管されている文化財の把握調査を実施します。

課題③ 評価が不十分な文化財がある

普遍的な価値を有する文化財については、文化財指定・登録等を行い、保存を図る必要があります。市内には、価値が明らかでなく、指定等の措置が取られていない文化財が数多く所在しています。

方針③ 文化財指定等の推進

詳細調査の結果をもとに、文化財の指定等を検討します。指定文化財等の候補については、文化財保護調査員等からの情報を集約し、文化財保護審議会から助言を得つつ、計画的に調査を実施します。

方向性2 奥州市のアイデンティティとなる文化財の保存

課題と方針

課題① 文化財管理状況の把握

指定文化財の管理について、定期的な状態把握が必要です。また、建物の建替え等により、個人が所有する未指定文化財が滅失する事例が増加しています。

方針① 文化財保存体制の強化

所有者による保管が困難となった文化財については、行政で相談を受け付けます。また、文化財の保存状況等を定期的に確認します。

課題② 文化財の劣化

老朽化等により劣化が進んでいる文化財、保存環境が整っていない文化財などが所在しています。また、劣化が進行している文化財に対して、修繕等の処置が不十分なものがあります。

方針② 文化財の修繕等実施

指定文化財については、所有者が行う修繕等を支援します。市所有の歴史的建造物については、劣化状況に応じて計画的に修繕・修理を進めていきます。

課題③ 防災・防犯対策が不十分

所有者等が災害に対するリスクを十分に把握するとともに、災害に対する備えを行うことが必要です。また、災害や犯罪が発生し、被害が生じた場合の連絡体制及び被災した文化財を救済する体制の整備が必要です。

方針③ 防災・防犯体制の充実

個別の文化財について被災リスクを把握し、災害に備えます。また、「文化財建造物等の地震における安全性確保に関する指針（文化庁）」、「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」（令和2年（2020）12月改訂、文化庁）、「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」（令和元年（2019）9月、文化庁）等をもとに、所有者に対して災害対策等を周知します。また、災害発生時に文化財レスキューを行う体制を構築します。

方向性3 多様な担い手による文化財の活用

課題と方針

課題① 文化財に関わる担い手の不足

文化財に対する認識が変化し、文化財を後世に伝える担い手が減少しています。特に、無形民俗文化財の後継者不足が顕在化しており、対策が必要です。

方針① 文化財保存の担い手育成

学校教育や生涯学習、市民活動などと連携して、文化財への理解を深める機会を設け、担い手を育成します。

課題② 文化財を目にする機会が少ない

市民の暮らしのなかで、文化財を目にする機会が減少しています。奥州市の歴史文化を伝える文化財が持つ魅力を、十分に感じることができていません。

方針② 文化財の公開促進

市民が文化財を身近なものとして認識できるよう、所有者等と連携し文化財の公開を進めます。文化財施設では、展示を通じて文化財を知る機会を設けます。

課題③ 史跡等が十分に活かされていない

市では多くの史跡等を管理していますが、適切な環境を維持することが必要です。また、市民や観光客に対して、文化財が持つ価値を十分に伝えるために、史跡の活用が求められます。

方針③ 史跡等の保護・管理と活用

保存活用計画等に基づき、史跡等の現在の環境を維持します。また、史跡の整備を進めます。

課題④ 観光への文化財の活用が不十分

市内には多様な文化財がありますが、観光資源として十分に活かすことができていません。また、多くの文化財は隣接の市町村と関連するものであるため、連携して取り組みを進めていく必要があります。

方針④ 観光分野での文化財活用の促進

観光分野と連携し、文化財の活用を促進していきます。

方向性4 文化財の情報資源化とネットワークの構築

課題と方針

課題① 文化財の情報発信が不十分

市内では研究機関や歴史遺産課などが様々な文化財調査を進めていますが、その成果の市内外への情報発信が不足しています。文化財を活用するためには、デジタル化も含めた効果的な情報発信が必要です。

方針① 調査成果の情報発信強化

市で行った調査の成果を市民に伝える機会を充実させます。また、文化財のデジタルアーカイブ化を進め、情報発信の基盤を強化します。

課題② 多様な担い手が参加する文化財の保存・活用体制の構築が必要

文化財の保存・活用に関する課題が複雑化しており、それに対応する体制の構築が必要となっています。文化財の保存・活用の体制を維持するためには、多様な担い手が広域で連携したネットワークが必要です。

方針② 広域連携による保存・活用体制の強化

市内団体同士の連携体制を充実させつつ、研究機関などとも協力関係を築きながらネットワークを構築し、文化財の保存・活用に関する体制を強化していきます。

課題③ 中核となる施設の整備

文化財施設の老朽化による、文化財の保存環境の悪化が懸念されています。これに加え、文化財の保存・活用に関する多様な課題に対応できる機能を持った文化財施設の必要性が高まっています。

方針③ 文化財施設の整備

文化財施設に将来的に必要となる機能や望ましい文化財の保存環境等を検討したうえで、既存の文化財施設を再編します。

第7章 文化財の保存・活用に関する措置

1 措置の考え方

第6章の方針を踏まえ、本計画の計画期間に実施する措置を下記のとおり設定します。

措置にあたっては、事業名・事業概要・事業主体・想定される財源・実施期間を明示します。各項目では、次のとおり用語を定義します。

(1) 事業名・事業概要

事業の名称及び具体的な事業の内容

(2) 事業主体

行政…国・県・市・隣接自治体等の行政機関（博物館施設含む）

関係機関…教育機関・博物館等の指定管理者・文化財に関する事業団体等

研究機関…大学等の研究機関

地域…文化財に関係する民間団体、民間企業、地域団体、市民団体、住民

所有者…文化財の所有者（管理者）及び無形民俗文化財保持団体

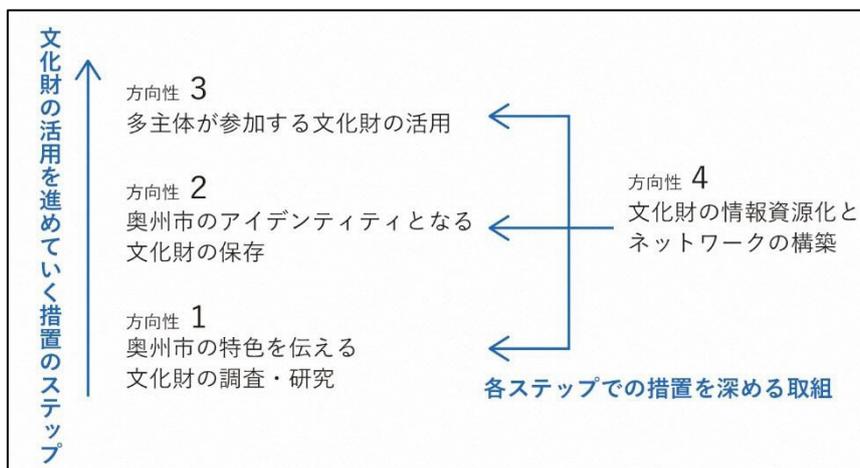
それぞれの事業主体が協働により事業を実施するものとし、表では、◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む、と表示します。

(3) 実施期間

本計画の計画期間である令和9年度（2027）から令和18年度（2036）までの10年間のうち、前期（1～5年目、令和9年度～令和13年度）、後期（6～10年目、令和14年度～令和18年度）とし、主として実施する期間をいずれかの期間もしくは期間をまたがる形で進めていきます。

(4) 想定される財源

各事業は、市費、県費、国費（文化財関係補助金、新しい地方経済・生活環境創生交付金ほか）、その他民間資金等を活用しながら進めていきます。



4つの方向性と措置の関係

2 措置

方向性1 奥州市の特色を伝える文化財の調査・研究

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針① 未指定文化財調査の実施									
1	未指定文化財の把握調査	把握調査の行われていない未指定文化財について、必要に応じて把握調査を実施する。	◎	○	○	○			
2	文化的景観の調査（把握・詳細）	胆沢平野の散居集落等の文化的景観について、把握・詳細調査を実施する。	◎		○				
3	美術工芸品（彫刻）の調査（把握・詳細）	調査未実施の美術工芸品（彫刻）について、把握・詳細調査を実施する。	◎						
4	先人資料の調査（把握・詳細）	地域出身の先人に関する資料の滅失を防ぐため、把握・詳細調査を進める。	◎	○		○			
5	平泉及び平泉前史の遺跡の調査（把握・詳細）	平泉及び平泉前史の遺跡について、把握・詳細調査を実施する。	◎	○	○				
6	無形民俗文化財の記録調査	活動不能となった指定無形民俗文化財の記録（動画・伝書・装束等）について、記録保存を進める。	◎			○			
7	埋蔵文化財の調査（記録・詳細）	遺跡範囲内の開発に伴う調査や記録保存のための調査を実施する。	◎	○			○		
8	歴史的建造物の調査（記録・詳細）	図面による記録が行われていない歴史的建造物について、記録・詳細調査を行う。	◎						
9	美術工芸品（古文書・歴史資料）の詳細調査	個人所有の美術工芸品（古文書・歴史資料）について、詳細調査を実施する。	◎	○	◎		○		
10	未指定無形民俗文化財の詳細調査	未指定無形民俗文化財の詳細調査を実施する。	◎				○		
方針② 収蔵文化財の整理									
11	市内施設管理資料の現況調査	市内の公的施設（学校施設・地区センター等）に保管されている文化財の把握・現況調査を行う。	◎				○		
12	収蔵文化財等の詳細調査	収蔵文化財（歴史資料等）について、産学官連携事業を中核として、関係する研究機関等と協働で詳細調査を実施する。	◎	○	◎	○			
13	考古資料管理台帳の整備	市内各施設に保存されている出土品の台帳を整備する。	◎	○					
方針③ 文化財指定等の推進									
14	市指定文化財指定基準の明文化	文化財指定の基準を明文化する。	◎						
15	未指定文化財の指定等検討	未指定文化財の詳細調査結果に基づき、指定等に関して文化財保護審議会から意見を聞く。	◎						
16	県指定文化財候補案件の情報提供	県指定候補案件の文化財について、県に情報提供を行う。	◎						

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
17	市指定文化財候補案件の情報集約	文化財保護調査員等を通じて市指定文化財候補案件の情報を集約する。	◎	○		○			

方向性2 奥州市のアイデンティティとなる文化財の保存

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針① 文化財保存体制の強化									
18	文化財の保存に関する窓口の周知	家屋建て替え等による文化財の減失を防ぐため、相談窓口の周知を行う。	◎						
19	文化財保護調査員の委嘱	地区における文化財の相談・調査を担う文化財保護調査員を委嘱する。	◎			○			
20	文化財パトロールの実施	文化財保護調査員による文化財パトロールを実施し、文化財の現況調査を行う。	◎	○		○	○		
21	指定無形民俗文化財の後継者育成支援	指定無形指定文化財の後継者育成について、用具更新や練習会場の周知等を通じて支援する。	◎	◎			◎		
22	文化財関係職員の知識・技術向上	文化財関係職員の知識・技術向上のため、研修を実施するほか、市外で開催される研修への参加を計画的に行う。	◎	◎					
方針② 文化財の修繕等実施									
23	旧高橋家住宅修理事業	劣化が著しい国重要文化財旧高橋家住宅の修理事業を行う。	◎			○			
24	旧安倍家住宅修理事業	国登録有形文化財旧安倍家住宅の主屋及び土蔵の修繕を行う。	◎						
25	正法寺本堂等修理事業	国指定重要文化財正法寺本堂の茅葺屋根の修繕等を行う。	◎				◎		
26	後藤伯記念公民館修理事業	国登録有形文化財後藤伯記念公民館の修繕を行う。	◎						
27	齋藤子爵水沢文庫修理事業	齋藤子爵水沢文庫（凶書庫）の修理事業を行う。	◎			○			
28	歴史的建造物の計画的修繕	歴史的建造物の劣化を防ぐため、計画的に修繕を実施する。	◎				◎		
29	指定文化財保護事業への支援	指定文化財の所有者等が行う修繕などの事業への支援を行う。また、適宜民間財団等の補助金を紹介する。	◎				◎		
30	黒石の十三塚の修理及び環境整備	重要有形民俗文化財黒石の十三塚について修理を検討し、修理までは除草等の環境整備を行う。	◎				○		
方針③ 防災・防犯体制の充実									
31	文化財被災リスクの把握	文化財所在地と災害警戒区域を重ね合わせ、文化財の被災リスクを事前に把握する。	◎	○			○		

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
32	文化財防火デー関連事業の実施	消防署・消防団と連携し、文化財防火デーの消防訓練と防火パトロールを実施する。	◎	◎		○	◎		
33	文化財レスキューに関する体制の整備	市内での災害発生時に、文化財レスキューを行えるよう、関係機関を交えた体制を構築する。	◎	○	○	○	○		
34	旧後藤家住宅消防設備の修理事業	国重要文化財旧後藤家住宅の消防設備の修理事業を行う。	◎						
35	文化財防犯体制の整備	所有者等が実施する文化財の防犯対策について、助言等を行う。	◎			○	○		

方向性3 多様な担い手による文化財の活用

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針① 文化財保存の担い手育成									
36	学校教育との連携	ふるさと学習・出前講座などで小中高生が文化財に触れる機会を設け、小中高生の地域の文化財への理解を深める。	◎	◎		○	○		
37	牛の博物館ボランティアの育成・活動支援	牛の博物館ボランティア「キャトルサンク」などの市民有志と協働して活動を進め、博物館への理解を促進する。	◎	○		◎			
38	学校向けの文化財施設情報等の充実	市内小中学校向けの文化財施設・文化財情報等の充実を図る。	◎	○					
39	冬の3館ウォークの開催	冬期間に、記念館施設で高校生以下対象の「冬の3館ウォーク」を実施する。	◎	○		◎			
40	先人顕彰に関する市民活動の支援	市民が実施する先人顕彰事業を支援する。	○	○		◎			
41	古文書解読事業の実施	市内の古文書関係団体と協働で市所蔵古文書の解読を進め、解読集を発刊する。	◎	◎		○			
42	おうしゅう伝統文化親子教室等の開催	民俗芸能衣装の着用体験などを通じて、小中学生への民俗芸能の関心を高める。	○	◎			◎		
方針② 文化財の公開促進									
43	文化財施設の運営	市内の博物館・記念館・郷土資料館等で文化財の展示や教育普及活動を行い、市民の文化財への理解を深める。	◎	◎					
44	市所有歴史的建造物の公開	市が所有する旧後藤家住宅や旧岩谷堂共立病院、旧後藤正治郎家住宅などの歴史的建造物を公開する。	◎						
45	旧臨時緯度観測所関係施設の公開	国登録文化財旧臨時緯度観測所関係の建造物を公開する。	◎	◎	◎				
46	国登録有形文化財等の保存活用計画策定	国登録有形文化財等の保存活用計画を策定する。	◎			○			

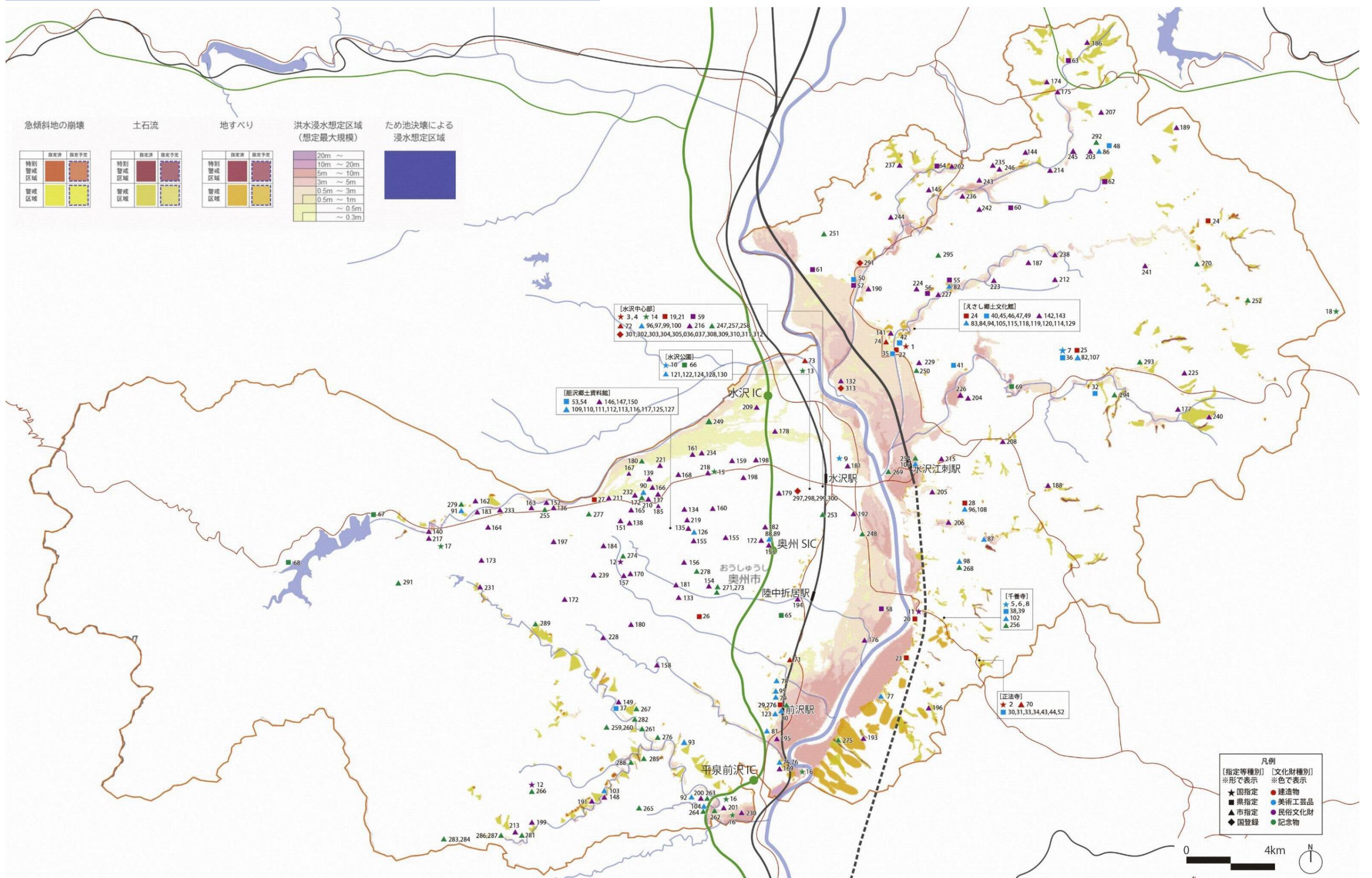
番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
47	国指定文化財等の公開促進	木造薬師如来坐像や木造兜跋毘沙門天立像など、寺社仏閣などで管理されている文化財を公開する。	○			○	◎		
48	地区における文化財の活用	地区における文化財の活用事業について、地区と協働して実施する。	◎		○	◎	◎		
49	奥州市郷土芸能祭の実施	無形民俗文化財等の発表機会を確保するため、奥州市郷土芸能祭を実施する。	◎	○			◎		
50	無形民俗文化財演舞動画のインターネット公開	動画閲覧サイトに、無形民俗文化財保持団体の芸能演舞の動画を掲載する。	◎	○			◎		
51	歴史公園の周知・公開	胆沢城跡歴史公園・館山公園等の歴史公園を周知・公開する。	◎			○			
52	歴史公園再編等の検討	歴史公園の再編等を検討する。	◎						
方針③ 史跡等の保護・管理と活用									
53	史跡等の環境整備	史跡について、除草等の環境整備を行う。	◎			○			
54	胆沢城跡保存活用計画の改定	胆沢城跡保存活用計画（旧保存管理計画）を改定する。	◎	○		○	○		
55	長者ヶ原廃寺跡の整備	長者ヶ原廃寺跡整備基本計画に基づいて整備を進め、活用を図る。	◎			○			
56	白鳥館遺跡の整備	白鳥館遺跡整備基本計画に基づいて整備を進め、活用を図る。	◎			○			
57	接待館遺跡の整備	接待館遺跡保存活用計画に基づき、整備に必要な詳細調査等を実施する。	◎			○			
58	大清水上遺跡の整備	大清水上遺跡保存管理計画に基づき、整備等の検討を行い、活用を図る。	◎			○			
59	角塚古墳の整備	史跡角塚古墳保存活用計画に基づいて整備を進め、活用を図る。	◎			○			
方針④ 観光分野での文化財活用の促進									
60	いわて平泉歴史文化観光地域計画の推進	いわて平泉歴史文化観光地域計画の事業を推進する。	◎	○		○			
61	ガイドボランティアとの連携	市内で活動するガイドボランティア団体と連携し、文化財に関するガイドボランティアの育成等を支援する。	◎			◎			
62	胆沢城跡での事業実施	胆沢城跡で平安感謝祭等（プロジェクションマッピング等）の史跡活用事業を実施する。	○	◎					
63	日高火防祭の開催	県指定文化財日高火防祭を開催する。	○			○	◎		
64	市内の祭り行事への民俗芸能団体出演	民俗芸能団体が、市内で行われる祭り行事（江刺甚句まつり・江刺夏まつり・衣川まつり等）に出演する。	○	◎		○	◎		
65	えさし藤原の郷での定期公演	江刺地域の鹿踊団体が定期公演に出演する。	○	◎			◎		
66	前沢牛まつり・奥州前沢商工まつりへの協力	牛の博物館が前沢牛まつり・奥州前沢商工まつりで移動博物館を実施する。	◎			○			

方向性4 文化財の情報資源化とネットワークの構築

[取組主体] ◎：主体的に取り組む、○：協働して取り組む

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
方針① 調査成果の情報発信強化									
67	地域史研究講座の開催	文化財関係の調査成果報告会として、地域史研究講座を実施する。	◎	◎					
68	埋蔵文化財調査報告会の開催	市内で行われた埋蔵文化財の調査成果報告会を開催する。	◎	◎					
69	奥州市文化財調査速報展の開催	市内巡回の奥州市文化財調査速報展を開催し、調査成果を市民向けに発信する。	◎	◎			○		
70	文化財デジタルアーカイブの充実	文化財のデジタルアーカイブ化を進める。	◎	○	◎				
71	ホームページ・SNSでの情報発信	ホームページやSNSでの情報発信を増やし、文化財情報やイベント情報の周知を行う。	◎	◎			○		
72	画像利用基準の見直し	画像利用の基準や手続きを簡略化し、利用促進を図る。	◎						
方針② 広域連携による保存・活用体制の強化									
73	市内無形民俗文化財保持団体の連携促進	市内の無形民俗文化財保持団体のネットワーク構築を図り、団体間の連携を促進する。	○	○			◎		
74	産学官三者連携事業の推進	合同会社 AMANE・国立歴史民俗博物館メタ資料科学研究センター・奥州市教育委員会で実施している産学官連携事業を推進する。	◎	◎	◎	○			
75	研究機関との共同研究等の実施	研究機関と共同研究等で連携し、市内の文化財に関する研究を進める。	◎	○	◎				
76	動物の標本づくり自主練習の開催	牛の博物館に収蔵する動物標本の作製（記録調査）を、市内外から参加者を募って開催する。	◎			◎			
77	ひらいずみ遺産の普及啓発	岩手県・平泉町・一関市とともに、ひらいずみ遺産の普及啓発活動を行う。	◎	○		○			
78	定住自立圏域内の小中学生の博物館・記念館の無料化	圏域内の小中学生の博物館・記念館等の入館料を無料とし、広域的な利用を促進する。	◎	◎					
79	定住自立圏域内での民俗芸能振興事業の実施	定住自立圏域内の芸能祭等に、無形民俗文化財保持団体を派遣する。また、定住自立圏構成自治体から無形民俗文化財保持団体を市郷土芸能祭に受け入れる。	◎	◎			◎		
80	文化財保存活用支援団体指定の検討	取り組み状況に応じて、文化財保存活用支援団体の指定を検討する。	◎	○	○	◎	◎		
方針③ 文化財施設の整備									
81	文化財施設再編等検討委員会の開催	市内文化財施設の将来的なあり方を検討するため、再編等検討委員会を設置し、議論を進める。	◎	○		○			
82	文化財に関するニーズ調査	市内の文化財及び文化財施設に関するニーズを把握するため、必要な調査を実施する。	◎		○				

番号	事業名	事業概要	事業主体					実施期間	
			行政	関係機関	研究機関	地域	所有者	前期	後期
83	文化財施設再編	再編等検討委員会の結論に基づき、文化財施設の再編等を行う。	◎	○		○			



指定等文化財の分布とハザードマップの重ね合わせ

第7章 文化財の保存・活用に関する措置

番号	名称	分類			指定等	番号	名称	分類			指定等
1	旧後藤家住宅	有形文化財	建造物		国	37	木造薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
2	正法寺本堂・庫裏・惣門附鐘楼堂一棟・客殿御建替御普請地絵図並小雛形仕様書大圖一通	有形文化財	建造物		国	38	木造日光・月光菩薩立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
3	日高神社本殿	有形文化財	建造物		国	39	木造十二神将像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
4	旧高橋家住宅	有形文化財	建造物		国	40	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
5	木造薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	41	木造釈迦如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
6	木造僧形坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	42	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
7	木造兜跋毘沙門天立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	43	木造釈迦三尊坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県
8	木造四天王立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	44	桐竹文綾九条袷袋附包裂等付属品一括	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県
9	留守家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	国	45	短刀 銘 奥州舞草光長	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県
10	高野長英関係資料	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	国	46	銅三尊像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県
11	黒石の十三塚	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	国	47	刀 銘 新藤源國義	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県
12	鬼剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	国	48	鉦鼓 附 懸架・撞木	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県
13	胆沢城跡	記念物	史跡		国	49	鉦鼓	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県
14	高野長英旧宅	記念物	史跡		国	50	金銅聖観音坐像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県
15	角塚古墳	記念物	史跡		国	51	剣	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県
16	柳之御所・平泉遺跡群(白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡・接待館遺跡)	記念物	史跡		国	52	紙本墨書正法眼蔵附 正法眼蔵雜文	有形文化財	美術工芸品	書跡・典籍	県
17	大清水上遺跡	記念物	史跡		国	53	角塚古墳出土埴輪	有形文化財	美術工芸品	考古資料	県
18	「イーハトーブの風景地」種山ヶ原	記念物	名勝		国	54	石庖丁	有形文化財	美術工芸品	考古資料	県
19	瑞山神社(祖霊舎)	有形文化財	建造物		県	55	巡礼納札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	県
20	千葉家住宅門	有形文化財	建造物		県	56	まいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	県
21	武家住宅(後藤新平旧宅)	有形文化財	建造物		県	57	まいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	県
22	旧岩谷堂共立病院	有形文化財	建造物		県	58	姉体庚申塔(寛永十二年銘)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	県
23	旧後藤正治郎家住宅	有形文化財	建造物		県	59	日高火防祭	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	県
24	麓山神社本殿 附棟札	有形文化財	建造物		県	60	鴨沢神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	県
25	智福毘沙門堂 附棟札	有形文化財	建造物		県	61	鹿踊り	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	県
26	八幡神社本殿 附棟札	有形文化財	建造物		県	62	江刺市梁川金津流鹿踊 付 金津流鹿踊本體巻及び金津流鹿踊伝授之目録	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	県
27	於呂閉志胆沢川神社厨子(旧伊達宗章靈廟厨子)	有形文化財	建造物		県	63	久田鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	県
28	千養寺観音堂	有形文化財	建造物		県	64	広瀬人形芝居常楽座	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能	県
29	太田家住宅(太幸邸)主屋及びその庭・土蔵・表門・前座敷・炊場並びに西側の塀	有形文化財	建造物		県	65	明後沢古瓦出土地(明後沢遺跡)	記念物	史跡		県
30	絹本着色開山良詔画像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	66	駒形神社並びに水沢公園のヒガン系桜群	記念物	天然記念物	植物	県
31	絹本着色十六羅漢像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	67	胆沢川流域ユキツバキ群落	記念物	天然記念物	植物	県
32	聖観音菩薩画像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	68	若柳ヒメカユウ群落	記念物	天然記念物	植物	県
33	木造如意輪観音坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	69	藤里の珪化木	記念物	天然記念物	地質鉱物	県
34	木造僧形坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	70	正法寺開山堂・小方丈	有形文化財	建造物		市
35	銅造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	71	竈神社本殿	有形文化財	建造物		市
36	木造十一面観音立像外	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	72	旧内田家住宅主屋及びび門	有形文化財	建造物		市
						73	鎮守府八幡宮本殿・拜殿	有形文化財	建造物		市
						74	中善蔵	有形文化財	建造物		市

番号	名称	分類			指定等	番号	名称	分類			指定等
75	絹本竹之図墨絵	有形文化財	美術工芸品	絵画	市	117	須恵器坏型土器	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市
76	絹本鷹之図墨絵	有形文化財	美術工芸品	絵画	市	118	経壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市
77	木造千手観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	119	須恵器系波状文四耳壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市
78	木造釈迦如来立像(三沢初子持仏) 附 厨子、釈迦堂創建記石板、釈迦堂棟札	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	120	比賢館の版木	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
						121	高野長英獄中角筆詩文(伝爪書)	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
79	木造十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	122	シーボルト処方箋	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
80	金命丸本鋪看板	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	123	海国兵談(版本)	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
81	木造五百羅漢像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	124	西説医原枢要(版本)	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
82	木造僧形坐像外	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	125	市野々の算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
83	木造毘沙門天立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	126	化粧坂の算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
84	木造聖観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	127	上伊澤元禄絵図	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
85	木造十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	128	仙台水沢住坂本運治行盛作火縄銃	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
86	獅子頭	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	129	中善算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
87	木造神面	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	130	鳥の鳴聲(和寿禮か多美)	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市
88	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市		131	佐倉河東広町のまいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習
89	銅造蔵王権現像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	132	船絵馬	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
90	木造十一面観音菩薩座像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	133	恩俗長根の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
91	木造山神立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市		134	国分の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習
92	木造孝養太子立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	135	化粧坂の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
93	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市		136	堰袋の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習
94	中善観音	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	137	供養塚の追分石(馬頭碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
95	木造阿弥陀如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	138	幅下の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
96	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	139	供養塚の追分石(鹿嶋大明神)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
97	長胴太鼓(時太鼓)	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市		140	市野々の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習
98	金銅華鬘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	141	館山の板碑(延慶の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
99	石灯籠	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	142	駒籠の板碑(嘉暦の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
100	石灯籠	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	143	館山の板碑(康永の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
101	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	144	七日市の板碑(延文の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
102	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	145	柿ノ木の板碑(貞治の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
103	金銅阿弥陀如来坐像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市		146	市野々のまいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習
104	銅罎口	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	147	若柳愛宕のまいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
105	懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	148	河内の月山神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
106	鉦鼓	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	149	寺田の墨書板碑	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
107	木製供具(華瓶・高坏)	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	150	中萱刈産のまいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
108	龍文真形鉄湯釜	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市		151	八幡屋敷の八幡社幟	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習
109	明善寺文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	152	堰袋の馬頭観世音堂寄進札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
110	小山の久保五嶋家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	153	森の胆堀神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市
111	若柳の油地千田家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市		154	大畑の山王権現社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習
112	若柳の惣之町阿部家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市						
113	新里の中屋敷千田家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市						
114	江刺郡片岡村伊達左兵衛在郷屋敷絵図	有形文化財	美術工芸品	古文書	市						
115	白磁四耳壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市						
116	暗文のある坏型土器	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市						

第7章 文化財の保存・活用に関する措置

番号	名称	分類			指定等	番号	名称	分類			指定等
155	長檀の御駒社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	191	川内神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
156	高縁の神明神社棟札・幟	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	192	瀬台野神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
157	伊勢堂の伊勢堂棟札・幟	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	193	赤生津神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
158	大袋の不動尊堂棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	194	熊野神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
159	机地の弁財天堂幟	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	195	白鳥神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
160	宝蔵山宝寿寺棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	196	成岡田神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
161	熊野の熊野社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	197	西風神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
162	下鹿合の子養観音堂棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	198	南下幅熊野権現舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
163	愛宕の愛宕神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	199	大原神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
164	観音堂の観音堂棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	200	川西獅子舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
165	大町の伊勢堂棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	201	川東神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
166	松原の熊野社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	202	歌書神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
167	化粧野の三嶋神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	203	大償齋部流野口家伝栗生沢神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
168	新中の新山神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	204	原体神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
169	四季耕作図絵馬	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	205	鶯沢神楽(附 今野忠治旧蔵「神楽本」5冊、「神楽面」2面)	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
170	剣舞道化面	民俗文化財	有形民俗文化財	民俗芸能	市	206	黒田助獅子舞(附「獅子頭」1点、「太鼓」2点)	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
171	吉祥院能面	民俗文化財	有形民俗文化財	民俗芸能	市	207	中田太神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
172	中沢神楽面	民俗文化財	有形民俗文化財	民俗芸能	市	208	小田代神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市
173	山神社剣舞絵馬	民俗文化財	有形民俗文化財	民俗芸能	市	209	上幅庭田植踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
174	西沢目大名行列	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	市	210	都鳥田植踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
175	やぶさめ	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	市	211	出店田植踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
176	六日入白山神社献膳の儀	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	市	212	元町座敷田植踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
177	伊手熊野神社蘇民祭	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	市	213	大原田植踊り	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
178	奥州胆沢北下巾神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	214	軽石座敷田植踊り	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(田楽・田植踊)	市
179	福原神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	215	伊藤流行山鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
180	狼ヶ志田神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	216	奥野流富士麓行山鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
181	愚俗神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	217	市野々念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
182	笹森神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	218	行山流都鳥鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
183	鹿合神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	219	化粧坂念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
184	十文字神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	220	南下幅念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
185	前谷地神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	221	新里念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市
186	社風長京神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
187	小川原流和田神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
188	川内神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
189	岳流学間沢神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						
190	佐野向神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市						

番号	名称	分類		指定等	番号	名称	分類			指定等	
222	鹿合念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	260	松山寺のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
223	奥山行山流内ノ目鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	261	関袋のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
224	奥山行山流増沢鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	262	並木前のエドヒガン・コナラ合体木	記念物	天然記念物	植物	市
225	金津流伊手獅子躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	263	北館のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市
226	原舩剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	264	山口のヒノキアスナロ	記念物	天然記念物	植物	市
227	増沢剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	265	後滝の沢のスギとフジ	記念物	天然記念物	植物	市
228	二の台念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	266	畦畑のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
229	奥山行上流餅田鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	267	懸田のヒイラギ	記念物	天然記念物	植物	市
230	池田嗣念仏	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	268	長田のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
231	大平念仏剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	269	羽田八雲神社のイロハモミジ	記念物	天然記念物	植物	市
232	行山流供養塚鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	270	向平当のイチイ	記念物	天然記念物	植物	市
233	野山田念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	271	前大畑のイチイ	記念物	天然記念物	植物	市
234	柳田念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	272	小十文字のサイカチ	記念物	天然記念物	植物	市
235	軽石薩摩奴踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	273	前大畑のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
236	奥山行山流鴨沢鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	274	大谷地のヤブツバキ	記念物	天然記念物	植物	市
237	奥山上山流歌書獅子躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	275	荒谷のイロハモミジ	記念物	天然記念物	植物	市
238	行山流角懸鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	276	太幸邸のウメ	記念物	天然記念物	植物	市
239	大畑平念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	277	土橋のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市
240	奥山行山流地ノ神鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	278	峠のトウゲダケ群落	記念物	天然記念物	植物	市
241	兄和田念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	279	鹿合のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
242	鴨沢念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	280	明善寺のヒヨクヒバ	記念物	天然記念物	植物	市
243	軽石念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	281	野崎のヤマトアオダモ	記念物	天然記念物	植物	市
244	金津流石関獅子躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	282	石ヶ沢のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市
245	金津流野手崎獅子躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	283	餅転のネズコ	記念物	天然記念物	植物	市
246	軽石歌舞伎「中村座」	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能	市	284	餅転のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
247	留守家墓所	記念物	史跡		市	285	旧殿のコウヤマキ	記念物	天然記念物	植物	市
248	上姉体館跡	記念物	史跡		市	286	檜原のサルスベリ	記念物	天然記念物	植物	市
249	半入豪族屋敷	記念物	史跡		市	287	檜原のヤマボウシ	記念物	天然記念物	植物	市
250	豊田城跡碑	記念物	史跡		市	288	山岸のイチョウ	記念物	天然記念物	植物	市
251	瀬谷子窯跡	記念物	史跡		市	289	古館のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市
252	人首山本の旧盛街道七里塚	記念物	史跡		市	290	古戸のサワラ	記念物	天然記念物	植物	市
253	真城中上野の旧奥州街道一里塚	記念物	史跡		市	291	増沢のエゾイタヤ	記念物	天然記念物	植物	市
254	水沢鋳物発祥の地	記念物	史跡		市	292	梁川のエドヒガン(種蒔桜)	記念物	天然記念物	植物	市
255	若柳堰袋の旧仙北街道一里塚	記念物	史跡		市	293	秋葉神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
256	千養寺のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	294	戸隠神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市
257	日高神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	295	袖山の輝石安山岩柱状節理	記念物	天然記念物	地質鉱物	市
258	大手町のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	296	千葉家住宅主屋	有形文化財	建造物		国登録
259	松山寺のイチョウ	記念物	天然記念物	植物	市	297	旧緯度観測所本館(奥州宇宙遊学館)	有形文化財	建造物		国登録
						298	旧臨時緯度観測所本館(木村榮記念館)	有形文化財	建造物		国登録
						299	旧臨時緯度観測所眼視天頂儀室	有形文化財	建造物		国登録
						300	旧臨時緯度観測所眼視天頂儀目標台及び覆屋	有形文化財	建造物		国登録
						301	後藤伯記念公民館	有形文化財	建造物		国登録

第7章 文化財の保存・活用に関する措置

番号	名称	分類			指定等
302	齋藤子爵水沢文庫図書庫	有形文化財	建造物		国登録
303	齋藤子爵水沢文庫図書閲覧所	有形文化財	建造物		国登録
304	旧安倍家住宅主屋	有形文化財	建造物		国登録
305	旧安倍家住宅板蔵	有形文化財	建造物		国登録
306	旧安倍家住宅土蔵	有形文化財	建造物		国登録
307	旧安倍家住宅表門	有形文化財	建造物		国登録
308	旧安倍家住宅庭門	有形文化財	建造物		国登録
309	旧高野家住宅古稀庵	有形文化財	建造物		国登録
310	旧高野家住宅新座敷	有形文化財	建造物		国登録
311	旧高野家住宅板倉	有形文化財	建造物		国登録
312	旧高野家住宅瑞臯文庫	有形文化財	建造物		国登録
313	愛宕神社本殿（旧愛宕山大権現堂）	有形文化財	建造物		国登録

第8章 文化財の保存・活用の体制

1 推進体制

本計画を推進するためには、行政機関のみならず、文化財所有者や地域住民、専門家の協力と連携が不可欠です。そのため、歴史遺産課を中心に本計画に記載された事業を展開しつつ、進捗については奥州市文化財保護審議会の確認・助言を得ながら推進していくこととします。個別事業の推進にあたっては、所有者や地域住民、関係機関との調整を行い、必要に応じて国・県や専門家の指導・助言を得ながら進めていきます。

各事業主体（第7章参照）の役割を、以下に示します。

（1）行政の役割

- ①法などの関連法令に基づいて事務事業を適切に執行し、本計画を運用することで、文化財の保存・活用を推進します。
- ②文化財の保存・活用のための連携・協働の体制及び仕組みづくりを進め、政策の制度設計及び必要な財政措置を講じます。
- ③奥州市の文化財担当主管課は、歴史遺産課です。専門職員による体制を充実させるとともに庁内関係課と連携を深め、情報共有を積極的に行うことで、全庁的な推進体制構築を目指します。
- ④奥州市に加えて、国（文化庁）、岩手県などとも本計画で示す文化財の保存・活用の方針を共有し、必要な協力を得るなど行政間における連携の強化を図ります。

（2）関係機関の役割

- ①それぞれの活動領域において、専門性を活かして文化財の保存・活用に取り組みます。
- ②小中学校などの教育機関では、郷土学習などを通じて文化財に対する学びや地域への理解を深め、郷土愛の醸成へとつなげます。
- ③文化財に関連して活動する事業者や団体は、行政や専門家等とも連携して活動を広げます。
- ④それぞれの活動においては、他団体、事業者の活動との連携を深めて、分野や地域を超えた活動を実現します。

（3）研究機関の役割

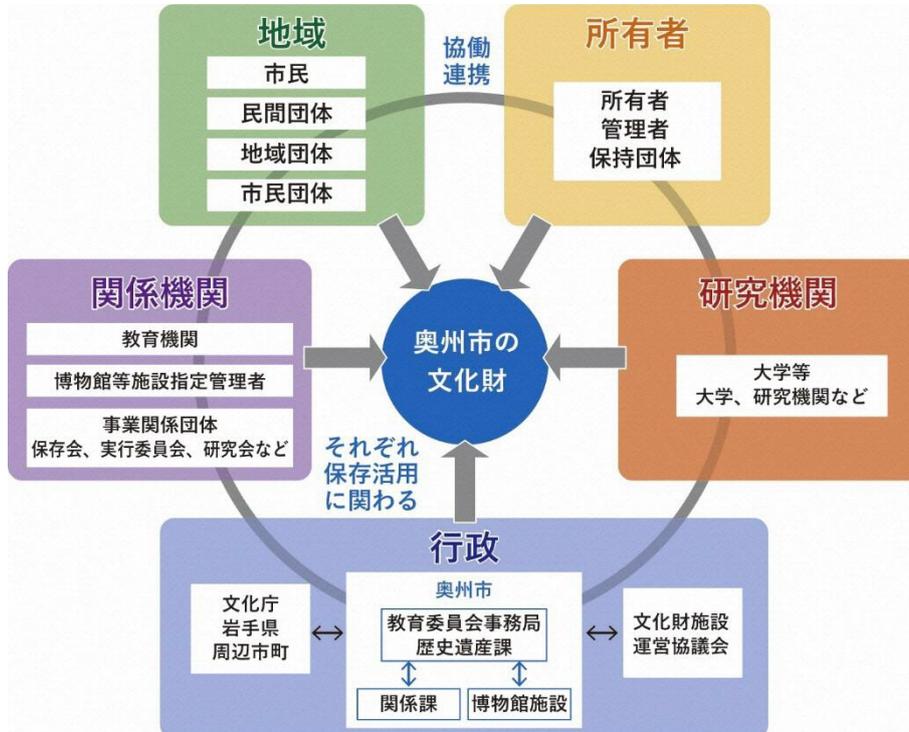
- ①文化財に関する調査研究を行い、専門的観点から文化財の価値付けなどを行います。
- ②調査研究の成果は、行政や地域と協働して積極的に情報発信し、市民等と価値を共有することで、文化財愛護の意識醸成や取り組み支援、人材育成につなげます。
- ③奥州市に関わる各分野の専門家は、行政等が行う取り組みに参加し、専門的観点から助言を行います。

(4) 地域の役割

- ①市民は、地域のアイデンティティを表す文化財が身近に伝わっていることを意識し、文化財に関する保存・活用の取り組みに参加・協力します。
- ②民間団体や民間企業は、地域社会の一員として、地域の文化財への理解を深め、事業活動に活かします。
- ③地域団体、市民団体は、コミュニティの活性化や市民間の交流などの多様な視点から、文化財の保存・活用の取り組みを進めます。
- ④市民や地域で活動する団体は、地域における保存・活用の牽引役として、取り組みに対して多様な担い手の参加を促し、文化財の価値や魅力を磨き、発信します。

(5) 所有者の役割

- ①所有者（管理者・保持団体）は、文化財を適切に保存するとともに、可能な範囲で情報発信や公開等の活用を行い、文化財の有する価値を市民等と共有します。
- ②保存・活用にあたっては、地域住民やボランティアなどの参加を積極的に進め、文化財を継承するための人材育成や仕組みづくりに努めます。
- ③保存・活用に関する現状や直面している課題などについて、行政に情報提供を行い、共有します。



保存・活用体制のイメージ

2 奥州市の体制

本計画を推進するにあたり、行政、関係機関、研究機関、地域、所有者などによる以下の体制を構築します。

奥州市文化財保存活用地域計画の推進体制

行政
奥州市
<p>【文化財担当主管課】 教育委員会事務局歴史遺産課（職員 10 名、うち学芸員 8 名）</p> <p>①文化財の調査・保存・活用に関すること ②博物館・記念館・郷土資料館・奥州市埋蔵文化財調査センターの管理運営</p> <p>教育委員会事務局歴史遺産課世界遺産登録推進室（職員 5 名、うち学芸員 4 名） 世界遺産追加登録候補資産の調査・研究・管理 ※4名は歴史遺産課との兼務職員</p> <p>文化財保護調査員（各地区 1 名、合計 30 名）</p> <p>【文化財施設】</p> <p>博物館 奥州市牛の博物館（館長 1 名、学芸員 2 名、学芸調査員 3 名） ※学芸員 1 名は歴史遺産課との兼務職員</p> <p>記念館 高野長英記念館（館長 1 名、学芸調査員 2 名） 後藤新平記念館（館長 1 名、学芸調査員 2 名） 斎藤實記念館（館長 1 名、学芸調査員 2 名） 菊田一夫記念館（館長 1 名、学芸調査員 2 名） ※菊田一夫記念館長は歴史遺産課との兼務職員</p> <p>郷土資料館 奥州市武家住宅資料館（館長 1 名、学芸調査員 3 名） 胆沢郷土資料館 衣川歴史ふれあい館</p> <p>その他の文化財関係施設 奥州市埋蔵文化財調査センター（歴史遺産課所管） えさし郷土文化館（観光物産課所管） めんこい美術館（生涯学習スポーツ課所管） 奥州宇宙遊学館（生涯学習スポーツ課所管） 消防記念館（危機管理課所管） ほか</p> <p>【主な関係課】 政策企画部政策企画課 施策の総合調整、総合計画に関すること</p> <p>政策企画部未来羅針盤課 ①未来羅針盤プロジェクトに関すること ②広聴・広報に関すること</p> <p>総務部行革デジタル戦略課</p>

<ul style="list-style-type: none"> ①公共施設等個別施設管理計画に関すること ②情報政策の企画・総合調整に関すること <p>財務部財産運用課</p> <ul style="list-style-type: none"> 寄附採納に関すること <p>協働まちづくり部地域づくり推進課</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ、地区センターに関すること <p>協働まちづくり部生涯学習スポーツ課</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会教育、生涯学習、芸術・文化、社会教育・文化施設の運営に関すること <p>市民環境部危機管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> ①消防施設に関すること ②防災・災害対応に関すること <p>商工観光部観光物産課</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光情報の発信、地域のまつり・イベントに関すること <p>都市整備部都市計画課</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画の決定・変更に関すること <p>教育委員会事務局学校教育課</p> <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の運営に関すること <p>水沢総合支所・前沢総合支所地域支援グループ・胆沢総合支所地域支援グループ・衣川総合支所地域支援グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①郷土芸能祭の開催に関すること ②ニホンカモシカの保護・滅失に関すること
附属機関等
<p>奥州市文化財保護審議会 奥州市立記念館運営審議会 奥州市牛の博物館協議会 えさし郷土文化館運営協議会</p>
関係行政機関（国・県・隣接自治体）
<p>文化庁 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課 岩手県立博物館 岩手県埋蔵文化財センター 岩手県文化スポーツ部文化振興課 一関市 平泉町 定住自立圏構成団体（北上市、金ヶ崎町、西和賀町）</p>
関係機関
教育機関
<p>市内小学校 市内中学校 市内高等学校 市内特別支援学校</p>
博物館等施設指定管理者
<p>一般財団法人奥州市文化振興財団（奥州市埋蔵文化財調査センター・めんこい美術館） NPO 法人胆沢文化会館自主事業協会（胆沢郷土資料館）</p>

江刺開発振興株式会社（えさし郷土文化館） NPO 法人宇宙実践センター（奥州宇宙遊学館）
文化財に関する事業関係団体
公益財団法人岩手県文化振興事業団 鬼剣舞連合保存会 胆江神楽推進協議会 奥州市芸術文化協会 奥州市江刺郷土芸能保存連合会 奥州市江刺鹿踊保存会 奥州市郷土芸能祭実行委員会 胆沢郷土芸能まつり実行委員会 水沢古文書研究会 江刺古文書の会 胆沢古文書研究会 合同会社 AMANE
研究機関
大学等
大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 大学共同利用機関法人自然科学研究機構 水沢 VLBI 観測所 独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター 独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所 独立行政法人国立文化財機構 東京文化財研究所
地域
市民・民間団体・地域団体・市民団体
市民 奥州商工会議所 前沢商工会 一般社団法人奥州市観光物産協会 各地区振興会 みずさわ観光サポーターの会 炎がいどくらぶ いさわ散居ガイドの会 奥州市ガイドの会 先人顕彰懇話会 高野長英顕彰会 後藤新平顕彰会 斎藤實顕彰会 後藤寿庵顕彰会 アテルイを顕彰する会 岩谷堂城址顕彰会 うしの博物館ボランティア「キャトルサンク」 水沢「プレアデス」の会 NPO 法人奥州おもしろ学
等

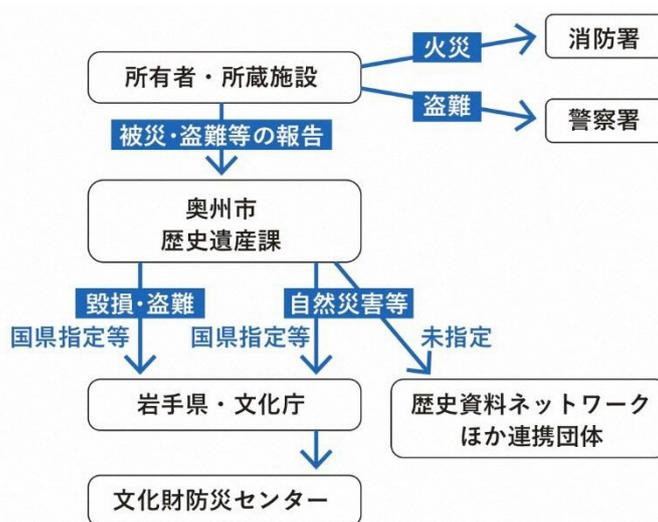
所有者
所有者
管理者
無形民俗文化財の保持団体（保存会）

3 文化財の防災・防犯

(1) 文化財の防災・防犯体制

日常的な防災・防犯については、所有者等が行うこととします。自然災害や火災、盗難など、文化財の保存に影響のある事態が発生した場合には、下記の体制に基づき対応を進めます。大規模災害が発生した場合は、文化財防災センターの支援を岩手県に要請するほか、歴史資料ネットワークなどの外部団体にも支援を要請します。

なお、火災に関しては、文化庁の「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」及び「国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン」を参考にしながら体制の構築を進めていきます。



災害等発生時の連絡体制

(2) 文化財被災可能性の確認

奥州市では、災害への備えとして、洪水浸水や土砂災害などに対する危険個所を示すハザードマップを作成しています。指定等文化財について、所在地をハザードマップと重ね合わせることで、それぞれの文化財の所在地に対する災害への危険性を把握することができます。所有者等は事前に災害のリスクを把握し、防災に努める必要があります。

4 文化財保存活用支援団体制度の活用

今後、文化財の保存活用に関する取り組みの状況に応じて、文化財の保存・活用の取り組みを中心的に担う団体を文化財保存活用支援団体として指定することを検討します。

文化財保存活用支援団体とは、法に定められた制度であり、地域の文化財の保存会や NPO 等の民間団体と協力し、行政と民間がより円滑に連携しながら文化財の保存・活用に取り組んでいくためのパートナーシップを結ぶことにより、このような民間団体を文化財の保存・活用に関する各種施策の推進主体として位置付けるものです。

令和7年8月

奥州市文化財保存活用地域計画
資料編
(素案)

奥州市

文化財リスト（指定等文化財）

指定等文化財一覧

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
1	旧後藤家住宅	有形文化財	建造物		国	江刺	岩谷堂	昭和40年5月29日
2	正法寺本堂・庫裏・惣門附鐘楼堂一棟・客殿御建替御普請地絵図並小雛形仕様書大圖一通	有形文化財	建造物		国	水沢	黒石	平成29年9月11日
3	日高神社本殿	有形文化財	建造物		国	水沢	水沢	平成29年9月11日
4	旧高橋家住宅	有形文化財	建造物		国	水沢	水沢	平成23年6月20日
5	木造薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	水沢	黒石	昭和32年2月19日
6	木造僧形坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	水沢	黒石	昭和34年12月18日
7	木造兜跋毘沙門天立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	江刺	藤里	昭和34年12月18日
8	木造四天王立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	国	水沢	黒石	平成9年6月30日
9	留守家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	国	水沢	佐倉河	平成7年6月15日
10	高野長英関係資料	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	国	水沢	水沢南	平成8年6月27日
11	黒石の十三塚	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	国	水沢	黒石	平成5年12月13日
12	鬼剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	国	胆沢・衣川	小山・衣里	平成5年12月13日
13	胆沢城跡	記念物	史跡		国	水沢	佐倉河	大正11年10月12日 平成23年9月21日追加指定 平成27年3月10日追加指定
14	高野長英旧宅	記念物	史跡		国	水沢	水沢	昭和8年4月13日
15	角塚古墳	記念物	史跡		国	胆沢	南都田	昭和60年3月22日
16	柳之御所・平泉遺跡群(白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡・接待館遺跡)	記念物	史跡		国	前沢・衣川	前沢・衣里	【白鳥館遺跡】 平成17年7月14日 平成20年3月28日追加指定 【長者ヶ原廃寺跡】 平成17年7月14日 【接待館遺跡】 平成22年2月22日
17	大清水上遺跡	記念物	史跡		国	胆沢	胆沢愛宕	平成20年7月28日
18	「イーハトーブの風景地」種山ヶ原	記念物	名勝		国	江刺	米里	平成17年3月2日
19	瑞山神社(祖霊舎)	有形文化財	建造物		県	水沢	水沢	昭和47年10月27日
20	千葉家住宅門	有形文化財	建造物		県	水沢	黒石	昭和47年10月27日
21	武家住宅(後藤新平旧宅)	有形文化財	建造物		県	水沢	水沢	昭和47年10月27日
22	旧岩谷堂共立病院	有形文化財	建造物		県	江刺	岩谷堂	昭和54年2月27日
23	旧後藤正治郎家住宅	有形文化財	建造物		県	前沢	生母	昭和60年5月4日
24	麓山神社本殿 附棟札	有形文化財	建造物		県	江刺	米里	平成3年3月29日
25	智福毘沙門堂 附棟札	有形文化財	建造物		県	江刺	藤里	平成3年3月29日
26	八幡神社本殿 附棟札	有形文化財	建造物		県	胆沢	小山	平成3年3月29日
27	於呂閉志胆沢川神社厨子(旧伊達宗章霊廟厨子)	有形文化財	建造物		県	胆沢	若柳	平成3年3月29日
28	千養寺観音堂	有形文化財	建造物		県	水沢	羽田	平成5年9月7日
29	太田家住宅(太幸邸)主屋及びその庭、土蔵、表門、前座敷、炊場並びに西側の塀	有形文化財	建造物		県	前沢	前沢	平成9年9月2日
30	絹本著色開山良韶画像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	水沢	黒石	昭和34年3月17日
31	絹本著色十六羅漢像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	水沢	黒石	昭和60年9月17日
32	聖観音菩薩画像	有形文化財	美術工芸品	絵画	県	江刺	伊手	平成3年8月27日
33	木造如意輪観音坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	昭和29年4月5日
34	木造僧形坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	昭和29年4月5日
35	銅造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	江刺	岩谷堂	昭和33年5月16日

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
36	木造十一面観音立像 外	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	江刺	藤里	昭和38年12月24日
37	木造薬師如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	衣川	衣川	昭和44年6月6日
38	木造日光・月光菩薩立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	昭和51年3月23日
39	木造十二神将像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	昭和51年3月23日
40	木造阿弥陀如来立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	真城	昭和60年9月17日
41	木造釈迦如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	江刺	田原	平成3年8月27日
42	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	江刺	岩谷堂	平成3年8月27日
43	木造釈迦三尊坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	県	水沢	黒石	平成9年5月2日
44	桐竹文綾九条袈裟 附包裂等付属品一括	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	水沢	黒石	昭和47年10月27日
45	短刀 銘 奥州舞草光長	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	岩谷堂	昭和53年4月4日
46	銅三尊像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	岩谷堂	昭和55年3月4日
47	刀 銘 新藤源國義	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	岩谷堂	昭和55年10月3日
48	鉦鼓 附 懸架・撞木	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	梁川	昭和63年10月18日
49	鉦鼓	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	梁川	昭和63年10月18日
50	金銅聖観音坐像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	稲瀬	昭和63年10月18日
51	剣	有形文化財	美術工芸品	工芸品	県	江刺	藤里	昭和63年10月18日
52	紙本墨書正法眼蔵 附 正法眼蔵雑文	有形文化財	美術工芸品	書跡・典籍	県	水沢	黒石	昭和34年3月17日
53	角塚古墳出土埴輪	有形文化財	美術工芸品	考古資料	県	胆沢	南都田	平成2年8月28日
54	石庖丁	有形文化財	美術工芸品	考古資料	県	胆沢	南都田	平成2年8月28日
55	巡礼納札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	県	江刺	玉里	昭和54年8月17日
56	まいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	県	江刺	岩谷堂	昭和60年2月5日
57	まいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	県	江刺	稲瀬	昭和60年2月5日
58	姉体庚申塔（寛永十二年銘）	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	県	水沢	姉体	平成25年11月5日
59	日高火防祭	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	県	水沢	水沢	令和5年11月21日
60	鴨沢神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能（神楽）	県	江刺	広瀬	平成1年8月1日
61	鹿踊り	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能（風流）	県	江刺	稲瀬	昭和38年12月24日
62	江刺市梁川金津流鹿踊 付 金津流鹿踊本巻巻及び金津流鹿踊伝授之目録	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能（風流）	県	江刺	梁川	昭和53年4月4日
63	久田鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能（風流）	県	江刺	梁川	平成15年4月30日
64	広瀬人形芝居常楽座	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能	県	江刺	広瀬	平成7年9月1日
65	明後沢古瓦出土地（明後沢遺跡）	記念物	史跡		県	前沢	古城	昭和38年12月24日
66	駒形神社並びに水沢公園のヒガン系桜群	記念物	天然記念物	植物	県	水沢	水沢南	昭和41年3月8日
67	胆沢川流域ユキツバキ群落	記念物	天然記念物	植物	県	胆沢	若柳愛宕	昭和44年6月6日
68	若柳ヒメカウ群落	記念物	天然記念物	植物	県	胆沢	若柳愛宕	昭和53年4月4日
69	藤里の珪化木	記念物	天然記念物	地質鉱物	県	江刺	藤里	昭和38年12月24日
70	正法寺開山堂・小方丈	有形文化財	建造物		市	水沢	黒石	昭和60年10月16日
71	竈神社本殿	有形文化財	建造物		市	前沢	古城	昭和61年7月1日
72	旧内田家住宅主屋及びび門	有形文化財	建造物		市	水沢	水沢	平成2年3月31日
73	鎮守府八幡宮本殿・拝殿	有形文化財	建造物		市	水沢	佐倉河	平成4年3月31日
74	中善蔵	有形文化財	建造物		市	江刺	岩谷堂	平成13年5月7日

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
75	絹本竹之図墨絵	有形文化財	美術工芸品	絵画	市	水沢	水沢	平成6年6月1日
76	絹本鷹之図墨絵	有形文化財	美術工芸品	絵画	市	水沢	水沢	平成6年6月1日
77	木造千手観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	生母	昭和48年1月1日
78	木造釈迦如来立像(三沢初子持 仏) 附 厨子、釈迦堂創建記 石板、釈迦堂棟札	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	昭和48年12月20日 平成26年11月3日附 けたり追加指定
79	木造十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	昭和49年10月1日
80	金命丸本鋪看板	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	昭和49年10月1日
81	木造五百羅漢像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	昭和51年3月1日
82	木造僧形坐像外	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	藤里	昭和56年5月19日
83	木造毘沙門天立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	岩谷堂	昭和56年5月19日
84	木造聖観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	梁川	昭和56年5月19日
85	木造十一面観音立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	玉里	昭和56年5月19日
86	獅子頭	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	梁川	昭和56年5月19日
87	木造神面	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	田原	昭和56年5月19日
88	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	胆沢	小山	昭和57年7月7日
89	銅造蔵王権現像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	胆沢	小山	昭和57年7月7日
90	木造十一面観音菩薩座像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	胆沢	若柳	昭和57年7月7日
91	木造山神立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和57年7月7日
92	木造孝養太子立像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	衣川	衣里	平成1年6月27日
93	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	衣川	衣川	平成1年6月27日
94	中善観音	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	江刺	岩谷堂	平成12年3月6日
95	木造阿弥陀如来坐像	有形文化財	美術工芸品	彫刻	市	前沢	前沢	令和元年5月10日
96	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	羽田	昭和32年3月30日
97	長胴太鼓(時太鼓)	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	水沢	昭和49年4月1日
98	金銅華鬘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	黒石	昭和49年4月1日
99	石灯籠	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	水沢	昭和49年4月1日
100	石灯籠	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	水沢	昭和49年4月1日
101	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	水沢	昭和56年3月30日
102	銅鐘	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	黒石	昭和56年3月30日
103	金銅阿弥陀如来坐像懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	衣川	南股	平成1年6月27日
104	銅鰐口	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	衣川	衣里	平成1年6月27日
105	懸仏	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	江刺	米里	平成9年8月1日
106	鉦鼓	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	江刺	田原	平成9年8月1日
107	木製供具(華瓶・高坏)	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	江刺	藤里	昭和56年5月19日
108	龍文真形鉄湯釜	有形文化財	美術工芸品	工芸品	市	水沢	羽田	平成17年9月30日
109	明善寺文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	若柳	昭和61年2月1日
110	小山の久保五嶋家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	小山	平成8年12月10日
111	若柳の油地千田家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	若柳	平成8年12月10日
112	若柳の惣之町阿部家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	若柳	平成8年12月10日
113	新里の中屋敷千田家文書	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	胆沢	若柳	平成13年6月1日
114	江刺郡片岡村伊達左兵衛在郷屋 敷絵図	有形文化財	美術工芸品	古文書	市	江刺	岩谷堂	平成30年11月30日
115	白磁四耳壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	江刺	岩谷堂	昭和47年1月25日
116	暗文のある坏型土器	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	胆沢	南都田	昭和61年2月1日
117	須恵器坏型土器	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	胆沢	南都田	昭和61年2月1日
118	経壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	江刺	岩谷堂	平成12年3月6日
119	須恵器系波状文四耳壺	有形文化財	美術工芸品	考古資料	市	江刺	岩谷堂	平成13年5月7日
120	比賢館の版木	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	江刺	岩谷堂	昭和40年3月4日
121	高野長英獄中角筆詩文(伝爪 書)	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	前沢	前沢	昭和48年1月1日
122	シーボルト処方箋	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	前沢	前沢	昭和48年1月1日
123	海国兵談(版本)	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	前沢	前沢	昭和48年1月1日
124	西説医原枢要(版本)	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	前沢	前沢	昭和48年12月20日

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
125	市野々の算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和61年2月1日
126	化粧坂の算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	胆沢	南都田	昭和61年2月1日
127	上伊澤元禄絵図	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	胆沢	若柳	昭和61年2月1日
128	仙台水沢住坂本運治行盛作火縄銃	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	水沢	水沢南	平成9年1月7日
129	中善算額	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	江刺	岩谷堂	平成13年5月7日
130	鳥の鳴聲(和寿禮か多美)	有形文化財	美術工芸品	歴史資料	市	水沢	水沢南	平成25年10月30日
131	佐倉河東広町のまいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	水沢	常盤	昭和49年4月1日
132	船絵馬	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	江刺愛宕	昭和56年5月19日
133	恩俗長根の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	昭和57年7月7日
134	国分の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	昭和57年7月7日
135	化粧坂の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	昭和57年7月7日
136	堰袋の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和57年7月7日
137	供養塚の追分石(馬頭碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	昭和57年7月7日
138	幅下の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	昭和57年7月7日
139	供養塚の追分石(鹿嶋大明神)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	昭和57年7月7日
140	市野々の追分石	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和57年7月7日
141	館山の板碑(延慶の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	岩谷堂	昭和60年2月19日
142	駒籠の板碑(嘉暦の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	江刺愛宕	昭和60年2月19日
143	館山の板碑(康永の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	岩谷堂	昭和60年2月19日
144	七日市の板碑(延文の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	広瀬	昭和60年2月19日
145	柿ノ木の板碑(貞治の碑)	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	広瀬	昭和60年2月19日
146	市野々のまいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和61年2月1日
147	若柳愛宕のまいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和61年2月1日
148	河内の月山神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	衣川	南股	平成1年6月27日
149	寺田の墨書板碑	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	衣川	衣川	平成1年6月27日
150	中萱刈窪のまいりの仏	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成10年7月8日
151	八幡屋敷の八幡社幟	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成13年6月1日
152	堰袋の馬頭観世音堂寄進札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成13年6月1日

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
153	森の胆堀神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成13年6月1日
154	大畑の山王権現社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成13年6月1日
155	長檀の御駒社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成13年6月1日
156	高縁の神明神社棟札・幟	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成13年6月1日
157	伊勢堂の伊勢堂棟札・幟	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成13年6月1日
158	大袋の不動尊堂棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	小山	平成13年6月1日
159	机地の弁財天堂幟	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	平成13年6月1日
160	宝蔵山宝寿寺棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	平成13年6月1日
161	熊野の熊野社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	南都田	平成13年6月1日
162	下鹿合の子養観音堂棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成13年6月1日
163	愛宕の愛宕神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成13年6月1日
164	観音堂の観音堂棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	胆沢愛宕	平成13年6月1日
165	大町の伊勢堂棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成13年6月1日
166	松原の熊野社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成13年6月1日
167	化粧野の三嶋神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成13年6月1日
168	新中の新山神社棟札	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	胆沢	若柳	平成13年6月1日
169	四季耕作図絵馬	民俗文化財	有形民俗文化財	風俗慣習	市	前沢	白山	平成28年2月26日
170	剣舞道化面	民俗文化財	有形民俗文化財	民俗芸能	市	胆沢	小山	平成1年12月26日
171	吉祥院能面	民俗文化財	有形民俗文化財	民俗芸能	市	胆沢	小山	平成1年12月26日
172	中沢神楽面	民俗文化財	有形民俗文化財	民俗芸能	市	胆沢	小山	平成1年12月26日
173	山神社剣舞絵馬	民俗文化財	有形民俗文化財	民俗芸能	市	胆沢	胆沢愛宕	平成13年6月1日
174	西沢目大名行列	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	梁川	昭和47年1月25日
175	やぶさめ	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	梁川	昭和47年1月25日
176	六日入白山神社献膳の儀	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	市	前沢	白山	昭和52年8月1日
177	伊手熊野神社蘇民祭	民俗文化財	無形民俗文化財	風俗慣習	市	江刺	伊手	平成9年8月1日
178	奥州胆沢北下巾神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	水沢	水沢	昭和35年3月28日
179	福原神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	水沢	水沢南	昭和35年3月28日

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
180	狼ヶ志田神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	胆沢	小山	昭和35年11月1日
181	恩俗神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	胆沢	小山	昭和35年11月1日
182	笹森神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	胆沢	小山	昭和35年11月1日
183	鹿合神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和35年11月1日
184	十文字神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	胆沢	小山	昭和35年11月1日
185	前谷地神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	胆沢	若柳	昭和42年3月1日
186	社風長京神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	江刺	梁川	昭和47年1月25日
187	小川原流和田神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	江刺	玉里	昭和48年11月3日
188	川内神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	江刺	田原	昭和48年11月3日
189	岳流学間沢神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	江刺	米里	昭和48年11月3日
190	佐野向神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	江刺	稲瀬	昭和52年3月31日
191	川内神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	衣川	南股	昭和53年3月25日
192	瀬台野神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	水沢	常盤	昭和56年3月30日
193	赤生津神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	前沢	生母	昭和56年7月20日
194	熊野神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	前沢	古城	昭和56年7月20日
195	白鳥神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	前沢	前沢	昭和56年7月20日
196	成岡田神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	前沢	生母	昭和56年7月20日
197	西風神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和57年7月7日
198	南下幅熊野権現舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	胆沢	南都田	昭和57年7月7日
199	大原神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	衣川	南股	平成7年11月6日
200	川西獅子舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	衣川	衣里	平成7年11月6日
201	川東神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	衣川	衣里	平成7年11月6日
202	歌書神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	江刺	広瀬	平成17年4月1日
203	大償齋部流野口家伝栗生沢神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	江刺	梁川	平成17年4月1日
204	原体神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	江刺	田原	平成17年4月1日
205	鶯沢神楽(附 今野忠治旧蔵「神楽本」5冊、「神楽面」2面)	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	水沢	羽田	平成17年9月30日
206	黒田助獅子舞(附 「獅子頭」1点、「太鼓」2点)	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(神楽)	市	水沢	羽田	平成17年9月30日

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
207	中田太神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	江刺	梁川	平成24年10月31日
208	小田代神楽	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (神楽)	市	江刺	田原	平成28年2月26日
209	上幅庭田植踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (田楽・田植踊)	市	水沢	佐倉河	昭和35年3月28日
210	都鳥田植踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (田楽・田植踊)	市	胆沢	南都田	昭和35年11月1日
211	出店田植踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (田楽・田植踊)	市	胆沢	若柳	昭和48年12月7日
212	元町座敷田植踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (田楽・田植踊)	市	江刺	玉里	昭和52年3月31日
213	大原田植踊り	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (田楽・田植踊)	市	衣川	南股	平成7年11月6日
214	軽石座敷田植踊り	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (田楽・田植踊)	市	江刺	広瀬	平成17年4月1日
215	伊藤流行山鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	水沢	羽田	昭和35年3月28日
216	奥野流富士麓行山鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	水沢	佐倉河	昭和35年3月28日
217	市野々念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和35年11月1日
218	行山流都鳥鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	南都田	昭和35年11月1日
219	化粧坂念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	南都田	昭和35年11月1日
220	南下幅念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	南都田	昭和35年11月1日
221	新里念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	若柳	昭和39年11月1日
222	鹿合念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和44年12月23日
223	奥山行山流内ノ目鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	玉里	昭和48年11月3日
224	奥山行山流増沢鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	岩谷堂	昭和48年11月3日
225	金津流伊手獅子躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	伊手	昭和48年11月3日
226	原躰剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	田原	昭和48年11月3日
227	増沢剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	岩谷堂	昭和48年11月3日
228	二の台念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	胆沢	小山	昭和48年12月7日
229	奥山行上流餅田鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	江刺	岩谷堂	昭和52年3月31日
230	池田胴念仏	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能 (風流)	市	衣川	衣里	昭和53年3月25日

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
231	大平念仏剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	衣川	北股	昭和53年3月25日
232	行山流供養塚鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	胆沢	若柳	昭和57年7月7日
233	野山田念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	胆沢	胆沢愛宕	昭和57年7月7日
234	柳田念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	胆沢	南都田	昭和57年7月7日
235	軽石薩摩奴踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	広瀬	昭和58年3月31日
236	奥山行山流鴨沢鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	広瀬	昭和61年4月25日
237	奥山上山流歌書獅子躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	広瀬	昭和61年4月25日
238	行山流角懸鹿躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	玉里	昭和61年4月25日
239	大畑平念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	胆沢	小山	平成1年12月26日
240	奥山行山流地ノ神鹿踊	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	伊手	昭和52年3月31日
241	兄和田念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	米里	平成17年4月1日
242	鴨沢念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	広瀬	平成17年4月1日
243	軽石念佛剣舞	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	広瀬	平成17年4月1日
244	金津流石関獅子躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	稲瀬	平成24年10月31日
245	金津流野手崎獅子躍	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能(風流)	市	江刺	梁川	平成24年10月31日
246	軽石歌舞伎「中村座」	民俗文化財	無形民俗文化財	民俗芸能	市	江刺	広瀬	平成17年4月1日
247	留守家墓所	記念物	史跡		市	水沢	水沢	昭和49年4月1日
248	上姉体館跡	記念物	史跡		市	水沢	姉体	昭和49年4月1日
249	半入豪族屋敷	記念物	史跡		市	水沢	佐倉河	昭和56年3月30日
250	豊田城跡碑	記念物	史跡		市	江刺	岩谷堂	昭和56年5月19日
251	瀬谷子窯跡	記念物	史跡		市	江刺	稲瀬	昭和56年5月19日
252	人首山本の旧盛街道七里塚	記念物	史跡		市	江刺	米里	昭和56年5月19日
253	真城中上野の旧奥州街道一里塚	記念物	史跡		市	水沢	真城	昭和63年12月23日
254	水沢鋳物発祥の地	記念物	史跡		市	水沢	羽田	平成6年6月1日
255	若柳堰袋の旧仙北街道一里塚	記念物	史跡		市	胆沢	胆沢愛宕	平成7年3月10日
256	千養寺のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	羽田	昭和32年3月30日
257	日高神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	水沢	昭和32年3月30日
258	大手町のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	水沢	昭和47年4月1日
259	松山寺のイチョウ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	昭和48年4月1日
260	松山寺のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	昭和48年4月1日
261	関袋のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	昭和48年4月1日
262	並木前のエドヒガン・コナラ合体木	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣里	昭和48年4月1日
263	北館のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣里	昭和48年4月1日
264	山口のヒノキアスナロ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣里	昭和48年4月1日
265	後滝の沢のスギとフジ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣里	昭和48年4月1日
266	畦畑のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	昭和48年4月1日
267	懸田のヒイラギ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	昭和48年4月1日

番号	名称	分類①	分類②	分類③	指定等	地域	地区	指定等年月日
268	長田のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	黒石	昭和49年4月1日
269	羽田八雲神社のイロハモミジ	記念物	天然記念物	植物	市	水沢	羽田	昭和56年3月30日
270	向平当のイチイ	記念物	天然記念物	植物	市	江刺	米里	昭和56年5月19日
271	前大畑のイチイ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	小山	昭和57年7月7日
272	小十文字のサイカチ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	南都田	昭和57年7月7日
273	前大畑のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	小山	昭和57年7月7日
274	大谷地のヤブツバキ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	小山	昭和57年7月7日
275	荒谷のイロハモミジ	記念物	天然記念物	植物	市	前沢	生母	昭和54年8月1日
276	太幸邸のウメ	記念物	天然記念物	植物	市	前沢	前沢	昭和54年8月1日
277	土橋のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	若柳	平成1年12月26日
278	峠のトウゲダケ群落	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	小山	平成1年12月26日
279	鹿合のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	胆沢愛宕	平成1年12月26日
280	明善寺のヒヨクヒバ	記念物	天然記念物	植物	市	胆沢	若柳	平成1年12月26日
281	野崎のヤマトアオダモ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成7年11月6日
282	石ヶ沢のカヤ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	平成7年11月6日
283	餅転のネズコ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成7年11月6日
284	餅転のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成7年11月6日
285	旧殿のコウヤマキ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	平成7年11月6日
286	檜原のサルスベリ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成7年11月6日
287	檜原のヤマボウシ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	南股	平成7年11月6日
288	山岸のイチョウ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	平成11年11月1日
289	古館のエドヒガン	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	北股	平成11年11月1日
290	古戸のサワラ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	衣川	平成11年11月1日
291	増沢のエゾイタヤ	記念物	天然記念物	植物	市	衣川	北股	平成14年8月1日
292	梁川のエドヒガン（種蒔桜）	記念物	天然記念物	植物	市	江刺	梁川	平成24年3月30日
293	秋葉神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	江刺	伊手	平成26年11月3日
294	戸隠神社のスギ	記念物	天然記念物	植物	市	江刺	伊手	平成26年11月3日
295	袖山の輝石安山岩柱状節理	記念物	天然記念物	地質鉱物	市	江刺	岩谷堂	昭和48年11月3日
296	千葉家住宅主屋	有形文化財	建造物		国登録	江刺	稲瀬	平成15年3月18日
297	旧緯度観測所本館（奥州宇宙遊学館）	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢南	平成29年10月27日
298	旧臨時緯度観測所本館（木村榮記念館）	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢南	平成29年10月27日
299	旧臨時緯度観測所眼視天頂儀室	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢南	平成29年10月27日
300	旧臨時緯度観測所眼視天頂儀目標台及び覆屋	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢南	平成29年10月27日
301	後藤伯記念公民館	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和1年12月5日
302	齋藤子爵水沢文庫図書庫	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和3年10月14日
303	齋藤子爵水沢文庫図書閲覧所	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和3年10月14日
304	旧安倍家住宅主屋	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
305	旧安倍家住宅板蔵	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
306	旧安倍家住宅土蔵	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
307	旧安倍家住宅表門	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
308	旧安倍家住宅庭門	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和4年6月29日
309	旧高野家住宅古稀庵	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和6年8月15日
310	旧高野家住宅新座敷	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和6年8月15日
311	旧高野家住宅板倉	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和6年8月15日
312	旧高野家住宅瑞阜文庫	有形文化財	建造物		国登録	水沢	水沢	令和6年8月15日
313	愛宕神社本殿（旧愛宕山大権現堂）	有形文化財	建造物		国登録	江刺	江刺愛宕	令和6年12月3日

調査報告書等リスト

既存の文化財調査報告書等一覧1（自治体史）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	水沢市史 1 原始・古代		水沢市史刊行会	1974
2	水沢市史 2 中世		水沢市史刊行会	1976
3	水沢市史 3 近世上		水沢市史刊行会	1981
4	水沢市史 3 近世下		水沢市史刊行会	1982
5	水沢市史 4 近代1		水沢市史刊行会	1985
6	水沢市史 5 近代2		水沢市史刊行会	1990
7	水沢市史 6 民俗		水沢市史刊行会	1978
8	水沢市史 7 資料編		水沢市史刊行会	1993
9	江刺市史 1 通史篇 原始・古代・中世		江刺市	1983
10	江刺市史 2 通史篇 近世		江刺市	1985
11	江刺市史 3 通史篇 近代・現代		江刺市	1987
12	江刺市史 4 社寺旧跡篇		江刺市	1990
13	江刺市史 5 資料篇 考古資料		江刺市	1981
14	江刺市史 5 資料篇 古代・中世		江刺市	1982
15	江刺市史 5 資料篇 近世1		江刺市	1974
16	江刺市史 5 資料篇 近世2		江刺市	1975
17	江刺市史 5 資料篇 近世3		江刺市	1976
18	江刺市史 5 資料篇 近世4		江刺市	1977
19	江刺市史 5 資料篇 近代1		江刺市	1978
20	江刺市史 5 資料篇 近代2		江刺市	1979
21	前沢町史 上巻		前沢町教育委員会	1974
22	前沢町史 中巻		前沢町教育委員会	1976
23	前沢町史 下巻1		前沢町教育委員会	1981
24	前沢町史 下巻2		前沢町教育委員会	1988
25	前沢町史 教育編		奥州市教育委員会	2010
26	胆沢町史 1 原始古代編		胆沢町史刊行会	1987
27	胆沢町史 2 古代中世編		胆沢町史刊行会	1982
28	胆沢町史 3 古代中世編		胆沢町史刊行会	1982
29	胆沢町史 4 近世編1		胆沢町史刊行会	1997
30	胆沢町史 5 近世編2		胆沢町史刊行会	2000
31	胆沢町史 6 近・現代編1		胆沢町史刊行会	2002
32	胆沢町史 7 近・現代編2 前編		胆沢町史刊行会	2004
33	胆沢町史 7 近・現代編2 中編		胆沢町史刊行会	2006
34	胆沢町史 7 近・現代編2 後編		胆沢町史刊行会	2006
35	胆沢町史 8 民俗編1		胆沢町史刊行会	1985
36	胆沢町史 9 民俗編2		胆沢町史刊行会	1987
37	胆沢町史 10 民俗編3		胆沢町史刊行会	1991
38	胆沢町史 11 民俗編4		胆沢町史刊行会	1994
39	衣川村史 1 通史編		衣川村	1989
40	衣川村史 2 資料編1		衣川村	1987
41	衣川村史 3 資料編2		衣川村	1988
42	衣川村史 4 資料編3		衣川村	1988
43	衣川村史 5 資料編4		衣川村	1989
44	衣川村史 6 資料編5		衣川村	1990
45	衣川村史 7 資料編6		衣川村	2006
46	衣川村史 8 資料編7		衣川村	2006

既存の文化財調査報告書等一覧2（国・県・他自治体等）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	文化財調査報告書 第1輯	岩手県文化財調査報告書第1集	岩手県教育委員会	1951
2	岩手県文化財調査報告（衣川長者ケ原廃寺址）	岩手県文化財調査報告書第1集	岩手県教育委員会	1951
3	胆沢城跡 水沢市所在	岩手県文化財調査報告書第4集	岩手県教育委員会	1957
4	長者原廃寺跡	岩手県文化財調査報告書第6集	岩手県教育委員会	1959
5	長者原廃寺跡 衣川村所在 胆沢城跡（第二報） 水沢市所在	岩手県文化財調査報告書第6集	岩手県教育委員会	1959
6	岩手県中世文書 上巻	岩手県文化財調査報告書第7集	岩手県教育委員会	1960
7	岩手県金石志	岩手県文化財調査報告書第8集	岩手県教育委員会	1961
8	岩手の民俗芸能 山伏神楽編	岩手県文化財調査報告書第9集	岩手県教育委員会	1962
9	岩手の田植習俗	岩手県文化財調査報告書第10集	岩手県教育委員会	1963
10	岩手県中世文書 中巻	岩手県文化財調査報告書第12集	岩手県教育委員会	1963
11	岩手県遺跡地名表 埋蔵文化財包蔵地一覧	岩手県文化財調査報告書第13集	岩手県教育委員会	1964
12	明後沢古瓦出土遺跡 前沢町古城所在古代城柵跡	岩手県文化財調査報告書第14集	岩手県教育委員会	1965
13	岩手の民俗芸能 念仏踊等篇	岩手県文化財調査報告書第15集	岩手県教育委員会	1966
14	岩手の民俗資料	岩手県文化財調査報告書第16集	岩手県教育委員会	1966
15	南部伊達両藩藩境塚 北上川以西の部	岩手県文化財調査報告書第17集	岩手県教育委員会	1967
16	岩手県中世文書 下巻	岩手県文化財調査報告書第18集	岩手県教育委員会	1968
17	岩手の民俗芸能 獅子（鹿）踊篇 上巻・下巻	岩手県文化財調査報告書第19集	岩手県教育委員会	1970
18	岩手県民俗地図 民俗文化財緊急調査報告書	岩手県文化財調査報告書第24集	岩手県教育委員会	1977
19	岩手県の古民家	岩手県文化財調査報告書第26集	岩手県教育委員会	1978
20	岩手県古代仏教資料調査 昭和51年度、52年度歴史資料調査報告書	岩手県文化財調査報告書第28集	岩手県教育委員会	1978
21	特別天然記念物カモシカ調査報告書 1 昭和52年度	岩手県文化財調査報告書第29集	岩手県教育委員会	1978
22	東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書Ⅰー（谷地遺跡、五十瀬神社前遺跡、瀬谷子遺跡、鶴羽衣台遺跡、鶴羽衣遺跡、落合Ⅰ遺跡、力石遺跡、中屋敷遺跡）	岩手県文化財調査報告書第33集	岩手県教育委員会	1979

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
23	奥州道中一岩手県「歴史の道」調査報告一	岩手県文化財調査報告書第36集	岩手県教育委員会	1979
24	特別天然記念物カモシカ調査報告書 2 (昭和53年度)	岩手県文化財調査報告書第38集	岩手県教育委員会	1979
25	南部伊達両藩藩境塚 北上川以東の部	岩手県文化財調査報告書第39集	岩手県教育委員会	1980
26	仙北街道一岩手県「歴史の道」調査報告一	岩手県文化財調査報告書第43集	岩手県教育委員会	1980
27	特別天然記念物カモシカ調査報告書 3 (昭和54年度)	岩手県文化財調査報告書第47集	岩手県教育委員会	1980
28	東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書一Ⅳ一 (宮地遺跡)	岩手県文化財調査報告書第48集	岩手県教育委員会	1980
29	東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書一Ⅴ一 (鴻ノ巣館遺跡、高畑遺跡、白沢遺跡)	岩手県文化財調査報告書第49集	岩手県教育委員会	1980
30	東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書一Ⅵ一 (落合Ⅱ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第50集	岩手県教育委員会	1980
31	東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書一Ⅶ一 (泊ヶ崎遺跡、新城遺跡、徳沢一里塚遺跡、衣川柵擬定地、中の森遺跡、北館遺跡、伝大手門遺跡)	岩手県文化財調査報告書第54集	岩手県教育委員会	1980
32	東北縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書一Ⅷ一 (一関地区 東裏遺跡)	岩手県文化財調査報告書第55集	岩手県教育委員会	1980
33	東北縦貫自動車道関係文化財調査報告書一Ⅹ一 (水沢地区)	岩手県文化財調査報告書第60集	岩手県教育委員会	1981
34	東北縦貫自動車道関係文化財調査報告書一ⅩⅡ一 (石田遺跡)	岩手県文化財調査報告書第61集	岩手県教育委員会	1981
35	岩手の俗信第3集 心霊と占いに関する俗信	岩手県文化財調査報告書第62集	岩手県教育委員会	1981
36	盛街道一岩手県「歴史の道」調査報告一	岩手県文化財調査報告書第63集	岩手県教育委員会	1981
37	岩手県戦国期文書	岩手県文化財調査報告書第73集	岩手県教育委員会	1982
38	岩手の俗信第4集 一食物・保健に関する俗信一	岩手県文化財調査報告書第74集	岩手県教育委員会	1982
39	岩手の俗信第5集 一生物に関する俗信一	岩手県文化財調査報告書第75集	岩手県教育委員会	1982
40	岩手の俗信第6集 一生活に関する俗信一	岩手県文化財調査報告書第79集	岩手県教育委員会	1983
41	岩手県の小正月行事調査報告書	岩手県文化財調査報告書第80集	岩手県教育委員会	1984
42	岩手県の民謡 民謡緊急調査報告書	岩手県文化財調査報告書第81集	岩手県教育委員会	1985
43	岩手県中世城館跡分布調査報告書	岩手県文化財調査報告書第82集	岩手県教育委員会	1986
44	岩手県の近世社寺建築	岩手県文化財調査報告書第85集	岩手県教育委員会	1989
45	岩手県の諸職 諸職関係民俗文化財調査報告書	岩手県文化財調査報告書第88集	岩手県教育委員会	1991
46	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (落合遺跡、寺田遺跡、下惣田遺跡)	岩手県文化財調査報告書第93集	岩手県教育委員会	1992
47	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (観音堂沖遺跡、明後沢遺跡、目呂木本杉遺跡、大桜遺跡)	岩手県文化財調査報告書第95集	岩手県教育委員会	1994
48	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (力石Ⅱ遺跡、大桜遺跡)	岩手県文化財調査報告書第97集	岩手県教育委員会	1995
49	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (龍ヶ馬場遺跡、北野Ⅳ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第98集	岩手県教育委員会	1996
50	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (砂川遺跡、岩谷堂橋本Ⅰ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第99集	岩手県教育委員会	1997
51	岩手県の民俗芸能 岩手県民俗芸能緊急調査報告書	岩手県文化財調査報告書第100集	岩手県教育委員会	1997
52	岩手県の近代化遺産 岩手県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書	岩手県文化財調査報告書第101集	岩手県教育委員会	1997
53	岩手の貝塚	岩手県文化財調査報告書第102集	岩手県教育委員会	1998
54	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (真城落合遺跡)	岩手県文化財調査報告書第103集	岩手県教育委員会	1998
55	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (中半入遺跡、西前田遺跡、後田Ⅰ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第105集	岩手県教育委員会	1999
56	岩手の洞穴遺跡	岩手県文化財調査報告書第106集	岩手県教育委員会	2000
57	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (館遺跡、前広田遺跡、八幡堂遺跡)	岩手県文化財調査報告書第108集	岩手県教育委員会	2000
58	岩手の祭り・行事調査報告書	岩手県文化財調査報告書第109集	岩手県教育委員会	2000
59	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (東館遺跡、下中沢Ⅰ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第112集	岩手県教育委員会	2001
60	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (中屋敷Ⅲ遺跡、小田切遺跡、二の台遺跡、五反町遺跡、淵畑遺跡)	岩手県文化財調査報告書第114集	岩手県教育委員会	2002
61	岩手の蘇民祭調査報告書	岩手県文化財調査報告書第115集	岩手県教育委員会	2002
62	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (中半入遺跡、寺ヶ前Ⅱ遺跡、水ノ口前東遺跡、根蕪遺跡、島田Ⅱ遺跡、島田Ⅳ遺跡、大中田遺跡、明後沢遺跡群、寺ノ上遺跡、九郎館遺跡、下中沢Ⅲ遺跡、二の台遺跡、新規遺跡)	岩手県文化財調査報告書第116集	岩手県教育委員会	2003
63	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (兵法田遺跡、二の台遺跡)	岩手県文化財調査報告書第119集	岩手県教育委員会	2005
64	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (兵法田遺跡、金打遺跡、屋敷遺跡、二の沢遺跡、一の台Ⅳ遺跡、一の台Ⅲ遺跡、一の台遺跡)	岩手県文化財調査報告書第120集	岩手県教育委員会	2006
65	岩手の製鉄遺跡	岩手県文化財調査報告書第122集	岩手県教育委員会	2006
66	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (兵法田遺跡、中島遺跡)	岩手県文化財調査報告書第124集	岩手県教育委員会	2007
67	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (沼尻遺跡、道上遺跡、牡丹野遺跡)	岩手県文化財調査報告書第126集	岩手県教育委員会	2008
68	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (沼尻遺跡、天竺老婆遺跡、鶴羽衣遺跡)	岩手県文化財調査報告書第128集	岩手県教育委員会	2009
69	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (北天間Ⅰ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第129集	岩手県教育委員会	2010
70	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (阿弥陀堂遺跡、林遺跡、古城方八丁遺跡、八幡遺跡)	岩手県文化財調査報告書第132集	岩手県教育委員会	2011
71	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (根蕪遺跡、谷地遺跡、草井川遺跡、田高Ⅱ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第134集	岩手県教育委員会	2012
72	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (谷地遺跡、古城林遺跡)	岩手県文化財調査報告書第136集	岩手県教育委員会	2013
73	岩手県内遺跡発掘調査報告書 (石田Ⅰ・Ⅱ遺跡)	岩手県文化財調査報告書第138集	岩手県教育委員会	2014
74	衣川流域における古代末期遺跡の分布調査 (1)	岩手県立博物館研究報告第20号	岩手県立博物館	2003
75	衣川流域における古代末期遺跡の分布調査 (2)	岩手県立博物館研究報告第21号	岩手県立博物館	2004
76	衣川流域における古代末期遺跡調査報告書 長者ヶ原廃寺跡第3次・第5次・第7次発掘調査報告書	岩手県立博物館調査研究報告書第21集	岩手県立博物館	2006
77	人首川流域における古代末期遺跡調査報告書	岩手県立博物館調査研究報告書第26集	岩手県立博物館	2010
78	陸奥国胆沢郡上衣川村南又組頭文書	岩手県立博物館収蔵資料目録第30集	岩手県立博物館	2025
79	岩手県の民俗芸能		岩手県文化財愛護協会	1982
80	岩手県の近代和風建築		岩手県教育委員会	2007
81	岩手県の民俗芸能一岩手県民俗芸能伝承調査報告書一		岩手県教育委員会	2011
82	南部仙台領境資料		北上市史編さん室	1963
83	南部神楽調査報告書		一関市教育委員会	2016
84	岩手県民俗芸能誌		錦正社	1971

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
85	岩手県奥州市羽黒堂古館遺跡		岩手県（阿弓流為・母禮を慰霊する会他）	2007

既存の文化財調査報告書等一覧3（奥州市）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	奥州市の文化財一改訂版一 有形文化財・有形民俗文化財・史跡名勝天然記念物		奥州市教育委員会	2016
2	奥州市の文化財 無形民俗		奥州市教育委員会	2016
3	胆沢城跡一平成16年度発掘調査概報一		奥州市教育委員会	2006
4	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡第28次・伯濟寺遺跡（平成16・17年度）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第1集	奥州市教育委員会	2007
5	市内遺跡群範囲確認調査 試掘調査（平成17～18年度）・杉の堂遺跡（第29次）・伯濟寺遺跡（第10次）・中半入遺跡（第5次）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第2集	奥州市教育委員会	2008
6	大清水水上遺跡発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第3集	奥州市教育委員会	2008
7	九郎館跡	奥州市埋蔵文化財調査報告書第4集	奥州市教育委員会	2012
8	市内遺跡発掘調査報告書（平成19年度試掘調査等）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第5集	奥州市教育委員会	2012
9	伯濟寺遺跡発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第6集	奥州市教育委員会	2013
10	川前遺跡第2次発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第7集	奥州市教育委員会	2006
11	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第4次調査）		奥州市	2006
12	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第9次調査）		奥州市	2007
13	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第5次調査）		奥州市	2007
14	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第10次調査）		奥州市	2008
15	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第6次調査）		奥州市	2008
16	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第11次調査）		奥州市	2009
17	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第7次調査）		奥州市	2009
18	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第12次調査）		奥州市	2010
19	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査報告書（第8次調査）		奥州市	2010
20	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第13次調査）		奥州市	2011
21	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第14次調査）		奥州市	2012
22	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報告書（第9・10次調査）		奥州市	2012
23	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書－総括篇－	奥州市埋蔵文化財調査報告書第20集	奥州市教育委員会	2013
24	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報告書（第11次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第21集	奥州市教育委員会	2013
25	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第15次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第22集	奥州市教育委員会	2014
26	胆沢城跡－平成18・19年度発掘調査概報－	奥州市埋蔵文化財調査報告書第23集	奥州市教育委員会	2014
27	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報告書（第12次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第24集	奥州市教育委員会	2014
28	市内遺跡発掘調査報告書（平成20～22年度試掘調査等）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第25集	奥州市教育委員会	2015
29	胆沢城跡－第93・95・97・98・99次発掘調査概報－	奥州市埋蔵文化財調査報告書第26集	奥州市教育委員会	2015
30	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報告書（第13次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第27集	奥州市教育委員会	2015
31	胆沢城跡－第92・94・96・100次発掘調査概報－	奥州市埋蔵文化財調査報告書第28集	奥州市教育委員会	2016
32	国指定史跡 白鳥館遺跡発掘調査概要報告書（第14次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第29集	奥州市教育委員会	2016
33	胆沢城跡－第91次発掘調査概報－	奥州市埋蔵文化財調査報告書第30集	奥州市教育委員会	2016
34	市内遺跡発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第31集	奥州市教育委員会	2017
35	白鳥館遺跡第9次～第15次発掘調査報告書（遺構・遺物編）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第32集	奥州市教育委員会	2017
36	大安寺水沢伊達(留守)家墓所調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第33集	奥州市教育委員会	2018
37	白鳥館遺跡第9次～第15次発掘調査報告書（遺物補遺・考察・分析編）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第34集	奥州市教育委員会	2018
38	接待館遺跡発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第35集	奥州市教育委員会	2018
39	胆沢城跡－平成26・27年度第103～105次発掘調査概報－	奥州市埋蔵文化財調査報告書第36集	奥州市教育委員会	2019
40	明後沢遺跡群第9・13・14・17・19～21次発掘調査報告書	奥州市埋蔵文化財調査報告書第37集	奥州市教育委員会	2019
41	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第16次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第38集	奥州市教育委員会	2019
42	市内遺跡発掘調査報告書（平成26年度試掘調査等）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第39集	奥州市教育委員会	2019
43	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第17次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第40集	奥州市教育委員会	2020
44	市内遺跡発掘調査報告書（林前南館25次・杉の堂32次）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第41集	奥州市教育委員会	2021
45	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第18次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第42集	奥州市教育委員会	2021
46	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第19次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第43集	奥州市教育委員会	2022
47	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第20次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第44集	奥州市教育委員会	2023
48	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第21次調査）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第45集	奥州市教育委員会	2024
49	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書（第22次・総括報告）	奥州市埋蔵文化財調査報告書第46集	奥州市教育委員会	2025
50	若柳惣之町阿部家文書解読編14	奥州市胆沢古文書資料集第18集	奥州市教育委員会	2007
51	若柳惣之町阿部家文書解読編15	奥州市胆沢古文書資料集第19集	奥州市教育委員会	2008
52	若柳惣之町阿部家文書解読編16	奥州市胆沢古文書資料集第20集	奥州市教育委員会	2012
53	若柳惣之町阿部家文書解読編17	奥州市胆沢古文書資料集第21集	奥州市教育委員会	2014
54	若柳惣之町阿部家文書解読編18	奥州市胆沢古文書資料集第22集	奥州市教育委員会	2016
55	若柳惣之町阿部家文書解読編19	奥州市胆沢古文書資料集第23集	奥州市教育委員会	2018
56	若柳惣之町阿部家文書解読編20	奥州市胆沢古文書資料集第24集	奥州市教育委員会	2020
57	若柳惣之町阿部家文書解読編21	奥州市胆沢古文書資料集第25集	奥州市教育委員会	2022
58	若柳惣之町阿部家文書解読編22	奥州市胆沢古文書資料集第26集	奥州市教育委員会	2024
59	近世留守家文書 第18集		奥州市立水沢図書館	2006
60	近世留守家文書 第19集		奥州市立水沢図書館	2008
61	近世留守家文書 第20集		奥州市立水沢図書館	2009
62	近世留守家文書 第21集		奥州市立水沢図書館	2010
63	近世留守家文書 第22集		奥州市立水沢図書館	2011
64	近世留守家文書 第23集		奥州市立水沢図書館	2012
65	近世留守家文書 第24集		奥州市立水沢図書館	2013
66	近世留守家文書 第25集		奥州市立水沢図書館	2014

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
67	近世留守家文書 第26集		奥州市立水沢図書館	2015
68	近世留守家文書 第27集		奥州市立水沢図書館	2016
69	近世留守家文書 第28集		奥州市立水沢図書館	2017
70	近世留守家文書 第29集		奥州市立水沢図書館	2018
71	近世留守家文書 第30集		奥州市立水沢図書館	2019
72	近世留守家文書 第31集		奥州市立水沢図書館	2020
73	近世留守家文書 第32集		奥州市立水沢図書館	2021
74	近世留守家文書 第33集		奥州市立水沢図書館	2022
75	近世留守家文書 第34集		奥州市立水沢図書館	2023
76	近世留守家文書 第35集		奥州市立水沢図書館	2024
77	岩谷堂伊達家文書目録		奥州市教育委員会	2017
78	岩谷堂伊達家文書 第1集		江刺古文書の会	2016
79	後藤新平書翰集		雄松堂書店	2009
80	オンライン版 後藤新平文書		丸善雄松堂株式会社	2021
81	朝鮮関係写真資料集 第1期		ニチマイ	2008

既存の文化財調査報告書等一覧4 (旧水沢市)

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	高山遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第1集	水沢市教育委員会	1978
2	水沢市の指定文化財	岩手県水沢市文化財報告書第2集	水沢市教育委員会	1979
3	林前遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第3集	水沢市教育委員会	1989
4	杉の堂遺跡第3次発掘調査概報	岩手県水沢市文化財報告書第4集	水沢市教育委員会	1981
5	西光田遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第5集	水沢市教育委員会	1981
6	杉の堂遺跡第4次発掘調査概報	岩手県水沢市文化財報告書第5集	水沢市教育委員会	1982
7	佐倉河千葉家住宅解体調査報告書	岩手県水沢市文化財報告書第6集	水沢市教育委員会	1981
8	駈上遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第7集	水沢市教育委員会	1982
9	慶徳遺跡群 詳細分布調査報告書	岩手県水沢市文化財報告書第9集	水沢市教育委員会	1982
10	杉の堂遺跡第5次発掘調査概報	岩手県水沢市文化財報告書第10集	水沢市教育委員会	1983
11	里鎗遺跡を語る 里鎗遺跡とその文化	岩手県水沢市文化財報告書第11集	水沢市教育委員会	1983
12	石橋遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第12集	水沢市教育委員会	1984
13	市道前村・杉の堂線改良工事路線内埋蔵文化財調査報告書	岩手県水沢市文化財報告書第13集	水沢市教育委員会	1985
14	水沢遺跡群範囲確認調査 北鶴ノ木遺跡・東沖ノ目地区・熊野堂遺跡・花園町一丁目地区	岩手県水沢市文化財報告書第14集	水沢市教育委員会	1985
15	水沢遺跡群範囲確認調査 林前・大学・南矢中遺跡／(付)杉の堂坂口・面塚遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第15集	水沢市教育委員会	1986
16	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂坂口・跡呂井中陣馬・寺領遺跡／(付)跡呂井中陣馬西遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第16集	水沢市教育委員会	1987
17	奥の正法寺—正法寺総合調査報告書—	岩手県水沢市文化財報告書第17集	水沢市教育委員会	1987
18	水沢遺跡群範囲確認調査 林前・跡呂井中陣馬西・杉の堂遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第18集	水沢市教育委員会	1988
19	水沢遺跡群範囲確認調査 善性・熊之堂・北余目・杉の堂遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第19集	水沢市教育委員会	1989
20	水沢市遺跡群範囲確認調査 熊之堂・跡呂井館跡・跡呂井中陣馬西遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第21集	水沢市教育委員会	1990
21	水沢遺跡群範囲確認調査 佐野宿・中林A・中林B遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第22集	水沢市教育委員会	1991
22	水沢遺跡群範囲確認調査 大学I・大檀・蛇塚・林前南館跡／(付)常盤小学校・竈堂II・後樋	岩手県水沢市文化財報告書第25集	水沢市教育委員会	1993
23	一伝統芸能のこころ—いさわの仮面展	岩手県水沢市文化財報告書第26集	水沢市教育委員会	1993
24	柳沢館遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第28集	水沢市教育委員会	1994
25	水沢遺跡群範囲確認調査 熊之堂・跡呂井館・中平館・梨畑・ニツ測遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第29集	水沢市教育委員会	1995
26	水沢遺跡群範囲確認調査 東大畑I・十日市屋敷・林前I遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第30集	水沢市教育委員会	1996
27	水沢遺跡群範囲確認調査 東袖ノ目・林前I遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第31集	水沢市教育委員会	1997
28	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡・林前南館跡／(付)跡呂井遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第32集	水沢市教育委員会	1998
29	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡・常盤小学校遺跡・林前南館跡／(付)宿遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第33集	水沢市教育委員会	1999
30	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡第20・21次	岩手県水沢市文化財報告書第34集	水沢市教育委員会	2000
31	水沢遺跡群範囲確認調査 北田II・北野II遺跡/後田遺跡/要害館跡/杉の堂遺跡第22次	岩手県水沢市文化財報告書第35集	水沢市教育委員会	2001
32	水沢遺跡群範囲確認調査 林前南館跡(第19次)・伯済寺遺跡・正法寺	岩手県水沢市文化財報告書第36集	水沢市教育委員会	2002
33	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡第23次・伯済寺遺跡/付章 熊野堂遺跡第7次	岩手県水沢市文化財報告書第37集	水沢市教育委員会	2004
34	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂南館跡第22次・杉の堂遺跡第26次・跡呂井遺跡	岩手県水沢市文化財報告書第38集	水沢市教育委員会	2005
35	水沢遺跡群範囲確認調査 杉の堂遺跡第24次・杉の堂遺跡第30次	岩手県水沢市文化財報告書第39集	水沢市教育委員会	2006
36	水沢原始・古代遺跡 外浦・中島・鶴木三遺跡調査報告		水沢市教育委員会	1971
37	胆沢川動物足跡化石緊急発掘調査報告 足跡を残した動物たち		水沢市教育委員会・金ヶ崎町教育委員	1993
38	住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 跡呂井中陣馬遺跡		(株)シン技術コンサル	2005
39	鎮守府胆沢城跡(第10・11次)		水沢市教育委員会	1968
40	鎮守府胆沢城跡調査略報(第12・13次)		水沢市教育委員会	1971
41	鎮守府胆沢城跡(緊急調査略報)(第14次)		水沢市教育委員会	1972
42	鎮守府胆沢城跡(緊急調査略報)(第15次)		水沢市教育委員会	1973
43	胆沢城跡—昭和49年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1975
44	胆沢城跡—昭和50年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1976
45	胆沢城跡—昭和51年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1977
46	胆沢城跡—昭和52年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1978
47	胆沢城跡—昭和53年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1979

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
48	胆沢城跡—昭和54年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1980
49	胆沢城跡—昭和55年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1981
50	胆沢城跡—昭和56年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1982
51	胆沢城跡—昭和57年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1983
52	胆沢城跡—昭和58年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1984
53	胆沢城跡—昭和59年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1985
54	胆沢城跡—昭和60年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1986
55	胆沢城跡—昭和61年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1987
56	胆沢城跡—昭和62年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1988
57	胆沢城跡—昭和63年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1989
58	胆沢城跡—平成元年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1990
59	胆沢城跡—平成2年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1991
60	胆沢城跡—平成3年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1992
61	胆沢城跡—平成4年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1993
62	胆沢城跡—平成6年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1995
63	胆沢城跡—平成7年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1996
64	胆沢城跡—平成8年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1997
65	胆沢城跡—平成9年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1998
66	胆沢城跡—平成10年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	1999
67	胆沢城跡—平成11年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	2000
68	胆沢城跡—平成12年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	2001
69	胆沢城跡—平成13年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	2002
70	胆沢城跡—平成15年度発掘調査概報—		水沢市教育委員会	2005
71	水沢市の自然と文化Ⅰ	水沢市文化財調査研究年報1984	水沢市教育委員会	1984
72	水沢市の自然と文化Ⅱ	水沢市文化財調査研究年報1986	水沢市教育委員会	1987
73	水沢市の自然と文化Ⅲ	水沢市文化財調査研究年報1988	水沢市教育委員会	1988
74	水沢の歴史と文化探訪事業 奥州胆沢下巾神楽	無形文化財保存記録事業 1	水沢市教育委員会	1992
75	水沢の歴史と文化探訪事業 上幅庭田植踊	無形文化財保存記録事業 2	水沢市教育委員会	1993
76	水沢の歴史と文化探訪事業 福原神楽	無形文化財保存記録事業 3	水沢市教育委員会	1994
77	水沢の歴史と文化探訪事業 奥野流富士麓行山鹿踊	無形文化財保存記録事業 4	水沢市教育委員会	1995
78	水沢の歴史と文化探訪事業 伊藤流行山鹿踊	無形文化財保存記録事業 5	水沢市教育委員会	1996
79	水沢の歴史と文化探訪事業 瀬台野神楽	無形文化財保存記録事業 6	水沢市教育委員会	1997
80	瀬台野系神楽口唱歌誌		瀬台野神楽保存会	1983
81	留守家古文書目録		水沢市立図書館	1955
82	解説中世留守家文書		水沢市教育委員会	1979
83	近世留守家文書 第1集		水沢市立図書館	1988
84	近世留守家文書 第2集		水沢市立図書館	1989
85	近世留守家文書 第3集		水沢市立図書館	1990
86	近世留守家文書 第4集		水沢市立図書館	1992
87	近世留守家文書 第5集		水沢市立図書館	1993
88	近世留守家文書 第6集		水沢市立図書館	1994
89	近世留守家文書 第7集		水沢市立図書館	1995
90	近世留守家文書 第8集		水沢市立図書館	1996
91	近世留守家文書 第9集		水沢市立図書館	1997
92	近世留守家文書 第10集		水沢市立図書館	1998
93	近世留守家文書 第11集		水沢市立図書館	1999
94	近世留守家文書 第12集		水沢市立図書館	2000
95	近世留守家文書 第13集		水沢市立図書館	2001
96	近世留守家文書 第14集		水沢市立図書館	2002
97	近世留守家文書 第15集		水沢市立図書館	2003
98	近世留守家文書 第16集		水沢市立図書館	2004
99	近世留守家文書 第17集		水沢市立図書館	2005
100	水沢画人伝	水沢風土記第1巻	水沢市立図書館	1981
101	平安時代と胆沢城	水沢風土記第2巻	水沢市教育委員会	1983
102	みずさわの社寺と石碑	水沢風土記第3巻	水沢市教育委員会	1989
103	みずさわの年中行事 伝説	水沢風土記第4巻	水沢市教育委員会	1991
104	高野長英の手紙		高野長英記念館	1991
105	高野長英の手紙 改訂版		高野長英記念館	2000
106	後藤新平文書目録		水沢市立後藤新平記念館	1980
107	斎藤寛蔵書目録 第1集		斎藤寛蔵記念館	1974
108	斎藤寛蔵書目録 第2集		斎藤寛蔵記念館	1975
109	斎藤寛関係文書マイクロフィルム目録		日本マイクロ写真	1996
110	斎藤寛関係文書マイクロフィルム目録 第2期(逐次刊行物編)		ニチマイ	2005
111	郷古文庫図書目録		水沢市立図書館	1959
112	乙女川の三先人		水沢市	1993
113	ふるさと歳時記 四季の行事と食べもの		水沢市教育委員会	1981

既存の文化財調査報告書等一覧5 (旧江刺市)

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	瀬谷子窟跡群緊急調査概報			1969
2	瀬谷子窟跡群第2次緊急調査概報			1970
3	瀬谷子窟跡 第3次緊急調査報告			1971
4	沼ノ上遺跡調査報告書			1973
5	粟岩遺跡群詳細分布調査報告書			1973

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
6	岩谷堂城跡発掘調査概報		江刺市教育委員会	1989
7	岩谷堂城跡発掘調査概報		江刺市教育委員会	1990
8	江刺市遺跡群発掘調査報告書 岩谷堂地区		江刺市教育委員会	1992
9	市道餅田下惣田線発掘調査概報		江刺市教育委員会	1993
10	江刺市遺跡群発掘調査報告書 田原地区・藤里地区		江刺市教育委員会	1994
11	平成6年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第12集	江刺市教育委員会	1995
12	岩谷堂城跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第13集	江刺市教育委員会	1995
13	平成7年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第14集	江刺市教育委員会	1996
14	宮地Ⅱ遺跡発掘調査報告書(A～D地区)	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第15集	江刺市教育委員会	1997
15	平成8年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第16集	江刺市教育委員会	1997
16	宮地Ⅲ遺跡A地区発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第17集	江刺市教育委員会	1999
17	荒神社前遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第18集	江刺市教育委員会	1998
18	豊田城跡・蒼前1号墳発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第19集	江刺市教育委員会	1998
19	上環遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第20集	江刺市教育委員会	1999
20	宮地Ⅱ遺跡E・F地区発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第21集	江刺市教育委員会	2004
21	松川下遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第22集	江刺市教育委員会	1999
22	愛宕林遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第23集	江刺市教育委員会	1999
23	平成9・10年度 市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第25集	江刺市教育委員会	1999
24	平成11年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第26集	江刺市教育委員会	2000
25	平成12年度市内遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第27集	江刺市教育委員会	1999
26	中環遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第28集	江刺市教育委員会	2000
27	下惣田遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第29集	江刺市教育委員会	2000
28	反町遺跡	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第30集	江刺市教育委員会	2002
29	新川Ⅲ遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第31集	江刺市教育委員会	2002
30	広岡前遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第32集	江刺市教育委員会	2004
31	大文字遺跡	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第33集	江刺市教育委員会	2005
32	米里中屋敷遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第34集	江刺市教育委員会	2005
33	岩谷堂柳沢Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県江刺市埋蔵文化財調査報告書第35集	江刺市教育委員会	2006
34	江刺の仏像	江刺市文化財調査報告書	江刺市教育委員会	1985
35	浅井村の検地・地名・屋敷名	江刺の古文書1	江刺市立中央公民館	1988
36	元禄元・弍・三年定式留帳・角懸村の菊池氏	江刺の古文書2	江刺市立中央公民館	1989
37	人首村口碑伝説、笠森稲荷・麓山大権現・大森太峰由来、沼辺氏系図・佐伯氏系図	江刺の古文書3	江刺市立中央公民館	1989
38	野手崎村・粟生沢村文書、小梁川家知行目録、善六仇討、江刺氏の足跡	江刺の古文書4	江刺市立中央公民館	1990
39	歌書村御検地牒・吉祥寺野山掟・歌書村甚右衛門娘親奉行・寛政九年多門寺集会(百姓一揆)・明治八年(共立病院)御用留	江刺の古文書5	江刺市立中央公民館	1991
40	岩手県管轄地誌伊手村誌・佐藤氏系図・高館落城清悦物語・伊勢参宮道中記・御達留・藤田但馬関係資料	江刺の古文書6	江刺市立岩谷堂公民館	1992
41	土谷村風土記、検地帳・石山村高人数御改帳・原体村御百姓家火災一件	江刺の古文書7	江刺市立岩谷堂公民館	1993
42	中尊寺建立供養願文・陸奥話記・奥州後三年記	江刺の古文書8	江刺市立岩谷堂公民館	1994
43	黒石村屋敷名の変遷・正法寺書出・黒石寺書出	江刺の古文書9	江刺市立岩谷堂公民館	1995
44	羽田村資料・江刺鑄工年表・軋切支丹	江刺の古文書10	江刺市立岩谷堂公民館	1996
45	福岡村資料・小池村屋敷名調査・江刺の足軽	江刺の古文書11	江刺市立岩谷堂公民館	1997
46	江刺郡倉澤村資料『安永風土記書上』に見る堰堤の調査集計	江刺の古文書12	江刺市立岩谷堂公民館	1999
47	江刺郡高寺村風土記・江刺郡高寺村御検地牒・只野市兵衛家記録集写・北上川舟航と下川原河岸	江刺の古文書13	江刺市立岩谷堂公民館	2000
48	片岡村風土記・餅田村風土記・増沢村検地牒・相馬大作一件・萬留	江刺の古文書14	江刺市立岩谷堂公民館	2002
49	重要文化財旧後藤家住宅修理工事報告書		江刺市教育委員会	1967
50	江刺古文書所在目録		江刺市立図書館	1985
51	江刺の芸能		江刺市教育委員会	1981
52	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財「鴨沢神楽」調査報告書		江刺市教育委員会	2001
53	「鴨沢神楽」伝承活用等装束・道具		江刺市教育委員会	不明
54	佐野向神楽創立130周年記念誌		佐野向神楽保存会	1985
55	小田代神楽のあゆみ		小田代神楽保存会	2016
56	江刺の植物 種山編		江刺市教育委員会	1986
57	和川標本録		江刺市教育委員会	1973

既存の文化財調査報告書等一覧6(旧前沢町)

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	明後沢遺跡第3次調査概報	岩手県前沢町文化財調査報告書第1集	前沢町教育委員会	1977
2	明後沢遺跡第4次調査概報	岩手県前沢町文化財調査報告書第2集	前沢町教育委員会	1978
3	上郷家住宅調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第3集	前沢町教育委員会	1994
4	田高Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第4集	前沢町教育委員会	1997
5	町内遺跡発掘調査報告書 明後沢第3.4.5次(昭和51年～53年度) 小林繁長(昭和61年度)	岩手県前沢町文化財調査報告書第5集	前沢町教育委員会	1998
6	町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅰ 古城・白山地区	岩手県前沢町文化財調査報告書第6集	前沢町教育委員会	1998
7	町内遺跡発掘調査報告書 西館一字一石経塚(昭和59年度) 大袋地区遺跡詳細分布調査(平成3年度) 白鳥館遺跡試掘調査(平成4年度)	岩手県前沢町文化財調査報告書第7集	前沢町教育委員会	1998
8	町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅱ 前沢地区	岩手県前沢町文化財調査報告書第8集	前沢町教育委員会	1999
9	西館遺跡発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第9集	前沢町教育委員会	1999
10	町内遺跡詳細分布調査報告書Ⅲ 生母地区	岩手県前沢町文化財調査報告書第10集	前沢町教育委員会	2000
11	前沢町遺跡地図	岩手県前沢町文化財調査報告書第11集	前沢町教育委員会	2000
12	生母宿遺跡発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第12集	前沢町教育委員会	2000
13	川岸場Ⅱ遺跡発掘調査報告書 大室鈴木家墓地	岩手県前沢町文化財調査報告書第13集	前沢町教育委員会	2002

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
14	東館（赤生津城）遺跡発掘調査報告書 五合田遺跡発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第14集	前沢町教育委員会	2003
15	田高II遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第15集	前沢町教育委員会	2004
16	川岸場I遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第16集	前沢町教育委員会	2004
17	古城上野遺跡第1次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第17集	前沢町教育委員会	2005
18	明後沢遺跡群第7.10.15次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第18集	前沢町教育委員会	2005
19	白鳥館遺跡第2・3次発掘調査報告書	岩手県前沢町文化財調査報告書第19集	前沢町教育委員会	2005
20	前沢の鯨化石		前沢町教育委員会	1987

既存の文化財調査報告書等一覧7（旧胆沢町）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	宮沢原・大清水上遺跡	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第1集	胆沢村教育委員会	1963
2	宮沢原立石遺構	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第2集	胆沢村教育委員会	1966
3	角塚古墳測量調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第3集	胆沢町教育委員会	1970
4	萱刈窪遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第4集	胆沢町教育委員会	1973
5	南中沢遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第5集	胆沢町教育委員会	1975
6	角塚古墳調査概報（1）	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第6集	胆沢町教育委員会	1975
7	角塚古墳調査報告	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第7集	胆沢町教育委員会	1976
8	宮沢原E東遺跡・赤剥遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第8集	胆沢町教育委員会	1976
9	漆町遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第9集	胆沢町教育委員会	1977
10	上萩森遺跡調査報告書（略報）	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第10集	胆沢町教育委員会	1978
11	小十文字遺跡 - 発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第11集	胆沢町教育委員会	1981
12	尼坂遺跡 - 発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第12集	胆沢町教育委員会	1983
13	二本木遺跡緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第13集	胆沢町教育委員会	1984
14	塚田遺跡緊急調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第14集	胆沢町教育委員会	1984
15	大清水上遺跡調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第15集	胆沢町教育委員会	1985
16	宇南田遺跡緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第16集	胆沢町教育委員会	1986
17	浅野遺跡 - 調査報告書 -	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第17集	胆沢町教育委員会	1988
18	沢田遺跡 - 調査報告書 -	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第18集	胆沢町教育委員会	1988
19	上萩森遺跡 - 調査報告書 -	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第19集	胆沢町教育委員会	1988
20	鹿合館跡 - 調査報告書 -	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第20集	胆沢町教育委員会	1990
21	国分・芦の随遺跡緊急調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第21集	胆沢町教育委員会	1991
22	尼坂遺跡第二次緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第22集	胆沢町教育委員会	1992
23	尼坂遺跡第三次（東）緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第23集	胆沢町教育委員会	1993
24	尼坂遺跡第三次（西）緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第24集	胆沢町教育委員会	1993
25	尼坂遺跡第四次緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第25集	胆沢町教育委員会	1994
26	要害遺跡緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第26集	胆沢町教育委員会	1995
27	石行遺跡緊急発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第27集	胆沢町教育委員会	1996
28	角塚古墳発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第28集	胆沢町教育委員会	2002
29	鶴田古墳群発掘調査報告書	胆沢町埋蔵文化財調査報告書第29集	胆沢町教育委員会	2004
30	若柳の民俗	胆沢町文化財調査報告書第1集	胆沢町教育委員会	1968
31	いさわの民話と伝説	胆沢町文化財調査報告書第2集	胆沢町教育委員会	1970
32	いさわの民俗芸能	胆沢町文化財調査報告書第3集	胆沢町教育委員会	1972
33	いさわの社寺・祠	胆沢町文化財調査報告書第4集	胆沢町教育委員会	1973
34	いさわの民俗資料（薬製品）	胆沢町文化財調査報告書第5集	胆沢町教育委員会	1974
35	いさわの民話	胆沢町文化財調査報告書第6集	胆沢町教育委員会	1974
36	胆沢町の仙像	胆沢町文化財調査報告書第7集	胆沢町教育委員会	1976
37	胆沢町の古民家	胆沢町文化財調査報告書第8集	胆沢町教育委員会	1978
38	胆沢町の道標	胆沢町文化財調査報告書第9集	胆沢町教育委員会	1980
39	胆沢之古碑	胆沢町文化財調査報告書第10集	胆沢町教育委員会	1983
40	いさわの絵馬	胆沢町文化財調査報告書第11集	胆沢町教育委員会	1983
41	胆沢町古文書資料集第1集 胆沢町の古文書（五嶋家文書）	胆沢町文化財調査報告書第12集	胆沢町教育委員会	1990
42	胆沢町古文書資料集第2集 胆沢町若柳油地、千田家文書	胆沢町文化財調査報告書第13集	胆沢町教育委員会	1992
43	胆沢ダム建設に伴う緊急民俗調査	胆沢町文化財調査報告書第14集	胆沢町教育委員会	1993
44	胆沢町古文書資料集第3集 若柳惣之町阿部家文書目録	胆沢町文化財調査報告書第15集	胆沢町教育委員会	1994
45	胆沢町古文書資料集第4集 若柳惣之町阿部家文書解読編1	胆沢町文化財調査報告書第16集	胆沢町教育委員会	1995
46	胆沢町古文書資料集第5集 若柳惣之町阿部家文書解読編2	胆沢町文化財調査報告書第17集	胆沢町教育委員会	1996
47	胆沢町古文書資料集第6集 若柳惣之町阿部家文書解読編3	胆沢町文化財調査報告書第18集	胆沢町教育委員会	1997
48	『安永風土記』記載百姓屋敷調べ	胆沢町文化財調査報告書第19集	胆沢町教育委員会	1997
49	胆沢町古文書資料集第7集 若柳惣之町阿部家文書解読編4	胆沢町文化財調査報告書第20集	胆沢町教育委員会	1998
50	胆沢町古文書資料集第8集 若柳惣之町阿部家文書解読編5	胆沢町文化財調査報告書第21集	胆沢町教育委員会	1999
51	胆沢の社寺・祠 - 棟札等調査報告書 -	胆沢町文化財調査報告書第22集	胆沢町教育委員会	1999
52	胆沢町古文書資料集第9集 若柳惣之町阿部家文書解読編6	胆沢町文化財調査報告書第23集	胆沢町教育委員会	2000
53	胆沢町古文書資料集第10集 旧新里村中屋敷千田家文書目録	胆沢町文化財調査報告書第24集	胆沢町教育委員会	2000
54	胆沢町古民家調査報告書第2集 胆沢町小山字上中沢本庄家旧宅解体調査報告書	胆沢町文化財調査報告書第25集	胆沢町教育委員会	2000
55	胆沢町古文書資料集第11集 若柳惣之町阿部家文書解読編7	胆沢町文化財調査報告書第26集	胆沢町教育委員会	2001
56	胆沢町の石造物 - 胆沢町石造物悉皆調査報告書 -	胆沢町文化財調査報告書第27集	胆沢町教育委員会	2002
57	胆沢町古文書資料集第12集 若柳惣之町阿部家文書解読編8	胆沢町文化財調査報告書第28集	胆沢町教育委員会	2002
58	胆沢町古文書資料集第13集 若柳惣之町阿部家文書解読編9	胆沢町文化財調査報告書第29集	胆沢町教育委員会	2003
59	胆沢町古文書資料集第14集 若柳惣之町阿部家文書解読編10	胆沢町文化財調査報告書第30集	胆沢町教育委員会	2004
60	胆沢町古文書資料集第15集 若柳惣之町阿部家文書解読編11	胆沢町文化財調査報告書第31集	胆沢町教育委員会	2005
61	胆沢町地名・屋号調査	胆沢町文化財調査報告書第32集	胆沢町教育委員会	2005
62	胆沢町古文書資料集第16集 若柳惣之町阿部家文書解読編12	胆沢町文化財調査報告書第33集	胆沢町教育委員会	2006
63	胆沢町古文書資料集第17集 若柳惣之町阿部家文書解読編13	胆沢町文化財調査報告書第34集	胆沢町教育委員会	2006

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
64	旧跡をたどる胆沢の歴史散歩～現在から過去へ未来へ～	胆沢町文化財調査報告書第35集	胆沢町教育委員会	2006
65	いさわの俗信	昭和60年度高齢者生きがい促進総合事業	胆沢町教育委員会	1986
66	わらべうた 「ボランティア養成講座」調査集	昭和61年度高齢者生きがい促進総合事業	胆沢町教育委員会	1987
67	胆沢の庭園	昭和63年度高齢者生きがい促進総合事業	胆沢町教育委員会	1989
68	胆沢の先人	平成元年度高齢者生きがい促進総合事業	胆沢町教育委員会	1990
69	胆沢の民具 灯火器具	平成4年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	1993
70	いさわの民具 2	平成5年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	1994
71	いさわの民具 3	平成6年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	1995
72	いさわの民具 4	平成7年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	1996
73	いさわの民具 5	平成8年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	1997
74	いさわの民具 6	平成9年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	1998
75	いさわの焚きもの	平成10年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	1999
76	さわの萱と屋根替え	平成11年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	2000
77	いさわの食と生活	平成12年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	2001
78	いさわの食と生活 2	平成13年度高齢者ボランティア事業	胆沢町教育委員会	2002
79	いさわの農作業 1月～6月までの稲作と畑作	高齢者ボランティア調査記録集第18集	胆沢町教育委員会	2003
80	いさわの農作業 7月～12月までの稲作と畑作	高齢者ボランティア調査記録集第19集	胆沢町教育委員会	2004
81	いさわの生活習慣 伝承・信仰・思い出	高齢者ボランティア調査記録集第20集	胆沢町教育委員会	2005
82	十文字神楽		佐藤英男	1977
83	胆沢町文化創造センター所蔵植物標本目録		胆沢町教育委員会	1992

既存の文化財調査報告書等一覧8 (旧衣川村)

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	岩手県指定 長者ヶ原発掘調査報告書		衣川村教育委員会	1972
2	上衣川地区遺跡詳細分布調査報告書	岩手県衣川村文化財報告書第2集	衣川村教育委員会	1987
3	下衣川地区遺跡詳細分布調査報告書	岩手県衣川村文化財報告書第3集	衣川村教育委員会	1988
4	衣川村社寺調査報告書	岩手県衣川村文化財報告書第4集	衣川村教育委員会	1990
5	衣川村石碑・石像調査報告書	岩手県衣川村文化財報告書第5集	衣川村教育委員会	1990
6	安倍館跡発掘調査報告書一第2次一	岩手県衣川村文化財報告書第6集	衣川村教育委員会	1993
7	安倍館跡発掘調査報告書一第3次一	岩手県衣川村文化財報告書第7集	衣川村教育委員会	1995
8	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書一第6次調査一	岩手県衣川村文化財調査報告書第8集	衣川村教育委員会	2005
9	洲端遺跡発掘調査報告書	岩手県衣川村文化財調査報告書第9集	衣川村教育委員会	2006
10	長者ヶ原廃寺跡発掘調査報告書一第8次調査一	岩手県衣川村文化財調査報告書第10集	衣川村教育委員会	2006
11	ころもがわの植物	衣川村植物調査報告書No1	衣川村教育委員会	1998
12	ころもがわの植物	衣川村植物調査報告書No2	衣川村教育委員会	1999
13	衣川・樹形森遺跡一発掘調査報告書一		アテルイ没後1200年記念事業実行委員会・衣川村教育委員会	2003

既存の文化財調査報告書等一覧9 (岩手県埋蔵文化財センター)

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	江刺市沼の上遺跡	岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第5集	岩手県埋蔵文化財センター	1978
2	岩手県江刺市力石2遺跡・兎2遺跡・落合3遺跡・朴ノ木遺跡	岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第8集	岩手県埋蔵文化財センター	1979
3	水沢市玉貫遺跡・金ヶ崎町西根遺跡	岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第18集	岩手県埋蔵文化財センター	1981
4	金ヶ崎バイパス関連遺跡発掘調査報告書一Ⅱ一水沢市膳性遺跡	岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第34集	岩手県埋蔵文化財センター	1982
5	金ヶ崎バイパス関連遺跡発掘調査報告書一Ⅲ一水沢市竈堂遺跡・東大畑遺跡・大曾根遺跡	岩手県埋蔵文化財センター文化財調査報告書第44集	岩手県埋蔵文化財センター	1982
6	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(西光田1遺跡・寺領遺跡・石田2遺跡)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第126集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1988
7	石田2・寺領・西光田1遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第130集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998
8	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(西光田2遺跡)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第135集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1989
9	松川遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第143集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1990
10	沢田・仙人東遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第230集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1996
11	龍ヶ馬場遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第243集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1996
12	白井坂1・2遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第248集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1997
13	下尿前2遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第252集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1997
14	下尿前4遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第269集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998
15	北野4遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第272集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998
16	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報(荒神社前遺跡・大平古館跡)	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第282集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1998
17	尿前2遺跡A地区発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第288集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
18	北野4遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第298集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
19	板子沢遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第305集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
20	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（六山堰遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第311集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
21	惣前町遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第314集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000
22	川岸場2遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第317集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000
23	下醍醐遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第325集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
24	下醍醐遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第326集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
25	佐野原遺跡調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第327集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
26	上寺田・本巻遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第328集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000
27	西館跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第329集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000
28	水ノ口遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第330集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000
29	休場遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第331集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000
30	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（向遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第340集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000
31	尿前II遺跡B地区発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第343集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2000
32	栗林遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第363集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2001
33	東館II遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第366集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2002
34	大清水遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第373集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2001
35	中半入遺跡・蝦夷塚古墳発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第380集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2002
36	漆林II遺跡・本宿迎畑遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第381集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2002
37	北田II遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第395集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2002
38	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（寺ヶ前3遺跡、市野々遺跡、一の台2遺跡、二の台遺跡、上中沢1遺跡、NE34-2172遺跡、屋敷遺跡、上狼ヶ志田遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第397集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2002
39	新田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第405集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2002
40	久田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第406集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2003
41	明後沢遺跡群発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第411集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2003
42	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（西風遺跡、二の台遺跡、鶴供養遺跡、駒込遺跡、二の沢II遺跡、竹地子遺跡、主計谷地遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第423集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2003
43	杉の堂遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第425集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
44	大中田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第429集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
45	広岡前遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第430集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
46	宝性寺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第441集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
47	明後沢遺跡群第16次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第442集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
48	中半入遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第443集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
49	島田II遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第444集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
50	寺ノ上遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第445集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
51	岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（杉の堂・跡呂井遺跡、蜂谷遺跡、一の台遺跡、一の台II遺跡、一の台III遺跡、一の台IV遺跡、屋敷遺跡、鶴供養遺跡、二の台長根遺跡、二の沢遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第455集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2004
52	中半入遺跡第4次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第465集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2005
53	平成16年度発掘調査報告書（中島遺跡、岩谷堂柳沢II遺跡、新地野道下遺跡、宮沢原下遺跡、上大畑平I遺跡、上大畑平II遺跡、川前遺跡、内屋敷遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第469集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2005
54	杉の堂遺跡第31次調査・跡呂井遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第473集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2006

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
55	大清水上遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第475集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2006
56	二の台長根遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第476集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2006
57	平成17年度発掘調査報告書（道上遺跡第1次、宮沢原下遺跡、山の神遺跡、岩洞堤遺跡、北丑転遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第490集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2006
58	押切遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第493集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2007
59	宮沢原下遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第495集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2007
60	平成18年度発掘調査報告書（高日向遺跡、雲南遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第505集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2007
61	山の神遺跡・宮沢原下遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第512集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2008
62	道上遺跡第2次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第518集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2008
63	六日市場・細田・接待館遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第523集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2008
64	鶯ノ木遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第527集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2009
65	岩洞堤遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第531集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2009
66	宝祿Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第541集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2009
67	道上遺跡第3次・合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第544集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2009
68	衣の関遺跡第1・2次発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第550集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2010
69	坪刈Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第554集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2010
70	尼坂遺跡・牡丹野遺跡・作屋敷遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第569集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2010
71	合野遺跡・小林繁長遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第570集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2010
72	平成21年度発掘調査報告書（平根原Ⅰ遺跡、八幡遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第571集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2010
73	大平野Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第576集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2011
74	鶯ノ木南台地遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第581集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2011
75	水尻遺跡・四反田Ⅰ遺跡・四反田Ⅱ遺跡・古城方八丁遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第587集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2011
76	平成22年度発掘調査報告書（高殿Ⅱ遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第588集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2011
77	大平野Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第593集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2012
78	国分遺跡・川端遺跡・堤遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第600集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2012
79	堰田・机地遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第601集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2012
80	下嵐江Ⅰ遺跡・下嵐江Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第608集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
81	大平野Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第609集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
82	八反町遺跡・中畑跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第610集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
83	安久沢東遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第611集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
84	彼岸田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第612集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
85	田高Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第613集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
86	銭倉遺跡・要害遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第614集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
87	堤遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第615集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
88	作屋敷遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第616集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
89	平成24年度発掘調査報告書（石山遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第620集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2013
90	沢田遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第626集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2014
91	八反町・古城林遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第627集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2014

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
92	小林繁長遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第628集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2014
93	石田Ⅰ・Ⅱ遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第632集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2015
94	漆町遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第633集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2015
95	町屋敷遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第693集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2019
96	杉の堂遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第716集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	1999
97	令和2年度発掘調査報告書（境・山下遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第733集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2021
98	令和3年度発掘調査報告書（館遺跡）	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第735集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2022
99	明神下遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第738集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2023
100	中林下遺跡発掘調査報告書	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財調査報告書第744集	岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター	2024

既存の文化財調査報告書等一覧10（奥州市埋蔵文化財調査センター）

番号	書名	シリーズ等名称	刊行機関等	刊行年
1	石田Ⅱ遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第1集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1995
2	常盤広町遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第2集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1995
3	姉体車堂Ⅱ遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第3集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1995
4	常盤小学校遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第4集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1995
5	龍ヶ馬場Ⅱ遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第5集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1996
6	雷神Ⅰ遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第6集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1996
7	杉の堂遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第7集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1996
8	仙人西遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第8集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1997
9	杉の堂遺跡群	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第9集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1997
10	杉の堂遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第10集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1998
11	鹿野遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第11集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1998
12	面塚遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第12集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1999
13	杉の堂遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第13集	水沢市埋蔵文化財調査センター	1999
14	下植田遺跡Ⅰ	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第14集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2000
15	町屋敷遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第15集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2002
16	林前南館跡（第17・18・20・21次）	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第16集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2003
17	下植田遺跡Ⅱ	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第17集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2003
18	中半入遺跡―第3次調査―	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第18集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2004
19	林前Ⅱ遺跡寺ノ西遺跡	水沢市埋蔵文化財調査センター調査報告書第19集	水沢市埋蔵文化財調査センター	2006
20	矢中Ⅰ遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第1集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2007
21	玉崎館遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第2集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2007
22	増沢東部遺跡群	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第3集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2008
23	杉の堂遺跡（第19次調査）	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第4集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2008
24	要害Ⅰ・Ⅱ遺跡亀田遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第5集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2009
25	崩田遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第6集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2009
26	安久沢東遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第7集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2009
27	川端遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第8集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2010
28	下町遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第9集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2010
29	要害Ⅱ遺跡・境田遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第10集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2010
30	合野遺跡・白山上野遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第11集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2011
31	清水下遺跡・二本木遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第12集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2015
32	北鷲ノ木遺跡（第1～4次）	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第13集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2016
33	松川遺跡・大日前遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第14集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2016
34	石行遺跡・小十文字遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第15集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2017
35	下河原館（内館）跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第16集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2019
36	明神下遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第17集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2020
37	町屋敷遺跡	奥州市埋蔵文化財調査センター調査報告書第18集	奥州市埋蔵文化財調査センター	2024